

(様式第10)

徳大院総第50号
平成28年10月3日

厚生労働大臣

殿

国立大学法人徳島大学
学長 野地 澄 明



徳島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、平成27年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒770-8501 徳島市新蔵町2丁目24番地
氏 名	国立大学法人徳島大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

徳島大学病院

3 所在の場所

〒770-8503 徳島市蔵本町2丁目50番地の1 電話(088)631-3111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<p>①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜</p> <p>②医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜</p>

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無					
内科と組み合わせた診療科名等						
1 循環器内科 2 神経内科	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14
診療実績						

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無					
外科と組み合わせた診療科名						
1 心臓血管外科	2 形成外科	3 小児外科	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
診療実績						

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科		⑮麻酔科	⑯救急科			

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無					
歯科と組み合わせた診療科名						
1 矯正歯科	2 小児歯科	3 歯科口腔外科	4	5	6	7
歯科の診療体制						

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 病理診断科	2 リハビリテーション科	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
45床	8床	0床	0床	643床	696床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成28年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	249人	206人	412.8人	看護補助者	42人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	81人	68人	122.4人	理学療法士	11人	臨床検査技師	47人
薬 剤 師	46人	0人	46人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	8人	その他	0人
助産師	42人	0人	0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	650人	39人	684.7人	臨床工学士	16人	医療社会事業従事者	17人
准看護師	0人	3人	2.7人	栄 養 士	0人	その他の技術員	56人
歯科衛生士	10人	7人	15.8人	歯科技工士	7人	事務職員	132人
管理栄養士	9人	8人	11.9人	診療放射線技師	39人	その他の職員	0人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含まないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成28年9月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	44.3人	眼 科 専 門 医	11.8人
外 科 専 門 医	38.6人	耳鼻咽喉科専門医	10.8人
精神科専門医	13人	放射線科専門医	18.6人
小児科専門医	15人	脳神経外科専門医	19人
皮膚科専門医	5人	整形外科専門医	17.6人
泌尿器科専門医	10人	麻酔科専門医	20人
産婦人科専門医	18.7人	救急科専門医	3人
		合 計	245.4人

(注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (永廣 信治) 任命年月日 平成28年4月1日

リスクマネジメント委員会委員長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	546.9人	17.7人	564.6人
1日当たり平均外来患者数	1,337人	441.8人	1,778.8人
1日当たり平均調剤数	入院 459.8 剤	外来 180.2 剤	
必要医師数			136人
必要歯科医師数			25人
必要薬剤師数			19人
必要(准)看護師数			342人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備	概 要		
集中治療室	225.5 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	11床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 495 m ² [移動式の場合] 台数 0台		病床数	28床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 32 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	72 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動開栓受付分注装置, 全自動生化学分析装置			
細菌検査室	260 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 細菌同定薬剤感受性測定装置, 抗酸菌培養装置, 細菌検査装置			
病理検査室	352 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動免疫染色装置, SL医用写真撮影装置			
病理解剖室	161 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台, スケール付ストレッチャー			
研究室	253 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) マルチスライスCT, 四肢用MRI, 回診用X線装置			
講義室	990 m ²	鉄筋コンクリート	室数	28室	収容定員	630人
図書室	75 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	4000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日	
紹介率	80.2%	逆紹介率	55.7%
算出根拠	A: 紹介患者の数		16,515 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,797 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		484 人
	D: 初診の患者の数		21,195 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

※現在検討中 (経過措置期間内に決定)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

※現在検討中 (経過措置期間内に決定)

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療	5人
有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	13人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る)	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	0人
S-1内服投与、オキサリプラチン静脈投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃がん	0人
アルテプラゼ静脈内投与による血栓溶解療法 急性脳梗塞(当該疾病の症状の発症時刻が明らかでない場合に限る。)	1人
ベベルミノゲンペルプラスミドによる血管新生療法 閉塞性動脈硬化症又はビュルガー病(血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	10	56	ベーチェット病	56
2	筋萎縮性側索硬化症	47	57	特発性拡張型心筋症	49
3	脊髄性筋萎縮症	4	58	肥大型心筋症	17
4	原発性側索硬化症		59	拘束型心筋症	
5	進行性核上性麻痺	13	60	再生不良性貧血	28
6	パーキンソン病	192	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	15	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	
8	ハンテントン病		63	特発性血小板減少性紫斑病	27
9	神経有棘赤血球症		64	血栓性血小板減少性紫斑病	
10	シャルコー・マリー・トウス病	2	65	原発性免疫不全症候群	5
11	重症筋無力症	98	66	IgA腎症	12
12	先天性筋無力症候群		67	多発性囊胞腎	10
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	83	68	黄色靱帯骨化症	26
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	66	69	後縦靱帯骨化症	131
15	封入体筋炎	4	70	広範背柱管狭窄症	19
16	クロー・深瀬症候群		71	特発性大腿骨頭壊死症	29
17	多系統萎縮症	48	72	下垂体性ADH分泌異常症	10
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	72	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	4	74	下垂体性PRL分泌亢進症	7
20	副腎白質ジストロフィー		75	クッシング病	8
21	ミトコンドリア病	5	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	5
22	もやもや病	53	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	23
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	47
24	亜急性硬化性全脳炎		79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	
25	進行性多巣性白質脳症	2	80	甲状腺ホルモン不応症	
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	
27	特発性基底核石灰化症		82	先天性副腎低形成症	
28	全身性アミロイドーシス	13	83	アジソン病	
29	ウルリッヒ病		84	サルコイドーシス	112
30	遠位型ミオパチー		85	特発性間質性肺炎	31
31	ペスレムミオパチー		86	肺動脈性肺高血圧症	12
32	自己食空胞性ミオパチー		87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	
33	シュルツ・ヤンベル症候群		88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3
34	神経線維腫症	29	89	リンパ脈管筋腫症	1
35	天疱瘡	30	90	網膜色素変性症	15
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	4
37	膿疱性乾癬(汎発型)	13	92	特発性門脈圧亢進症	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	34
39	中毒性表皮壊死症		94	原発性硬化性胆管炎	1
40	高安動脈炎	20	95	自己免疫性肝炎	2
41	巨細胞性動脈炎	2	96	クローン病	72
42	結節性多発動脈炎	9	97	潰瘍性大腸炎	147
43	顕微鏡的多発血管炎	29	98	好酸球性消化管疾患	
44	多発血管炎性肉芽腫症	16	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	4	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	
46	悪性関節リウマチ	7	101	腸管神経節細胞減少症	
47	パージャール病	13	102	ルピンシユタイン・テイビ症候群	
48	原発性抗リン脂質抗体症候群		103	CFC症候群	
49	全身性エリテマトーデス	205	104	コステロ症候群	
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	92	105	チャージ症候群	
51	全身性強皮症	89	106	クリオピリン関連周期熱症候群	
52	混合性結合組織病	36	107	全身型若年性特発性関節炎	
53	シェーグレン症候群	19	108	TNF受容体関連周期性症候群	
54	成人スチル病	4	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
111	先天性ミオパチー		161	家族性良性慢性天疱瘡	
112	マリネスコ・シェーグレン症候群		162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	1
113	筋ジストロフィー	6	163	特発性後天性全身性無汗症	
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群		164	眼皮膚白皮症	
115	遺伝性周期性四肢麻痺		165	肥厚性皮膚骨髄症	
116	アトピー性脊髄炎		166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	
118	脊髄髄膜瘤		168	エーラス・ダンロス症候群	
119	アイザックス症候群		169	メンケス病	
120	遺伝性ジストニア		170	オクシピタル・ホーン症候群	
121	神経フェリチン症		171	ウィルソン病	
122	脳表へモジデリン沈着症		172	低ホスファターゼ症	
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症		173	VATER症候群	
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症		174	那須・ハコラ病	
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	2	175	ウィーバー症候群	
126	ペリー症候群		176	コフィン・ローリー症候群	
127	前頭側頭葉変性症		177	有馬症候群	
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎		178	モワット・ウィルソン症候群	
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症		179	ウリアムズ症候群	
130	先天性無痛無汗症		180	ATR-X症候群	
131	アレキサンダー病		181	クルーゾン症候群	
132	先天性核上性球麻痺		182	アペール症候群	
133	メビウス症候群		183	ファイファー症候群	
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群		184	アントレー・ピクスラー症候群	
135	アイカルディ症候群		185	コフィン・シリス症候群	
136	片側巨脳症		186	ロスムンド・トムソン症候群	
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	
138	神経細胞移動異常症		188	多脾症候群	
139	先天性大脳白質形成不全症		189	無脾症候群	
140	ドラベ症候群		190	聴耳腎症候群	
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん		191	ウェルナー症候群	1
142	ミオクロニー欠伸てんかん		192	コケイン症候群	
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん		193	ブラダー・ウィリ症候群	
144	レノックス・ガストー症候群		194	ソトス症候群	
145	ウエスト症候群		195	ヌーナン症候群	
146	大田原症候群		196	ヤング・シンブソン症候群	
147	早期ミオクロニー脳症		197	1p36欠失症候群	
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん		198	4p欠失症候群	
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群		199	5p欠失症候群	
150	環状20番染色体症候群		200	第14番染色体父親性ダイノミ一症候群	
151	ラスムッセン脳炎		201	アンジェルマン症候群	
152	PCDH19関連症候群		202	スミス・マギニス症候群	
153	難治類回部分発作重積型急性脳炎		203	22q11.2欠失症候群	
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症		204	エマヌエル症候群	
155	ランドウ・クレフナー症候群		205	脆弱X症候群関連疾患	
156	レット症候群		206	脆弱X症候群	
157	スタージ・ウェーバー症候群		207	総動脈幹遺残症	
158	結節性硬化症		208	修正大血管転位症	
159	色素性乾皮症		209	完全大血管転位症	
160	先天性魚鱗癬		210	単心室症	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数	疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	
212	三尖弁閉鎖症	260	シトステロール血症	
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	261	タンジール病	
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	262	原発性高カイロミクロン血症	
215	ファロー四徴症	263	脳腫黄色腫症	
216	両大血管右室起始症	264	無βリポタンパク血症	
217	エプスタイン病	265	脂肪萎縮症	
218	アルポート症候群	266	家族性地中海熱	1
219	ギャロウェイ・モフト症候群	1	高IgD症候群	
220	急速進行性糸球体腎炎	1	中條・西村症候群	
221	抗糸球体基底膜腎炎	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	
222	一次性ネフローゼ症候群	6	慢性再発性多発性骨髄炎	
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	強直性脊椎炎	
224	紫斑病性腎炎	272	進行性骨化性線維異形成症	
225	先天性腎性尿崩症	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	274	骨形成不全症	
227	オスラー病	275	タナトフォリック骨異形成症	
228	閉塞性細気管支炎	276	軟骨無形成症	
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	
230	肺胞低換気症候群	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病)	
232	カーニー複合	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	
233	ウォルフラム症候群	281	クリッペル・レノネー・ウェーバー症候群	
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	282	先天性赤血球形成異常性貧血	
235	副甲状腺機能低下症	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	285	ファンconi貧血	
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	遺伝性鉄芽球性貧血	
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	287	エプスタイン症候群	
240	フェニルケトン尿症	288	自己免疫性出血病XIII	
241	高チロシン血症1型	289	クローンカイト・カナダ症候群	
242	高チロシン血症2型	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	
243	高チロシン血症3型	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	
244	メーブルシロップ尿症	292	総排泄腔外反症	
245	プロピオン酸血症	293	総排泄腔遺残	
246	メチルマロン酸血症	294	先天性横隔膜ヘルニア	
247	インテグリン酸血症	295	乳幼児肝巨大血管腫	
248	グルコーストランスポーター1欠損症	296	胆道閉鎖症	1
249	グルタル酸血症1型	297	アラジール症候群	
250	グルタル酸血症2型	298	遺伝性膿炎	
251	尿素サイクル異常症	299	嚢胞性線維症	
252	リジン尿性蛋白不耐症	300	IgG4関連疾患	3
253	先天性葉酸吸収不全	301	黄斑ジストロフィー	
254	ボルフィリン症	302	レーベル遺伝性視神経症	
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	303	アッシュヤー症候群	
256	筋型糖原病	304	若年発症型両側性感音難聴	
257	肝型糖原病	305	遅発性内リンパ水腫	
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	306	好酸球性副鼻腔炎	1

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・退院支援加算2
・歯科外来診療環境体制加算	・精神疾患診療体制加算
・歯科診療特別対応連携加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・特定機能病院入院基本料	・特定集中治療室管理料2
・超急性期脳卒中加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・診療録管理体制加算2	・総合周産期特定集中治療室管理料
・医師事務作業補助体制加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
・急性期看護補助体制加算	・一類感染症患者入院医療管理料
・看護補助加算	・小児入院医療管理料2
・療養環境加算	・短期滞在手術等基本料1
・重症者等療養環境特別加算	・短期滞在手術等基本料2
・無菌治療室管理加算1	・入院時食事療養/生活療養(I)
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・総合評価加算	・
・病棟薬剤業務実施加算	・
・データ提出加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・糖尿病合併症管理料	・胎児心エコー法
・がん性疼痛緩和指導管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・がん患者指導管理料1	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料2	・長期継続頭蓋内脳波検査
・がん患者指導管理料3	・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
・外来緩和ケア管理料	・神経学的検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・補聴器適合検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・ロービジョン検査判断料
・外来放射線照射診療料	・小児食物アレルギー負荷検査
・ニコチン依存症管理料	・内服・点滴誘発試験
・がん治療連携計画策定料	・CT透視下気管支鏡検査加算
・肝炎インターフェロン治療計画料	・有床義歯咀嚼機能検査
・薬剤管理指導料	・画像診断管理加算1
・医療機器安全管理料1	・歯科画像診断管理加算1
・医療機器安全管理料2	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・医療機器安全管理料(歯科)	・CT撮影及びMRI撮影
・歯科治療総合医療管理料(I), (II)	・冠動脈CT撮影加算
・在宅患者歯科治療総合医療管理料(I), (II)	・心臓MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・遺伝学的検査	・外来化学療法加算1
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・無菌製剤処理料
・検体検査管理加算(I)	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・検体検査管理加算(IV)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(II)
・国際標準検査管理加算	・運動器リハビリテーション料(I)
・遺伝カウンセリング加算	・呼吸器リハビリテーション料(I)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・がん患者リハビリテーション料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・精神科作業療法	・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
・認知療法・認知行動療法1	
・精神科ショートケア「小規模なもの」	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・精神科デイケア「小規模なもの」	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・医療保護入院等診療料	
・硬膜外自家血注入	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・透析液水質確保加算1	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・手術用顕微鏡加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
・CAD/CAM冠	・両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術
・手術時歯根面レーザー応用加算	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・歯科技工加算1及び2	・補助人工心臓
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・腹腔鏡下肝切除術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・生体部分肝移植術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・同種死体腎移植術
・網膜再建術	・生体腎移植術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・膀胱水圧拡張術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・口腔病理診断管理加算2
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・歯科矯正診断料
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	
・医科点数表第2章第10部手術の通則16に掲げる手術	
・輸血管管理料 I	
・輸血適正使用加算	
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・歯根端切除術の注3	
・麻酔管理料(I)	
・麻酔管理料(II)	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療(IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
・画像誘導密封小線源治療加算	
・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製	
・病理診断管理加算2	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
動脈壁と周囲脂肪組織における慢性炎症の可視化と病態解明	佐田 政隆	循環器内科学	¥3,400,000	補委 日本学術振興会
脂肪細胞由来のマイクロRNAを介した血管リモデリング制御機構の解析	八木 秀介	循環器内科学	¥1,100,000	補委 日本学術振興会
大動脈瘤形成におけるヘパリンコファクターIIの臨床的意義および病態分子機構の解明	伊勢 孝之	循環器内科	¥900,000	補委 日本学術振興会
心型ナトリウム利尿ヘプタドの多面的作用を活かした難治性心疾患治療法の開発	植松 悦子	循環器内科学	¥1,000,000	補委 日本学術振興会
活性型第X凝固因子によるマクロファージ活性化を介した新しい動脈硬化進展機序の解明	原 知也	循環器内科	¥900,000	補委 日本学術振興会
炎症からのアプローチによる心房細動の診断・治療法の確立	坂東 左知子	循環器内科	¥1,600,000	補委 日本学術振興会
下肢陽圧負荷心エコー図法による大動脈弁狭窄症の予後予測	楠瀬 賢也	循環器内科	¥2,200,000	補委 日本学術振興会
マクロファージTLR9を介した新しいインスリン抵抗性発現メカニズムの解明	福田 大受	心臓血管病態医学	¥1,100,000	補委 日本学術振興会
がん細胞が生成する尿中蛋白質断片の検出を応用した肺腺癌早期診断システム樹立に関する研究	西岡安彦	呼吸器膠原病内科学	¥1,300,000	補委 厚労省
PEOPLE-J試験への症例登録	西岡安彦	呼吸器膠原病内科学	¥650,000	補委 厚労省
エビデンスに基づいた特発性肺線維症(IPF)新治療戦略検討	西岡安彦	呼吸器膠原病内科学	¥260,000	補委 厚労省
びまん性肺疾患に関する調査研究	西岡 安彦	呼吸器膠原病内科学	¥300,000	補委 国立保健医療科学院
PDGF阻害ペプチドによる肺線維症の新規治療法への展開	東 桃代	呼吸器膠原病内科	¥1,200,000	補委 日本学術振興会
肺癌・中皮腫の微小環境に着目したベバシズマブの耐性関連バイオマーカーの探索	後東 久嗣	呼吸器膠原病内科学	¥1,100,000	補委 日本学術振興会
肝転移を標的とした小細胞肺癌に対する新規分子標的治療の開発	西岡 安彦	呼吸器膠原病内科学	¥800,000	補委 日本学術振興会
Sphere形成癌幹細胞様分面の肺癌多臓器転移における機能の検討	荻野 広和	呼吸器膠原病内科	¥1,800,000	補委 日本学術振興会
Fibrocyte分化制御による肺線維症の新規治療戦略への展開	佐藤 正大	呼吸器膠原病内科	¥1,800,000	補委 日本学術振興会

小計 17

難治性胸腹水の外来治療を可能とするモバイル型胸腹水濾過濃縮用装置の開発	岡久稔也	消化器内科	¥7,301,448	補 委	経産省
がん関連遺伝子産物の転写後発現調節を標的とした治療法の開発(K-ras変異とGST- π 発現の相関)	高山哲治	消化器内科	¥1,500,000	補 委	文科省
大腸がん超高危度群におけるがんリスク低減手法の最適化に関する研究(臨床試験に基づき新)	高山哲治	消化器内科	¥5,000,000	補 委	厚労省
ACFを標的とした新しい高感度分子イメージング法の開発	高山 哲治	消化器内科学	¥4,000,000	補 委	日本学術振興会
潰瘍性大腸炎におけるdysplasiaの高感度分子イメージング法の開発	六車 直樹	消化器内科学	¥1,100,000	補 委	日本学術振興会
大腸がんリンパ節転移の分子機構の解明及びリンパ節転移術前予測マーカーの開発	武石 俊作	消化器内科学	¥1,700,000	補 委	日本学術振興会
Barrett食道癌を特異的に認識する分子イメージングシステムの構築	北村 晋志	消化器内科学	¥900,000	補 委	日本学術振興会
ソラフェニブ耐性株の樹立とその機序の解析	友成 哲	消化器内科	¥2,100,000	補 委	日本学術振興会
膵癌と周囲脂肪組織のメタボロームを介した相互作用の解明	木村 哲夫	消化器内科	¥1,800,000	補 委	日本学術振興会
蛭菌状病変を介した大腸発癌経路における新規脱メチル化遺伝子の同定と機能解析	藤野 泰輝	消化器内科	¥2,100,000	補 委	日本学術振興会
潰瘍性大腸炎合併腫瘍の発見および治療法選択を支援する内視鏡画像解析システムの構築	岡久 稔也	地域総合医療学	¥1,200,000	補 委	日本学術振興会
早期診断と進展予防のためのバイオマーカー開発	安部秀斉	腎臓内科	¥1,000,000	補 委	厚労省
新規抗酸化分子ApolipoproteinL1の腎保護作用機序の解明	村上 太一	腎臓内科学	¥1,600,000	補 委	日本学術振興会
糖尿病性腎症および腎硬化症の血管合併症分子病態解明とその修復法の開発	安部 秀斉	腎臓内科学	¥1,800,000	補 委	日本学術振興会
アンチロガン受容体を介した性差依存および非依存性心血管リモデリング制御機構の解明	栗飯原 賢一	血液・内分泌代謝内科学	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
骨髓腫瘍微小環境からきた骨髄腫増殖制御機構の解明と新規治療法の開発	安倍 正博	血液・内分泌代謝内科学	¥1,100,000	補 委	日本学術振興会
新規ペプチドホルモンINSL6の心臓リモデリングにおける意義	吉田 守美子	血液・内分泌代謝内科学	¥1,500,000	補 委	日本学術振興会
がん酸性環境からきたがん細胞の薬剤耐性獲得機序の解明と新規治療薬の開発	中村 信元	血液内科	¥1,500,000	補 委	日本学術振興会
Th1様 γ δ T細胞の効果的な増幅法と抗骨髄腫活性の増強法の開発	三木 浩和	血液内科	¥1,100,000	補 委	日本学術振興会

医師主導治験の実施に関する研究	野寺裕之	神経内科	¥1,560,000	補 委	厚労省
免疫性ニューロパチーの治療反応性予測に基づく有効な治療戦略の構築	梶龍児	神経内科	¥520,000	補 委	厚労省
筋萎縮性側索硬化症(ALS)新規治療法開発をめざした病態解明	梶龍児	神経内科	¥1,100,000	補 委	厚労省
希少難治性脳・脊髄疾患の歩行障害に対する生体電位駆動型下肢装着型補助ロボット(HAI-HN02)	梶龍児	神経内科	¥7,748,000	補 委	厚労省
神経変性疾患領域における基盤的調査研究	梶 龍児	臨床神経科学	¥500,000	補 委	国立保健医療科学院
エビデンスに基づいた神経免疫疾患の早期診断基準・重症度分類・治療アルゴリズムの確立	梶 龍児	臨床神経科学	¥300,000	補 委	国立保健医療科学院
軸索膜電位とイオンチャネル機能異常をターゲットとしたALSの新規治療法の開発	野寺 裕之	臨床神経科学	¥900,000	補 委	日本学術振興会
ジストニアの機能病理に関する実験的研究	後藤 恵	臨床神経科学	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
新規運動ニューロン病遺伝子TFG解析と治療法開発	瓦井 俊孝	臨床神経科学	¥1,900,000	補 委	日本学術振興会
神経構造・機能画像を統合した筋萎縮性側索硬化症の新規バイオマーカーの開発	佐光 亘	臨床神経科学	¥1,100,000	補 委	日本学術振興会
生体内分解性素材を用いた国産治療デバイスの開発ー経カテーテル的心房中隔欠損孔閉鎖デバイス	黒部裕嗣	心臓血管外科	¥47,840,000	補 委	厚労省
生体分解性経カテーテル的ASD孔閉鎖デバイスの開発	黒部 裕嗣	心臓血管外科学	¥1,500,000	補 委	日本学術振興会
胎生期肺組織移植による肺線維症治療の実験的検討ー豚肺線維症モデルを用いてー	先山 正二	胸部・内分泌・腫瘍外科学	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
iPS細胞から誘導した気管支肺胞幹細胞は障害肺の修復を加速させる	鳥羽 博明	胸部・内分泌・腫瘍外科学	¥1,000,000	補 委	日本学術振興会
肺癌患者における術中胸膜浸潤の蛍光診断と胸膜下ルートを通るリンパ節転移の解明	滝沢 宏光	呼吸器外科	¥600,000	補 委	日本学術振興会
未固定遺体を用いて乳癌術後リンパ浮腫の原理及びセンチネルリンパ節の機能を解明する	中川 美砂子	食道・乳腺甲状腺外科	¥1,400,000	補 委	日本学術振興会
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	金山博臣	泌尿器科	¥299,000	補 委	厚労省
去勢抵抗性前立腺癌の進展に対するガレクチン-3の腫瘍制御機構の解明と臨床応用	福森 知治	泌尿器科	¥1,500,000	補 委	日本学術振興会
HCV感染に伴う肝発癌関連の新規遺伝要因の同定	島田光生	消化器・移植外科学	¥1,000,000	補 委	厚労省

多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	島田光生	消化器・移植外科学	¥500,000	補 委	厚労省
小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究	島田 光生	消化器・移植外科学	¥1,000,000	補 委	厚生労働省
肝星細胞による加齢肝の肝再生能不全プロセスの解明と治療法の開発	島田 光生	消化器・移植外科学	¥4,000,000	補 委	日本学術振興会
腸管傷害修復における幹細胞を介したソニックヘッジホッグ発現機序の解明	吉川 幸造	消化器・移植外科学	¥1,200,000	補 委	日本学術振興会
Epigeneticsに着眼した加齢肝機能不全の解明と制御に関する研究	森根 裕二	消化器・移植外科学	¥1,100,000	補 委	日本学術振興会
膵島移植における脂肪由来幹細胞を用いたIBMIR制御に関する研究	池本 哲也	消化器・移植外科学	¥1,200,000	補 委	日本学術振興会
肝移植免疫における肝星細胞の小胞体ストレス応答を介した免疫制御に関する研究	荒川 悠佑	消化器・移植外科学	¥1,800,000	補 委	日本学術振興会
肝虚血再灌流傷害におけるB-cell発現の関連に関する研究	齋藤 裕	消化器・移植外科学	¥1,500,000	補 委	日本学術振興会
GLUT1・胆汁酸吸収に着目したDJBの有用性に関する研究	西 正暁	消化器・移植外科学	¥1,800,000	補 委	日本学術振興会
肝癌の移植後再発を規定する宿主臓器・腫瘍微小環境の機序解明	居村 暁	消化器・移植外科	¥800,000	補 委	日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞を用いた三次元腸管組織再生法の開発	石橋 広樹	小児外科・小児内視鏡外科	¥700,000	補 委	日本学術振興会
発光ダイオード(LED)の波長強度可変装置による癌細胞制御と細胞保護に関する研究	寺奥 大貴	消化器外科	¥1,500,000	補 委	日本学術振興会
トロンスポンジン制御による消化器癌の放射線耐性解除に関する研究	高須 千絵	消化器外科	¥1,200,000	補 委	日本学術振興会
PPAR γ を標的とした糖尿病網膜症治療	三田村 佳典	眼科学	¥1,000,000	補 委	日本学術振興会
増殖糖尿病網膜症における転写因子PPAR γ の関与と治療への応用	香留 崇	眼科	¥2,100,000	補 委	日本学術振興会
網膜神経節細胞の保護と軸索再生研究	仙波 賢太郎	眼科	¥1,500,000	補 委	日本学術振興会
難治性めまい疾患の診療の質を高める研究	武田憲昭	耳鼻咽喉科学	¥7,722,000	補 委	厚労省
JaCALS研究リソースの維持・拡大・変性斑との連携	武田憲昭	耳鼻咽喉科学	¥1,300,000	補 委	厚労省
バーチャルリアリティー(仮想現実)を用いた平衡訓練法の開発	武田 憲昭	耳鼻咽喉科学	¥900,000	補 委	日本学術振興会

未固定遺体を用いた有限要素モデルの作成および妥当性の検討	東野 恒作	整形外科	¥3,000,000	補委	日本学術振興会
膝離断性骨軟骨炎の病因・病態解明と新検査法の検討	鈴江 直人	整形外科	¥2,200,000	補委	日本学術振興会
腰部脊柱管狭窄症における黄色靭帯肥厚機序の解明	合田 有一郎	整形外科	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
腰椎分離症の発生メカニズムの解明	酒井 紀典	運動機能外科学	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
腰部脊柱管狭窄症における黄色靭帯肥厚メカニズムの解明	西良 浩一	運動機能外科学	¥900,000	補委	日本学術振興会
血行動態に着目した肘離断性骨軟骨炎の病態解明と新治療法の開発	松浦 哲也	運動機能外科学	¥700,000	補委	日本学術振興会
V型ATPaseにより形成される酸性環境を標的とした肉腫新規治療の開発	西庄 俊彦	運動機能外科学	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
股関節安定性に対する大腿骨頭靭帯の機能解析	後東 知宏	運動機能外科学	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
表皮細胞のゲノム不安定性と発癌制御・進展機構	久保 宣明	皮膚科学	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
SP細胞を標的とした皮膚癌幹細胞同定と解析:癌根治への新戦略	村尾 和俊	皮膚科学	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
Hepatocyte growth factorによるリンパ浮腫軽減作用の研究	橋本 一郎	形成外科学	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
遊離脂肪組織移植におけるHGF遺伝子プラスミドを用いた遺伝子治療の基礎研究	峯田 一秀	形成外科学	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
HGFの血管新生効果の研究-微小循環を可視化したチャンパー法を用いて確かめる	安倍 吉郎	形成外科学	¥1,900,000	補委	日本学術振興会
脳卒中急性期治療に関する国内臨床拠点施設を適切に活用した国際共同試験の円滑な企画・遂行	永廣信治	脳神経外科学	¥3,000,000	補委	厚労省
脳卒中・循環器病の遠隔医療の開発と検証のための研究	永廣信治	脳神経外科学	¥910,000	補委	厚労省
発症時刻不明の脳梗塞患者に対する静注血栓溶解療法の実用拡大を目指した臨床研究	永廣信治	脳神経外科学	¥250,000	補委	厚労省
脳動脈瘤破裂の病態解析と早期診断・薬物治療へのアプローチ	永廣 信治	脳神経外科学	¥5,100,000	補委	日本学術振興会
悪性神経鞘腫に対するAd-REICの抗腫瘍効果とWntシグナル制御の分子機構	溝渕 佳史	脳神経外科学	¥400,000	補委	日本学術振興会
NF κ Bを分子標的としたL-ドーパ誘発性ジスキネシアの治療法開発	森垣 龍馬	脳神経外科	¥1,400,000	補委	日本学術振興会

脳血管障害におけるエストロゲン受容体モジュレーターの有効性と分子機構	桑山 一行	脳神経外科	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
脳動脈瘤と歯周病に関する臨床および基礎的研究	里見 淳一郎	脳神経外科学	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
脳梗塞発症後のマクロファージ活性化とその制御による脳保護作用	八木 謙次	脳神経外科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
悪性神経腫瘍に対するGc-MAFの抗腫瘍効果とその分子機構	中島 公平	脳神経外科	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
脳動脈瘤形成・破裂に対する選択的エストロゲン受容体作動薬の役割	多田 恵曜	脳神経外科学	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
高血糖が吸入麻酔薬およびGLP-1受容体の心筋保護相互作用に及ぼす影響	酒井 陽子	麻酔科	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
吸入麻酔薬のポストコンディショニング効果におけるGLP-1受容体の役割	浜口 英佑	麻酔科	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
吸入麻酔薬とGLP-1の心筋保護相互作用とオートファジーの役割	笠井 飛鳥	麻酔科	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
レミフェンタニールが吸入麻酔薬による心筋保護効果と抗炎症効果に及ぼす影響	田中 克哉	麻酔・疼痛治療医学	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
吸入麻酔薬の心筋保護作用における細胞膜マイクロドメインとオートファジーの役割	堤 保夫	麻酔・疼痛治療医学	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
再生医療における血管新生に及ぼす血管プレコンディショニング効果の検討	川人 伸次	麻酔・疼痛治療医学	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
DNAメチル化修飾に着目したうつ病のマーカー作成—双極、単極、治療抵抗性うつ病の鑑別を目指	大森哲郎	精神医学	¥55,002,000	補委	厚労省
iPS細胞を用いたクロザピン反応性のエピジェネティクス解析	沼田周助	精神医学	¥1,300,000	補委	厚労省
うつ病における幼少期の環境ストレス・自殺・病期と末梢血メチル化の関連研究	沼田 周助	精神科神経科	¥500,000	補委	日本学術振興会
血漿ホモシステイン濃度に影響する遺伝子多型の同定に基づく統合失調症の病態解析研究	木下 誠	精神科神経科	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
強迫性障害の薬物反応と5-HTTLPR遺伝子多型・5-HTT遺伝子メチル化の関連	梅原 英裕	精神科神経科	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
脳内アミノ酸系に及ぼす向精神薬の影響—高磁場MRSの精神薬理学的応用—	大森 哲郎	精神医学	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
高磁場MRSとNIRSを中間表現型とした強迫性障害の薬物応答遺伝子の研究	住谷 さつき	精神医学	¥800,000	補委	日本学術振興会
うつ病患者における幼少期ストレスと白血球5HTT遺伝子発現とDNAメチル化の関連	伊賀 淳一	精神医学	¥1,100,000	補委	日本学術振興会

プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	香美 祥二	小児科学	¥130,000	補 委	厚生労働省
半月体形成性腎炎における(プロ)レニン受容体を介した病態機序の解明と新規治療法	漆原 真樹	小児科	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
肺高血圧症における内皮由来過分極因子の役割解明と治療応用	早瀬 康信	小児科学	¥500,000	補 委	日本学術振興会
小児CKD新規治療法開発のための間質線維化での接着分子Hic-5の役割と機能解析	近藤 秀治	小児科学	¥1,100,000	補 委	日本学術振興会
糸球体RASのペプチドミクス/プロテオミクス解析と小児慢性腎臓病の診断治療法開発	香美 祥二	小児科学	¥1,200,000	補 委	日本学術振興会
生殖補助医療により出生した児の長期予後と技術の標準化に関する研究	苛原 稔	産科婦人科学	¥39,600,000	補 委	厚労省
臨床標本・臨床情報の集積とデータ解析(性分化・性成熟領域38疾患の診療ガイドライン作成に向け)	松崎利也	産科婦人科学	¥1,170,000	補 委	厚労省
不妊・不育に悩む夫婦等の実態に関する調査・研究	苛原 稔	産科婦人科学	¥2,262,000	補 委	厚労省
周産期医療に対する調査・研究	苛原 稔	産科婦人科学	¥6,000,000	補 委	厚労省
卵巣機能の低下が中枢・末梢のストレス反応に及ぼす影響とその機序の検討	岩佐 武	産科婦人科学	¥600,000	補 委	日本学術振興会
多嚢胞性卵巣症候群の診断基準におけるAMHとインスリン抵抗性の意義に関する研究	苛原 稔	産科婦人科学	¥1,500,000	補 委	日本学術振興会
視床下部機能低下時の新規中枢神経ペプチドアナログによる新しい排卵誘発法の基礎検討	松崎 利也	産科婦人科学	¥1,500,000	補 委	日本学術振興会
日本人卵巣癌患者のHBOC関連遺伝子変異解析に基づくリスク情報提供プログラム開発	阿部 彰子	産科婦人科学	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	原田 雅史	放射線医学	¥1,000,000	補 委	厚生労働省
磁化率強調画像とMRSによる出血・壊死イメージング:子宮肉腫の早期診断法の開発	竹内 麻由美	放射線部	¥1,800,000	補 委	日本学術振興会
レトックス制御と神経伝達バランスに関するMRIを用いたバイオマーカーの開発	原田 雅史	放射線医学	¥1,600,000	補 委	日本学術振興会
力学的刺激によるエナメル芽細胞の分化誘導方法の開発	阿部 佳織	糖尿病対策センター	¥1,500,000	補 委	日本学術振興会
AIMと糖代謝異常およびメタボリックシンドロームに関する疫学研究	秦 明子	糖尿病対策センター	¥2,500,000	補 委	日本学術振興会
糖尿病関連歯周炎におけるS100A8の生理的役割と作用機構の解明	廣島 佑香	糖尿病対策センター	¥1,100,000	補 委	日本学術振興会

成人肺炎球菌ワクチン PCV13-PPSV23連続接種 の免疫原性と安全性の検 査	東桃代	感染制御部	¥2,000,000	補 委	厚労省
エヒンゲネアライグス・転写 後発現調節機構の解析に よる新規歯髄温存・石灰 化療法の開発	湯本 浩通	第一保存科	¥1,800,000	補 委	日本学術 振興会
歯髄炎の病態形成におけ る象牙芽細胞の細菌由来 因子に対する自然免疫機 構の解明	武川 大輔	第一保存科	¥1,600,000	補 委	日本学術 振興会
抗菌成分添加フッ化ジア ミンシリケートの齲蝕およ び酸蝕歯への臨床応用	菅 俊行	第一保存科	¥1,100,000	補 委	日本学術 振興会
歯周炎変局所における Th17細胞浸潤・活性化機 構の解析	細川 義隆	歯科保存学	¥1,100,000	補 委	日本学術 振興会
歯髄炎における炎症・抗 炎症バランス制御機構の 解析とTh17細胞の役割	中西 正	歯科保存学	¥1,700,000	補 委	日本学術 振興会
自然免疫を介した象牙芽 細胞石灰化メカニズムの 解明	平尾 功治	歯科保存学	¥1,700,000	補 委	日本学術 振興会
歯周病におけるメロニンの 役割解明および治療へ の応用	細川 育子	歯科保存学	¥1,500,000	補 委	日本学術 振興会
高周波/電磁波治療の深 在性齲蝕治療への応用 —訪問・在宅治療を目指 して—	松尾 敬志	歯科保存学	¥900,000	補 委	日本学術 振興会
漢方薬を歯周病治療に応 用するための基礎的研究	進藤 智	歯科保存学	¥1,000,000	補 委	日本学術 振興会
最終糖化産物とインフラマ ソームの関連から探る糖 尿病関連歯周炎の病態	板東 美香	第二保存科	¥1,100,000	補 委	日本学術 振興会
糖尿病関連歯周炎の重 症化機序におけるカルプ ロテクチンの作用	生田 貴久	第二保存科	¥1,000,000	補 委	日本学術 振興会
デンタル技術を用いたより 衛生的で治療負荷の少な い全都床義歯治療法の実 用化	柏原 稔也	第一補綴科	¥600,000	補 委	日本学術 振興会
金属アレルギー発症過程 における樹状細胞遊走因 子の解析	渡邊 恵	第一補綴科	¥1,100,000	補 委	日本学術 振興会
ストレスと咀嚼筋活動を伴 う口腔習癖との関連につ いて	高田 奈美	第二補綴科	¥1,000,000	補 委	日本学術 振興会
TNF- α のリプログラミング 効果を応用した新規覆髄 剤の開発	上枝 麻友	第二補綴科	¥900,000	補 委	日本学術 振興会
神経障害性疼痛における 知覚神経節での神経伝達 物質の役割	田中 紗友里	第二補綴科	¥1,000,000	補 委	日本学術 振興会
下顎前方位口腔内装置を 使用する閉塞性睡眠時無 呼吸患者の咬合変位解 明に向けて	三浦 菜里子	第二補綴科	¥2,200,000	補 委	日本学術 振興会
歯髄・象牙質再生を促進 する新規生体材料の開発	井上 美穂	第二補綴科	¥1,100,000	補 委	日本学術 振興会

「噛み心地」に対する顎機能評価基準の確立	田島 登誉子	第二補綴科	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
薬剤徐放カプセル-キトサン複合体の骨補填材への応用研究	内藤 禎人	口腔インプラントセンター	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
チタン焼結体の歯科補綴への応用	友竹 偉則	口腔インプラントセンター	¥1,800,000	補委	日本学術振興会
睡眠中の咀嚼筋群の活動が頸部筋群に及ぼす影響	安倍 晋	総合診療歯科学	¥600,000	補委	日本学術振興会
ミュータンス連鎖球菌の糖輸送関連遺伝子がう蝕の発症に与える影響について	木村 智子	総合診療歯科学	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
歯髄炎の発症および進行における生体防御機構の解明	高橋 加奈子	口腔管理センター	¥2,000,000	補委	日本学術振興会
ガラスイオノマーの抗齶蝕作用を強化する新規フッ素化合物の検索	堀内 信也	矯正歯科	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
慢性筋萎縮性疾患に対する核酸創薬の開発研究	木内 奈央	矯正歯科	¥700,000	補委	日本学術振興会
骨芽細胞による骨形成促進性と抑制性の細胞微小環境形成の実態とその分子機序の解明	天知 良太	矯正歯科	¥900,000	補委	日本学術振興会
アロマトキシン遺伝子欠損マウスにおけるシェーグレン症候群様病変と肥満との関連	岩浅 亮彦	矯正歯科	¥1,800,000	補委	日本学術振興会
TRPA1チャンネル阻害剤を応用した薬物性歯肉増殖症の治療薬の開発	中川 弘	小児歯科	¥900,000	補委	日本学術振興会
基質小胞分泌メカニズムの解明と石灰化への応用	上田 公子(山口公子)	小児歯科	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
歯髄細胞による組織修復・恒常性維持における細胞間ネットワーク機構の解析	赤澤 友基	小児歯科	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
歯周組織の恒常性維持機構における歯根膜機能の解析および新しい歯周組織再建法の開発	長谷川 智一	小児歯科学	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
エクソソームによる新規上皮-間葉相互作用の概念とその応用	岩本 勉	小児歯科学	¥700,000	補委	日本学術振興会
前象牙芽細胞の役割解明と象牙質再生への応用	岩本 勉	小児歯科学	¥2,500,000	補委	日本学術振興会
脱落乳歯歯髄幹細胞による神経再生に関する研究	北村 尚正	小児歯科学	¥600,000	補委	日本学術振興会
革新的硬組織再生・再建システム創製	宮本洋二	口腔外科学	¥2,990,000	補委	文科省
新規培養法CIUSを用いた口腔癌に対する抗癌剤感受性試験の開発と耐性機序の解明	高丸 菜都美	口腔外科	¥1,000,000	補委	日本学術振興会

ゼラチン複合型炭酸アパタイトフォームの創製と顎骨再生への応用	藤澤 健司	口腔外科	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
PD-1を標的としたFDC/C阻害剤とOK-432による口腔癌に対する新規免疫療法	大江 剛	口腔外科	¥1,800,000	補委	日本学術振興会
口腔癌頸部リンパ節転移のバイオマーカーとしての血液中microRNAの探索	玉谷 哲也	口腔外科	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
口腔癌根治を目指した放射線治療の挑戦—分子標的薬と抗癌剤の最適な併用法の追求—	工藤 隆治	口腔外科学	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
NF- κ BとCXCR4関連miRNAを標的とした口腔癌に対する複合的治療法の開発	宮本 洋二	口腔外科学	¥3,700,000	補委	日本学術振興会
創傷治癒不全および難治性口内炎に対する新規治癒促進剤としてのレプチンの挑戦	工藤 景子	口腔外科学	¥900,000	補委	日本学術振興会
IPS細胞と低結晶性炭酸アパタイトを用いたハイブリッド型人工骨による骨再生医療	永井 宏和	口腔外科学	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
オッセオインテグレーションとバイオインテグレーションの本質を細胞サイドから探る	宮本 洋二	口腔外科学	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
CXCR4標的分子mGluR5を介した口腔癌の転移機構におけるmiR-30の役割	栗林 伸行	口腔外科学	¥900,000	補委	日本学術振興会
IP-10を分子標的としたシェーグレン症候群の新規診断・治療法の開発	青田 桂子	口腔内科	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
口腔癌に対するNF- κ Bを分子標的とした併用化学療法の開発	可児 耕一	口腔内科	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
口腔顔面痛の診断マーカーの探索—小型脳波センサーと光トポグラフィを用いて—	桃田 幸弘	口腔内科学	¥500,000	補委	日本学術振興会
血管新生のin vitro評価系構築と周術期血管新生医療への貢献	高石 和美	歯科麻酔科学	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
長寿遺伝子Sirtuin 3の吸入麻酔薬による心筋保護作用における役割	北畑 洋	歯科麻酔科学	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
健忘作用獲得のための新しい精神鎮静法の確立	富岡 重正	歯科麻酔科学	¥700,000	補委	日本学術振興会
歯科用IPを用いた原子力発電所事故による放射性セシウムの検出能	吉田 みどり	歯科放射線学	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
3T-MR造影対心型非磁性血管内ステントおよび脳血管クリップの実用化	菅田 栄一	歯科放射線学	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
最終糖化産物AGEsによる糖尿病関連歯周炎の重症化機序の解明と診断システムの構築	永田 俊彦	歯周歯内治療学	¥4,900,000	補委	日本学術振興会
感染性心内膜炎に及ぼす歯周病原細菌感染度と炎症性サイトカインとの関係	二宮 雅美	歯周歯内治療学	¥1,200,000	補委	日本学術振興会

老化促進物質AGE(最終糖化産物)による歯髄、歯肉、歯槽骨への細胞機能障害の解析	永田 俊彦	歯周歯内治療学	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
細胞性バイオマーカーを用いたインプラント疾患の診断とデバイス開発	木戸 淳一	歯周歯内治療学	¥900,000	補委	日本学術振興会
糖尿病関連歯周炎におけるHMGB1-RAGEの役割	中島 由紀子	歯周歯内治療学	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
金属アレルギーの感作機序の解明とそれに基づく戦略的治療法の開発	市川 哲雄	口腔顎顔面補綴学	¥5,600,000	補委	日本学術振興会
サルコペニアによる摂食嚥下障害の早期発見と早期介入	永尾 寛	口腔顎顔面補綴学	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
オーラルフレイルのバイオマーカーの探索と補綴治療戦略	市川 哲雄	口腔顎顔面補綴学	¥1,900,000	補委	日本学術振興会
インプラント周囲炎に関連するmicroRNAの同定	岩脇 有軌	口腔顎顔面補綴学	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
歯への機械的刺激の中樞伝達メカニズム -咬合感覚違和感患者の治療法開発に向けて-	松香 芳三	顎機能咬合再建学	¥3,000,000	補委	日本学術振興会
チタンアレルギーの解明と予防法の検討	細木 真紀	顎機能咬合再建学	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
睡眠時ブラキシズムの顎運動を制御する方法の検討	大倉 一夫	顎機能咬合再建学	¥2,100,000	補委	日本学術振興会
ボツリヌス毒素を用いた咬合感覚異常に対する治療法の開発	松香 芳三	顎機能咬合再建学	¥700,000	補委	日本学術振興会
頭蓋顎顔面顎咬高頻度疾患の原因究明から病態発症機序解明への最先端研究戦略	田中 栄二	口腔顎顔面矯正学	¥4,100,000	補委	日本学術振興会
人工スクリューを用いた遺伝子改変マウス作製法の超簡便化	泰江 幸博	口腔顎顔面矯正学	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
チタン加工チタンインプラントの臨床応用を目指したメカニカルストレスによる骨形成促進	黒田 晋吾	口腔顎顔面矯正学	¥800,000	補委	日本学術振興会
成長期におけるIGF-1シグナルを介した骨格筋萎縮の機序解明と治療法の開発	川合 暢彦	口腔顎顔面矯正学	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
内分泌攪乱物質タイロキシン受容体AhRによる骨代謝調節機構解明への挑戦	井澤 俊	口腔顎顔面矯正学	¥2,100,000	補委	日本学術振興会
RANKL/Fasを介した関節リウマチにおける骨軟骨破壊機構の解明	井澤 俊	口腔顎顔面矯正学	¥5,400,000	補委	日本学術振興会
癌細胞の低酸素、酸性環境下における薬剤耐性に対する治療薬の開発	渡邊 佳一郎	口腔顎顔面矯正学	¥800,000	補委	日本学術振興会
効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築のための研究	島井 健一郎	病院情報センター	¥200,000	補委	厚生労働省

合計 207件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Yagi S, Takashima A, Mitsugi M, Wada T, Hotchi J, Ajhara K, Hara T, Ishida M, Fukuda D, Ise T, Yamaguchi K, Tobiume T, Iwase T, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Shimabukuro M, Akaike M, Sata M	循環器内科	Effect of combination tablets containing amlodipine 10 mg and irbesartan 100 mg on blood pressure and cardiovascular risk factors in patients with hypertension.	Ther Clin Risk Manag. 11: 83-88, 2015
2	Yamada H, Sata M	循環器内科	The role of pericardial fat: The good, the bad and the ugly.	J Cardiol. 65: 2-4, 2015
3	Kimura S, Ueda Y, Ise T, Yagi S, Iwase T, Nishikawa K, Yamaguchi K, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Katoh S, Akaike M, Yasui N, Sata M	循環器内科	Impact of supervised cardiac rehabilitation on urinary albumin excretion in patients with cardiovascular disease.	Int Heart J. 56: 105-109, 2015
4	Soeki T, Yamaguchi K, Niki T, Uematsu E, Bando S, Matsuura T, Ise T, Kusunose K, Hotchi J, Tobiume T, Yagi S, Fukuda D, Taketani Y, Iwase T, Yamada H, Wakatsuki T, Shimabukuro M, Sata M	循環器内科	Plasma microRNA-100 is associated with coronary plaque vulnerability.	Circ J. 79: 413-418, 2015
5	Takashima A, Shimabukuro M, Tabata M, Fukuda D, Uematsu E, Ishibashi-Ueda H, Takanashi S, Sata M	循環器内科	Histopathological heterogeneity of in-stent restenosis in four coronary endarterectomy specimens.	Cardiovasc Pathol. 24(3): 194-197, 2015
6	Hayashi S, Yamada H, Nishio S, Hotchi J, Bando M, Takagawa Y, Saijo Y, Hirata Y, Sata M	循環器内科	Age- and gender-specific changes of tricuspid annular motion velocities in normal hearts.	J Cardiol. 65(5): 397-402, 2015
7	Niki T, Soeki T, Yamaguchi K, Taketani Y, Yagi S, Iwase T, Yamada H, Wakatsuki T, Shimabukuro M, Sata M	循環器内科	Elevated concentration of interferon-inducible protein of 10 kD (IP-10) is associated with coronary atherosclerosis.	Int Heart J. 56(3): 269-272, 2015
8	Yagi S, Ajhara K, Fukuda D, Takashima A, Hara T, Hotchi J, Ise T, Yamaguchi K, Tobiume T, Iwase T, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Shimabukuro M, Akaike M, Sata M	循環器内科	Effects of docosahexaenoic acid on the endothelial function in patients with coronary artery disease.	J Atheroscler Thromb. 22(5): 447-454, 2015
9	Hayashi S, Yamada H, Nishio S, Hotchi J, Takagawa Y, Saijo Y, Hirata Y, Sata M	循環器内科	Tricuspid annular motion velocity as a differentiation index of hypertrophic cardiomyopathy from hypertensive heart disease.	J Cardiol. 65(6): 519-525, 2015
10	Yamada H, Sata M	循環器内科	Does echocardiographic epicardial adipose tissue thickness become a useful biomarker?	J Atheroscler Thromb. 22(6): 555-556, 2015
11	Kusunose K, Hotchi J, Takagawa Y, Nishio S, Ise T, Tobiume T, Yamaguchi K, Yagi S, Iwase T, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M	循環器内科	Serial imaging changes during immunoglobulin G4-related disease with multiple pseudo tumors.	Circulation. 131(21):1882-1883, 2015
12	Hayashi S, Yamada H, Bando M, Saijo Y, Nishio S, Hirata Y, Klein AL, Sata M	循環器内科	Optimal analysis of left atrial strain by speckle tracking echocardiography: P-wave versus R-wave trigger.	Echocardiography. 32(8): 1241-1249, 2015

小計 12件

13	Kusunose K, Yamada H, Hotchi J, Bando M, Nishio S, Hirata Y, Ise T, Yamaguchi K, Yagi S, Soeki T, Wakatsuki T, Kishi J, Sata M	循環器内科	Prediction of future overt pulmonary hypertension by six-minute walk stress echocardiography in connective tissue disease.	J Am Coll Cardiol. 66(4): 376-384, 2015
14	Yamazaki H, Yamaguchi K, Soeki T, Wakatsuki T, Niki T, Taketani Y, Kitaoka A, Kusunose K, Ise T, Tobijume T, Yagi S, Iwase T, Yamada H, Sata M	循環器内科	Impact of indoxyl sulfate, a uremic toxin, on non-culprit coronary plaque composition assessed by integrated backscatter intravascular ultrasound.	Circ J. 79:1773-1779, 2015
15	Bando M, Yamada H, Kusunose K, Fukuda D, Amano R, Tamai R, Torii Y, Hirata Y, Nishio S, Yamaguchi K, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M	循環器内科	Comparison of carotid plaque tissue characteristics in patients with acute coronary syndrome or stable angina pectoris: assessment by iPlaque, transcutaneous carotid ultrasonography with integrated backscatter analysis.	Cardiovasc Ultrasound. 13(1): 34, 2015
16	Hara T, Yagi S, Akaike M, Sata M	循環器内科	Transdermal patch of bisoprolol for the treatment of hypertension complicated with aortic dissection.	Int J Cardiol. 198: 220-221, 2015
17	Shimabukuro M, Hasegawa Y, Higa M, Amano R, Yamada H, Mizushima S, Mesuzaki H, Sata M	循環器内科	Subclinical carotid atherosclerosis burden in Japanese: comparison between Okinawa and Nagano residents.	J Atheroscler Thromb. 22(8): 854-868, 2015
18	Bando S, Fukuda D, Soeki T, Nishimoto S, Uematsu E, Matsuura T, Ise T, Tobijume T, Yamaguchi K, Yagi S, Iwase T, Yamada H, Wakatsuki T, Shimabukuro M, Sata M	循環器内科	Expression of NLRP3 in subcutaneous adipose tissue is associated with coronary atherosclerosis.	Atherosclerosis. 242(1): 407-414, 2015
19	Nishio S, Kusunose K, Yamada H, Yamao M, Hirata Y, Mori K, Matsuoka S, Sata M	循環器内科	Echocardiographic screening for congenital heart disease in 8819 children: a report from local community events for children's healthcare.	J Cardiol. 66(4):315-319, 2015
20	Yagi S, Aihara K, Akaike M, Fukuda D, Salim HM, Ishida M, Matsuura T, Ise T, Yamaguchi K, Iwase T, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Shimabukuro M, Matsumoto T, Sata M	循環器内科	Predictive factors for efficacy of dipeptidyl peptidase-4 inhibitors in patients with type 2 diabetes mellitus.	Diabetes Metab J. 39(4):342-347, 2015
21	Hara T, Fukuda D, Tanaka K, Higashikuni Y, Hirata Y, Yagi S, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Shimabukuro M, Sata M	循環器内科	Rivaroxaban, a novel oral anticoagulant, attenuates atherosclerotic plaque progression and destabilization in ApoE-deficient mice.	Atherosclerosis. 242(2): 639-646, 2015
22	Hirata Y, Yamada H, Kusunose K, Iwase T, Nishio S, Hayashi S, Bando S, Amano R, Yamaguchi K, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M	循環器内科	Clinical utility of measuring epicardial adipose tissue thickness with echocardiography using a high-frequency linear probe in patients with coronary artery disease.	J Am Soc Echocardiogr. 28(10), 1240-1246, 2015
23	Shimabukuro M, Saito T, Higa T, Nakamura K, Mesuzaki H, Sata M; Fukuoka diabetologists group	循環器内科	Risk stratification of coronary artery disease in asymptomatic diabetic subjects using multidetector computed tomography.	Circ J. 79(11), 2422-2429, 2015
24	Yagi S, Aihara K, Fukuda D, Takashima A, Bando M, Hara T, Nishimoto S, Ise T, Kusunose K, Yamaguchi K, Tobijume T, Iwase T, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Shimabukuro M, Akaike M, Sata M	循環器内科	Reduced ratio of eicosapentaenoic acid and docosahexaenoic acid to arachidonic acid is associated with early onset of acute coronary syndrome.	Nutr J. 14(1), 111, 2015
25	Sawada N, Yamada H, Kusunose K, Hayashi S, Iwase T, Sata M	循環器内科	3D transthoracic echocardiography provides accurate cross-sectional area of the RV outflow tract.	JACC Cardiovasc Imaging. 8(11), 1343-1345, 2015

小計 13件

26	Hayashi S, Yamada H, Fukui M, Ito H, Sata M	循環器内科	Correlation between arteriosclerosis and periodontal condition assessed by lactoferrin and alpha-antitrypsin levels in gingival crevicular fluid.	Int Heart J. 56(6), 639-643, 2015
27	Bando M, Yamada H, Kusunose K, Hayashi S, Takagawa Y, Saijo Y, Nishio S, Ogasawara K, Sata M	循環器内科	Pulmonary embolism due to right atrial free-floating thrombus during echocardiographic examination: a case of a pulmonary saddle thrombus.	J Echocardiogr. 13(4), 145-147, 2015
28	Sato S, Hanibuchi M, Takahashi M, Fukuda Y, Morizumi S, Toyoda Y, Goto H, Nishioka Y.	呼吸器・膠原病内科	A Patient with Idiopathic Pleuroparenchymal Fibroelastosis Showing a Sustained Pulmonary Function due to Treatment with Pirfenidone.	Intern Med. 2016;55(5):497-501.
29	Ogino H, Hanibuchi M, Takizawa H, Sekiyama S, Sumitomo H, Iwamoto S, Ikushima H, Nakajima K, Nagahiro S, Yamago T, Toyoda Y, Bando Y, Nishioka Y.	呼吸器・膠原病内科	Primary Pulmonary Synovial Sarcoma Showing a Prolonged Survival with Multimodality Therapy.	Intern Med. 2016;55(4):381-7.
30	Mitsuhashi A, Goto H, Saijo A, Trung VT, Aono Y, Ogino H, Kuramoto T, Tabata S, Uehara H, Izumi K, Yoshida M, Kobayashi H, Takahashi H, Gotoh M, Kakuchi S, Hanibuchi M, Yano S, Yokomise H, Sekiyama S, Nishioka Y.	呼吸器・膠原病内科	Fibrocyte-like cells mediate acquired resistance to anti-angiogenic therapy with bevacizumab.	Nat Commun. 2015 Dec 4;6:8792.
31	Kawano H, Nishijima H, Morimoto J, Hirota F, Morita R, Mouri Y, Nishioka Y, Matsumoto M.	呼吸器・膠原病内科	Aire Expression Is Inherent to Most Medullary Thymic Epithelial Cells during Their Differentiation Program.	J Immunol. 2015 Dec 1;195(11):5149-58.
32	Sato S, Kawamata Y, Takahashi A, Imai Y, Hanyu A, Okuma A, Takasugi M, Yamakoshi K, Sorimachi H, Kanda H, Ishikawa Y, Sone S, Nishioka Y, Ohtani N, Hara E.	呼吸器・膠原病内科	Ablation of the p16(INK4a) tumour suppressor reverses ageing phenotypes of klotho mice.	Nat Commun. 2015 Apr 29;6:7035.
33	Sogabe M, Okahisa T, Nakagawa T, Fukuno H, Nakasono M, Tomonari T, Tanaka T, Tanaka H, Taniguchi T, Muguruma N, Takayama T.	消化器内科	Influence of light alcohol consumption on lifestyle-related diseases: a predictor of fatty liver with liver enzyme elevation in Japanese females with metabolic syndrome.	BMC Gastroenterol.2016 ; 16(1): 17
34	Tomonari T, Takeishi S, Taniguchi T, Tanaka T, Tanaka H, Fujimoto S, Kimura T, Okamoto K, Miyamoto H, Muguruma N, Takayama T.	消化器内科	MRP3 as a novel resistance factor for sorafenib in hepatocellular carcinoma.	Oncotarget. 2016; 7(6): 7207-7215
35	Miyoshi J, Miyamoto H, Goji T, Taniguchi T, Tomonari T, Sogabe M, Kimura T, Kitamura S, Okamoto K, Fujino Y, Muguruma N, Okahisa T, Takayama T.	消化器内科	Serum diamine oxidase activity as a predictor of gastrointestinal toxicity and malnutrition due to anticancer drugs.	Journal of Gastroenterology and Hepatology. 2015; 30(11):1582-1590.
36	Mitsui Y, Sato Y, Miyamoto H, Fujino Y, Takaoka T, Miyoshi J, Kagawa M, Ohnuma H, Hirakawa M, Kubo T, Osuga T, Sagawa T, Sato Y, Takahashi Y, Katsuki S, Okuda T, Takimoto R, Kobune M, Nobuoka T, Hirata K, Kato J, Takayama T.	消化器内科	Trastuzumab in combination with docetaxel/cisplatin/S-1 (DCS) for patients with HER2-positive metastatic gastric cancer: Feasibility and preliminary efficacy.	Cancer Chemotherapy and Pharmacology. 2015; 76(2): 375-382.
37	Goji T, Kimura T, Miyamoto H, Takehara M, Kagemoto K, Okada Y, Okazaki J, Takaoka Y, Miyamoto Y, Mitsui Y, Matsumoto S, Sueuchi T, Tanaka K, Fujino Y, Takaoka T, Kitamura S, Okamoto K, Kimura M, Sogabe M, Muguruma N, Okahisa T, Sato Y, Sagawa T, Fujikawa K, Sato Y, Ikushima H, Takayama T.	消化器内科	A Phase I/II Study of Fixed-dose-rate Gemcitabine and S-1 with Concurrent Radiotherapy for Locally Advanced Pancreatic Cancer.	Cancer Chemotherapy and Pharmacology. 2015; 76(3): 615-620
38	Sogabe M, Okahisa T, Nakasono M, Fujino Y, Mitsui Y, Takaoka Y, Kimura T, Okamoto K, Muguruma N, Takayama T.	消化器内科	Investigation of Gastrointestinal Mucosal Injury in Japanese Asymptomatic Antiplatelet Drug Users.	Medicine (Baltimore). 2015; 94(26): e1047

39	Okamoto K, Zaenan A, Kawakami H, Huang S, Sinicrope FA.	消化器内科	Reversal of Mutant KRAS-Mediated Apoptosis Resistance by Concurrent Noxa/Bik Induction and Bcl-2/Bcl-xL Antagonism in Colon Cancer Cells.	Mol Cancer Res. 2015; 13(4):659-669
40	Muguruma N, Takayama T.	消化器内科	Narrow Band Imaging as an Efficient and Economical Tool in Diagnosing Colorectal Polyps.	Clin Endosc. 2015; 48(6): 461-463
41	Mitsui Y, Kegemoto K, Itagaki T, Inoue S, Naruse K, Muguruma N, Takayama T.	消化器内科	Gastric inflammatory fibroid polyp morphologically changed by Helicobacter pylori eradication.	Clin J Gastroenterol, 2015; 8(2): 77-81
42	Harutaka Yamaguchi, Saaya Tada, Yoshinori Nakanishi, Shingo Kawaminami, Teruki Shin, Ryo Tabata, Shino Yuasa, Nobuhiko Shimizu, Mitsuhiro Kohno, Atsushi Tsuchiya, Kenji Tani	大学院医歯薬学 研究部総合診療 医学分野	Association between Mouth Breathing and Atopic Dermatitis in Japanese Children 2-6 years: A Population-Based Cross-Sectional Study	PLoS One誌 第10 巻第4号 e0125916
43	Tamaki M, Hagiwara A, Miyashita K, Wakino S, Inoue H, Fujii K, Fujii C, Sato M, Mitsuishi M, Muraki A, Hayashi K, Doi T, Itoh H	腎臓内科	Improvement of physical decline through combined effects of muscle enhancement and mitochondrial activation by a gastric hormone ghrelin in male 5/6Nx CKD model mice	Endocrinology, 156: 3638-3648, 2015
44	Shibata E, Nagai K, Takeuchi R, Noda Y, Makino T, Chikata Y, M. Hann, Yoshimoto S, Ono H, Ueda S, Tamaki M, Murakami T, Matsuura M, Abe H, Doi T.	腎臓内科	Re-evaluation of Pre-pump Arterial Pressure to Avoid Inadequate Dialysis and Hemolysis: Importance of Pre-pump Arterial Pressure Monitoring in Hemodialysis Patients.	Artif Organs.39(7), 627-34, 2015
45	Nagai K, Kishi J, Morizumi S, Minakuchi J, Bando Y, Nishioka Y, Doi T.	検査部	Henoch-Schönlein purpura nephritis occurring postpartum in a patient with anti-PL-7 anti-synthetase syndrome.	Mod Rheumatol.28, 1-4, 2015
46	Kishi S, Gabriela Campanholle, M Vishal Gohil, Fabiana Perocchi, R Craig Brooks, Morizane R, Venkata Sabbiseti, Ichimura T, K Vamsi Mootha, V Joseph Bonventre	検査部	Reduction or discontinuation of antibiotic prophylaxis in vascular access surgery, tendon sheath incision and PD catheter placement.	J Vasc Access. 16 Suppl 10, S66-9, 2015
47	Kishi S, Gabriela Campanholle, M Vishal Gohil, Fabiana Perocchi, R Craig Brooks, Morizane R, Venkata Sabbiseti, Ichimura T, K Vamsi Mootha, V Joseph Bonventre	検査部	Meclizine Preconditioning Protects the Kidney Against Ischemia-Reperfusion Injury.	EBioMedicine, 2(9), 1090-1101, 2015.
48	Shimatani Y, Nodera H, Shibata Y, Miyazaki Y, Misawa S, Kuwabara S, Kajii R	臨床神経科学	Abnormal gating of axonal slow potassium current in cramp-fasciculation syndrome	Clin Neurophysiol. 2015 Jun;126(6):1246-54
49	Osaki Y, Takamatsu N, Shimatani Y, Mori A, Maruyama K, Miyazaki Y, Nodera H, Kajii R	臨床神経科学	Ultrasonographic evaluation of myokymic discharges	Clin Neurophysiol. 2015 Aug;126(8):1638-9
50	Mori A, Nodera H, Takamatsu N, Shimatani Y, Maruyama K, Oda M, Izumi Y, Kajii R	臨床神経科学	Focal nerve enlargement is not the cause for increased distal motor latency in ALS: Sonographic evaluation	Clin Neurophysiol. 2015 Aug;126(8):1632-7
51	Sako W, Murakami N, Izumi Y, Kajii R	臨床神経科学	Neurofilament light chain level in cerebrospinal fluid can differentiate Parkinson's disease from atypical parkinsonism: Evidence from a meta-analysis	J Neurol Sci. 2015 May 15;352(1-2):84-7

小計 13 件

52	Shimatani Y, Nodera H, Osaki Y, Banzrai C, Takayasu K, Endo S, Shibuta Y, Kaji R	臨床神経科学	Upregulation of axonal HCN current by methylglyoxal: Potential association with diabetic polyneuropathy	Clin Neurophysiol. 2015 Nov;126(11):2226-32
53	Kawarai T, Tajima A, Kuroda Y, Saji N, Orlicchio A, Terasawa H, Shimizu H, Kita Y, Izumi Y, Mitsui T, Imoto I, Kaji R	臨床神経科学	A homozygous mutation of VWA3B causes cerebellar ataxia with intellectual disability	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2016 Jun;87(6):656-62
54	Miyamoto R, Kawarai T, Oki R, Matsumoto S, Izumi Y, Kaji R	臨床神経科学	Lack of C9orf72 expansion in 406 sporadic and familial cases of idiopathic dystonia in Japan	Mov Disord. 2015 Sep;30(10):1430-1
55	Furukawa T, Matsui N, Fujita K, Nodera H, Shimizu F, Miyamoto K, Takahashi Y, Kanda T, Kusunoki S, Izumi Y, Kaji R	臨床神経科学	CSF cytokine profile distinguishes multifocal motor neuropathy from progressive muscular atrophy	Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm. 2015 Aug 6;2(5):e138
56	Sako W, Murakami N, Miyazaki Y, Izumi Y, Kaji R	臨床神経科学	On-period unified Parkinson's disease rating scale before surgery correlates with differences in outcomes between pallidal and subthalamic stimulation: a meta-analysis	Neurol Sci. 2016 Jan;37(1):135-7
57	Sako W, Murakami N, Miyazaki Y, Abe T, Harada M, Izumi Y, Kaji R	臨床神経科学	The effect of tremor onset on middle cerebellar peduncle of Parkinson's disease	J Neurol Sci. 2015 Nov 15;358(1-2):172-7
58	Yamamoto N, Satomi J, Izumi Y, Yamamoto Y, Yamaguchi I, Furukawa T, Nagahiro S, Kaji R	臨床神経科学	Predictors of a Favorable Outcome after Recanalization in Patients with Cerebral Major Vessel Occlusion	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2015 Dec;24(12):2793-9
59	Kaji R	臨床神経科学	Clinical differences between A1 and A2 botulinum toxin subtypes	Toxicon. 2015 Dec 1;107(Pt A):85-8
60	Miyamoto R, Sumikura H, Takeuchi T, Sanada M, Fujita K, Kawarai T, Mure H, Morigaki R, Goto S, Murayama S, Izumi Y, Kaji R	臨床神経科学	Autopsy case of severe generalized dystonia and static ataxia with marked cerebellar atrophy	Neurology. 2015 Oct 27;85(17):1522-4
61	Sako W, Fujita K, Vo A, Rucker JC, Rizzo JR, Niethammer M, Carbon M, Bressman SB, Uluğ AM, Eidelberg D	臨床神経科学	The visual perception of natural motion: abnormal task-related neural activity in DYT1 dystonia	Brain. 2015 Dec;138(Pt 12):3598-609
62	Banzrai C, Nodera H, Higashi S, Okada R, Osaki Y, Mori A, Kaji R	臨床神経科学	Age-dependent effects on sensory axonal excitability in normal mice	Neurosci Lett. 2016 Jan 12;611:81-7
63	Yamamoto N, Satomi J, Yamamoto Y, Yamaguchi I, Furukawa T, Tada Y, Harada M, Izumi Y, Nagahiro S, Kaji R	臨床神経科学	The susceptibility vessel sign containing two compositions on 3-tesla T2*-weighted image and single corticocortical infarct on diffusion-weighted image are associated with cardioembolic stroke	J Neurol Sci. 2015 Dec 15;359(1-2):141-5
64	Kawarai T, Miyamoto R, Mori A, Oki R, Tsukamoto-Miyashiro A, Matsui N, Miyazaki Y, Orlicchio A, Izumi Y, Nishida Y, Kaji R	臨床神経科学	Late-onset spastic paraplegia: Aberrant SPG11 transcripts generated by a novel splice site donor mutation	J Neurol Sci. 2015 Dec 15;359(1-2):250-5

65	Sako W, Abe T, Izumi Y, Harada M, Kaji R	臨床神経科学	The ratio of N-acetyl aspartate to glutamate correlates with disease duration of amyotrophic lateral sclerosis	J Clin Neurosci. 2016 May;27:110-3
66	Shimatani Y, Nakano Y, Tsuyama N, Murayama S, Oki R, Miyamoto R, Murakami N, Fujita K, Watanabe S, Uehara H, Abe T, Nodera H, Kewarai T, Izumi Y, Kaji R	臨床神経科学	Extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type, manifesting as rapidly progressive dementia without any mass or enhancing brain lesion	Neuropathology. 2016 Jan 15. doi: 10.1111/neup.12285. [Epub ahead of print]
67	Benzrai C, Nodera H, Kawarai T, Higashi S, Okada R, Mori A, Shimatani Y, Osaki Y, Kaji R	臨床神経科学	Impaired Axonal Na(+) Current by Hindlimb Unloading: Implication for Disuse Neuromuscular Atrophy	Front Physiol. 2016 Feb 16;7:36
68	Takamatsu N, Nodera H, Mori A, Maruyama-Saladini K, Osaki Y, Shimatani Y, Oda M, Izumi Y, Kaji R	臨床神経科学	Which muscle shows fasciculations by ultrasound in patients with ALS?	J Med Invest. 2016;63(1-2):49-53
69	Mori A, Nodera H, Takamatsu N, Maruyama-Saladini K, Osaki Y, Shimatani Y, Oda M, Izumi Y, Kaji R	臨床神経科学	Sonographic evaluation of cervical nerve roots in ALS and its clinical subtypes	J Med Invest. 2016;63(1-2):54-7
70	Nodera H, Izumi Y, Takamatsu N, Kaji R	臨床神経科学	Cervical root sonography to differentiate multifocal motor neuropathy from ALS	J Med Invest. 2016;63(1-2):104-7
71	Kinoshita H, Fujimoto E, Arase H, Kurobe H, Chikugo F, Sogabe H, Kitaichi T, Kitagawa T.	心臓血管外科	Efficacy and Optimal Timing of Endovascular Treatment for Type B Aortic Dissection.	Ann Vasc Dis. 2015;8(4):307-313
72	Kurobe H, Maxfield MW, Tara S, Rocco KA, Bagl PS, Yi T, Udelsman B, Zhuang ZW, Cleary M, Iwakiri Y, Breuer CK, Shinoka T.	心臓血管外科	Development of small diameter nanofiber tissue engineered arterial grafts.	PLoS One. 2015 Apr 1;10(4):e0120328
73	Kurobe H, Maxfield MW, Naito Y, Cleary M, Stacy M, Solomon D, Rocco KA, Tara S, Lee A, Sinusas A, Snyder E, Shinoka T, Breuer CK	心臓血管外科	Comparison of a Closed System to a Standard Open Technique for Preparing Tissue Engineered Vascular Grafts.	Tissue Eng Part C Methods. 2015 Jan;21(1):88-93
74	Matsuoka H	胸部・内分泌・腫瘍外科	Comprehensive evaluation of the response of genes to the administration of the antitumor drug S-1 using a low density array	Int J Oncol 46(2) : 569-577, 2015
75	Kondo H	胸部・内分泌・腫瘍外科	Differential Regulation of Gene Expression of Alveolar Epithelial Cell Markers in Human Lung Adenocarcinoma-Derived A549 Clones	Stem Cells Int. 2015. doi: 10.1155/2015/165867. Epub 2015 Jun 17
76	Goto M	胸部・内分泌・腫瘍外科	CXCR4 Expression is Associated with Poor Prognosis in Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Ann Surg Oncol. 2015. doi:10.1245/s10434-015-4974-5
77	Sauvaget C, Nishino Y, Konno R, Tase T, Morimoto T, Hisamichi S	胸部・内分泌・腫瘍外科	Challenges in breast and cervical cancer control in Japan	Lancet Oncol 17 (7): e305-12, 2016

小計 13件

78	Takahima T, Mukai H, Hara F, Matsubara N, Saito T, Takano T, Park Y, Toyama T, Hozumi Y, Tsurutani J, Imoto S, Watanabe T, Sagara Y, Nishimura R, Shimozuma K, Okashi Y; SELECT BC Study Group.	胸部・内分泌・腫瘍外科	Taxanes versus S-1 as the first-line chemotherapy for metastatic breast cancer (SELECT BC): an open-label, non-inferiority, randomised phase 3 trial	Lancet Oncol 17 (1): 90-8, 2016 Jan
79	Uyama K, Shoji Sakiyama S, Yoshida M, Kenzaki K, Toba H, Kawakami Y, Okumura K, Akizawa H, Kondo K, and Tangoku A	胸部・内分泌・腫瘍外科	Lung regeneration by fetal lung tissue implantation in a mouse pulmonary emphysema model	J Med Invest 63(3-4): ページ未定 2016
80	Nakeya Y, Yuasa M, Atsumi K, Furukita Y, Tangoku A, Tsutsumi R, Herada N, and Sakaue H.	胸部・内分泌・腫瘍外科	Change in body composition assessed by computed tomography in long-term survivors after esophageal cancer surgery.	Integr Food Nutr Metab 3(3): 324-327, 2016
81	Yoshida M	呼吸器外科	Thoracoscopic pericardial fenestration for effective long-term management of non-tuberculous mycobacterium pericarditis	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 63(1) : 49-51, 2015
82	Toba H	呼吸器外科	XB130 promotes bronchioalveolar stem cell and Club cell proliferation in airway epithelial repair and regeneration	Oncotarget. 6(31) : 30803-30817, 2015
83	Kawakita N, Takizawa H, Kondo K, Sakiyama S, Tangoku A.	呼吸器外科	Indocyanine Green Fluorescence Navigation Thoracoscopic Metastectomy for Pulmonary Metastasis of Hepatocellular Carcinoma	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2016 May 17. [Epub ahead of print]
84	Toba H, Sakiyama S, Takizawa H, Tangoku A.	呼吸器外科	Safe and successful treatment with sunitinib in three postoperative non-small cell lung cancer patients with recurrences following gefitinib/erlotinib-induced hepatotoxicity.	J Med Invest 63(1-2):149-51,2016.
85	Takahiro Yoshida	食道・乳腺甲状腺外科	Long-term survival for advanced esophageal cancer patients with an esophago-bronchial fistula can be achieved by timely multimodality therapy	Esophagus 12(3) : 277-285, 2015
86	Morimoto M	食道・乳腺甲状腺外科	Immunocytochemical results for HER2 and Ki67 in breast cancer touch-smear cell specimens are reliable	Breast Cancer. 2015 Mar 26. doi:10.1007/s12282-015-0605-z
87	Nakagawa M	食道・乳腺甲状腺外科	Preoperative diagnosis of sentinel lymph node (SLN) metastasis using 3D CT lymphography (CTLG)	Breast Cancer. 2015 Mar 27. doi:10.1007/s12282-015-0597-8
88	Inoue S	食道・乳腺甲状腺外科	A case of thoracic esophageal cancer undergone esophagectomy after induction chemotherapy in a Jehovah's Witness	The Journal of Medical Investigation 62(3,4) : 264-267, 2015
89	Kanayama H, Fukumori T, Fujimoto H, Nakanishi H, Ohyama C, Suzuki K, Nishiyama H, Eto M, Miki T, Kamoi K, Kubota Y, Takahashi S, Homma Y, Naito S	泌尿器科	Clinicopathological characteristics and oncological outcomes in patients with renal cell carcinoma registered in 2007: The first large-scale multicenter study from the Cancer Registration Committee of the Japanese Urological Association	International Journal of Urology, 22, S1-S7, 2015
90	Takahashi M, Kusuhara Y, Mori H, Komori M, Kagawa J, Fukawa T, Yamamoto Y, Yamaguchi K, Fukumori T, Kanayama H	泌尿器科	Long-Term Administration of Docetaxel Over 70 Cycles for Castration-Resistant Prostate Cancer	Clinical Genitourinary Cancer, 13, e337-e340, 2015

91	Senzaki T, Fukumori T, Mori H, Kusuhara Y, Komori M, Kagawa J, Fukawa T, Yamamoto Y, Yamaguchi K, Takahashi M, Kubo A, Kawanaka T, Furutani S, Ikushima H, Kenyama H	泌尿器科	Clinical Significance of Neoadjuvant Combined Androgen Blockade for More Than Six Months in Patients with Localized Prostate Cancer Treated with Prostate Brachytherapy	Urologia Internationalis,95(4),457-464,2015
92	Fukawa T, Yan-Jiang BC, Min-Wen JC, Jun-Hao ET, Huang D, Qian CN, Ong P, Li Z, Chen S, Mak SY, Lim WJ, Kenyama HO, Mohan RE, Wang RR, Lai JH, Chua C, Ong HS, Tan KK, Ho YS, Tan IB, Teh BT, Shyh-Chang N.	泌尿器科	Excessive fatty acid oxidation induces muscle atrophy in cancer cachexia.	Nature Medicine 22, 666-671,2016
93	Imura S, Shimada M, Utsunomiya T.	消化器外科	Recent advances in estimating hepatic functional reserve in patients with chronic liver damage.	Hepato Res. 2015;45(1):10-19
94	Ikemoto T, Sugimoto K, Shimada M, Utsunomiya T, Morine Y, Imura S, Arakawa Y, Kanamoto M, Iwahashi SI, Saito Y, Yamada S.	消化器外科	Clinical Role of Notch Signaling Pathway in Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm of the Pancreas.	J Gastroenterol Hepatol. 2015;30(1):217-222
95	Enkhbold C, Morine Y, Utsunomiya T, Imura S, Ikemoto T, Arakawa Y, Saito Y, Yamada S, Ishikawa D, Shimada M.	消化器外科	Dysfunction of liver regeneration in aged liver after partial hepatectomy.	J Gastroenterol Hepatol. 2015;30(7):1217-1224
96	Shimada M, Morine Y, Nagano H, Hatono E, Kaiho T, Miyazaki M, Kono T, Kamiyama T, Morita S, Sakamoto J, Kusano M, Saji S, Kanematsu T, Kitajima M.	消化器外科	Effect of TU-100, a traditional Japanese medicine, administered after hepatic resection in patients with liver cancer: a multi-center, phase III trial (JFMC40-1001).	Int J Clin Oncol. 2015;20(1):95-104
97	Morine Y, Shimada M, Imura S, Ikemoto T, Hanaoka J, Kanamoto M, Ishibashi H, Utsunomiya T	消化器外科	Detection of Lymph Nodes Metastasis in Biliary Carcinomas: Morphological Criteria by MDCT and the Clinical Impact of DWI-MRI	Hepato-Gastroenterology 2015;62(140):777-781
98	Morine Y, Shimada M.	消化器外科	The value of systematic lymph node dissection for intrahepatic cholangiocarcinoma from the viewpoint of liver lymphatics.	J Gastroenterol. 2015;50(9):913-27
99	Yamada S, Morine Y, Imura S, Ikemoto T, Arakawa Y, Iwahashi S, Saito Y, Yoshikawa M, Teraoku H, Shimada M.	消化器外科	Liver regeneration after splenectomy in patients with liver cirrhosis.	Hepato Res. 2015;Aug 19.
100	Kashihara H, Shimada M, Kurita N, Sato H, Yoshikawa K, Higashijima J, Chikakiyo M, Nishi M, Takasu C.	消化器外科	Duodenal-jejunal bypass improves diabetes and liver steatosis via enhanced glucagon-like peptide-1 elicited by bile acids.	J Gastroenterol Hepatol. 2015;30(2):308-315
101	Kurita N, Miyata H, Gotoh M, Shimada M, Imura S, Kimura W, Tomita N, Baba H, Kitagawa Y, Sugihara K, Mori M.	消化器外科	Risk Model for Distal Gastrectomy When Treating Gastric Cancer on the Basis of Data From 33,917 Japanese Patients Collected Using a Nationwide Web-based Data Entry System.	Ann Surg. 2015;262(2):295-303.
102	Nakao T, Iwata T, Hotchi M, Yoshikawa K, Higashijima J, Nishi M, Takasu C, Eto S, Teraoku H, Shimada M.	消化器外科	Prediction of response to preoperative chemoradiotherapy and establishment of individualized therapy in advanced rectal cancer.	Oncol Rep. 2015;34(4):1961-1967.
103	Higashijima J, Shimada M, Iwata T, Yoshikawa K, Nakao T, Nishi M, Kashihara H, Takasu C.	消化器外科	New ports placement in laparoscopic central lymph nodes dissection with left colic artery preservation for sigmoid colon and rectal cancer.	J Med Invest. 2015;62(3-4):223-227.

小計 13件

104	Yoshikawa K, Shimada M, Wakabayashi G, Ishida K, Kaiho T, Kitagawa Y, Sakamoto J, Shiraiishi N, Koeda K, Mochiki E, Saikawa Y, Yamaguchi K, Watanabe M, Morita S, Kitano S, Seji S, Kanematsu T, Kitajima M.	消化器外科	Effect of Daikenchuto, a Traditional Japanese Herbal Medicine, after Total Gastrectomy for Gastric Cancer: A Multicenter, Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled, Phase II Trial.	J Am Coll Surg. 2015;221(2):571-578.
105	Yoshikawa K, Shimada M, Higashijima J, Nakao T, Nishi M, Takasu C, Kashihara H, Eto S.	消化器外科	Combined liver mobilization and retraction: A novel technique to obtain the optimal surgical field during laparoscopic total gastrectomy.	Asian J Endosc Surg. 2015;Dec 18.
106	Zhu C, Takasu C, Morine Y, Bando Y, Ikemoto T, Saito Y, Yamada S, Imura S, Arakawa Y, Shimada M.	消化器外科	KISS1 Associates with Better Outcome via Inhibiting Matrix Metalloproteinase-9 in Colorectal Liver Metastasis.	Ann Surg Oncol. 2015;3:1516-1523
107	Eto S, Yoshikawa K, Shimada M, Higashijima J, Tokunaga T, Nakao T, Nishi M, Takasu C, Sato H, Kurita N	消化器外科	The Relationship of CD133, Histone Deacetylase 1 and Thrombospondin-1 in Gastric Cancer	Anticancer Research 2015;35(4):2071-2076
108	Nakao T, Iwata T, Hotchi M, Yoshikawa K, Higashijima J, Nishi M, Takasu C, Eto S, Teraoku H, Shimada M.	消化器外科	Prediction of response to preoperative chemoradiotherapy and establishment of individualized therapy in advanced rectal cancer.	Oncol Rep. 2015;34(4):1961-1967
109	Davaadorj M, Imura S, Saito Y, Morine Y, Ikemoto T, Yamada S, Takasu C, Teraoku H, Yoshikawa M, Shimada M.	消化器外科	Loss of SFRP1 Expression Is Associated with Poor Prognosis in Hepatocellular Carcinoma.	Anticancer Res. 2016;36(2):659-664
110	Wubetu GY, Morine Y, Teraoku H, Yoshikawa M, Ishikawa D, Yamada S, Ikemoto T, Saito Y, Imura S, Shimada M.	消化器外科	High NEK2 Expression Is a Predictor of Tumor Recurrence in Hepatocellular Carcinoma Patients After Hepatectomy.	Anticancer Res. 2016;36(2):757-762
111	Wubetu GY, Shimada M, Morine Y, Ikemoto T, Ishikawa D, Iwahashi S, Yamada S, Saito Y, Arakawa Y, Imura S.	消化器外科	Epigallocatechin gallate hinders human hepatoma and colon cancer sphere formation.	J Gastroenterol Hepatol. 2016;31(1):256-264
112	Iwahashi S, Shimada M, Utsunomiya T, Imura S, Morine Y, Ikemoto T, Takasu C, Saito Y, Yamada S.	消化器外科	Epithelial-mesenchymal transition-related genes are linked to aggressive local recurrence of hepatocellular carcinoma after radiofrequency ablation.	Cancer Lett. 2016;375(1):47-50
113	Yada K, Ishibashi H, Mori H, Shimada M.	消化器外科	Intrascrotal Lipoblastoma: Report of a case and the Review of literature.	Surgical Case Reports. 2016;2(1):34
114	Nakao T, Shimada M, Yoshikawa K, Higashijima J, Tokunaga T, Nishi M, Takasu C, Kashihara H, Suzuka I, Nishizaki T, Okitsu H, Yagi T, Miyake H, Miura M, Fukuyama M, Wada D, Bando Y.	消化器外科	Propensity score-matched study of laparoscopic and open surgery for colorectal cancer in rural hospitals.	J Gastroenterol Hepatol. 2016;Feb 19.
115	Yoshikawa K, Shimada M, Higashijima J, Nakao T, Nishi M, Kashihara H, Takasu C.	消化器外科	Limited lymph node dissection in elderly patients with gastric cancer.	J Med Invest. 2016;63(1-2):91-95
116	Katome T, Namekata K, Mitamura Y, Somba K, Egawa M, Naito T, Harada C, Harada T	眼科	Expression of intraocular peroxisome proliferator-activated receptor gamma in patients with proliferative diabetic retinopathy.	J Diabetes Complications (IF=1.925) 29:275-281,2015

117	Iwata A, Mitamura Y, Niki M, Semba K, Egawa M, Katome T, Sonoda S, Sakamoto T	眼科	Binarization of enhanced depth imaging optical coherence tomographic images of an eye with Wyburn-Mason syndrome: a case report.	BMC Ophthalmol 15:19,2015
118	Mino A, Mitamura Y, Katome T, Semba K, Egawa M, Naito T	眼科	Case of adult-onset Coats' disease with epiretinal membrane treated with 25-gauge pars plana vitrectomy.	J Med Invest 62:85-88,2015
119	Egawa M, Mitamura Y, Sano H, Akaiwa K, Niki M, Semba K, Sonoda S, Sukimoto T	眼科	Changes of choroidal structure after treatment for primary intraocular lymphoma: retrospective, observational case series	BMC Ophthalmol 15:136,2015
120	M, Goda, O, Jinnouchi, T, Takaoka, K, Abe, K, Tamura, Y, Nakaya, Y, Furukita, H, Takechi, A, Tangoku, N, Takeda	耳鼻咽喉科	Efficacy of percutaneous endoscopic gastrostomy on unplanned treatment interruption and nutritional status in patients undergoing chemoradiotherapy for advanced head and neck cancer.	J Med Invest. 62: 173-176, 2015
121	Y. Kitamura, Nakagawa H, T. Fujii, Sakoda T, Enomoto T, H. Mizuguchi, H. Fukui, N.Takeda	耳鼻咽喉科	Effects of antihistamine on up-regulation of histamine H1 receptor mRNA in the nasal mucosa of patients with pollinosis induced by controlled cedar pollen challenge in an environmental exposure unit	Journal of Pharmacological Sciences 129:183-187, 2015
122	Nishisho T, Hanaoka N, Miyagi R, Sakai T, Toki S, Takahashi M, Kenji E, Yasui N, Sairyu K.	整形外科	Local administration of zoledronic Acid for giant cell tumor of bone.	Orthopedics. 38(1):e25-30, 2015 Jan 1.
123	Tonogai I, Takahashi M, Yukata K, Sato R, Nikawa T, Yasui N, Sairyu K.	整形外科	Osteoactivin attenuates skeletal muscle fibrosis after distraction osteogenesis by promoting extracellular matrix degradation/remodeling.	J Pediatr Orthop B. 24(2):162-169,2015 Mar
124	Jha SC, Tonogai I, Takata Y, Sakai T, Higashino K, Matsuura T, Suzue N, Hamada D, Goto T, Nishisho T, Tsutsui T, Goda Y, Abe M, Mineta K, Kimura T, Nitta A, Hama S, Higuchi T, Fukuta S, Sairyu K	整形外科	Percutaneous Endoscopic Lumbar Discectomy for a Huge Herniated Disc Causing Acute Cauda Equina Syndrome : A Case Report	J Med Invest. 62(1,2):100-102,2015 Jan 23
125	Tonogai I, Hamada Y, Hibino N, Sato R, Henmi T, Sairyu K	整形外科	Salmonella osteomyelitis of the distal radius in a healthy young adult patient : Report of a rare case and literature review	J Med Invest. 62(1,2):97-99,2015 Jan 23
126	Sairyu K, Nagamechi A, Matsuura T, Higashino K, Sakai T, Suzue N, Hamada D, Takata Y, Goto T, Nishisho T, Goda Y, Tsutsui T, Tonogai I, Miyagi R, Abe M, Morimoto M, Mineta K, Kimura T, Nitta A, Higuchi T, Hama S, Jha SC, Takahashi R, Fukuta S	整形外科	A review of the pathomechanism of forward slippage in pediatric spondylolysis : The Tokushima theory of growth plate slippage	J Med Invest. 62(1,2):11-18,2015 Jan 23
127	Enishi T, Uemura H, Katoh S, Inatsugi M, Minato S, Inatsugi K, Inatsugi M, Sato N, Sairyu K	整形外科	Transient severe hypotension with once-weekly subcutaneous injection of teriparatide in osteoporotic patient : a case report and insight for the drug interaction between hypotensive agents and teriparatide	J Med Invest. 62(1,2):93-96,2015 Jan 23
128	Takata Y, Sakai T, Higashino K, Matsuura T, Suzue N, Hamada D, Goto T, Nishisho T, Tsutsui T, Goda Y, Morimoto M, Abe M, Mineta K, Kimura T, Nitta A, Hama S, Higuchi T, Subash C, Jha, Rui Takahashi, Fukuta S, Sairyu K.	整形外科	State of the art: Intraoperative neuromonitoring in spinal deformity surgery.	J Med Invest. 62(3-4):103-108,2015
129	Goto T, Mineta K, Takasago T, Hamada D, Sairyu K.	整形外科	Pseudotumor associated with cemented bipolar hemiarthroplasty: an unusual presentation as a granulomatous thigh mass.	Skeletal Radiol. 44(10):1541-1545,2015 Jun 23.

130	Wada K, Hibino N, Kondo K, Yoshioka S, Terai T, Henmi T, Sairyō K.	整形外科	Open dislocation of the proximal interphalangeal joint of the little finger subsequent to chronic radial collateral ligament injury: a case report of primary ligament reconstruction with a half-slip of the flexor digitorum superficialis: Case Report.	J Med Invest. 62(3-4):258-260,2015
131	Tsutsui T, Goto T, Hamada D, Tonogai I, Mineta K, Abe M, Matsuura T, Suzue N, Fukuta S, Sairyō K.	整形外科	Successful Outcomes Using Interlocking Prostheses for Periprosthetic Fractures with Loose Femoral Components.	J Med Invest. 62(3-4):242-244,2015
132	Abe M, Takata Y, Higashino K, Sakai T, Matsuura T, Suzue N, Hamada D, Goto T, Nishisho T, Goda Y, Tsutsui T, Tonogai I, Miyagi R, Morimoto M, Mineta K, Kimura T, Nitta A, Hama S, Higuchi T, C Jha S, Takahashi R, Fukuta S, Sairyō K.	整形外科	Foraminoplastic transfaminal percutaneous endoscopic discectomy at the lumbosacral junction under local anesthesia in an elite rugby player.	J Med Invest. 62(3-4):238-241,2015
133	Tonogai I, Takahashi M, Tsutsui T, Goto T, Hamada D, Suzue N, Matsuura T, Yasui N, Sairyō K.	整形外科	Forearm lengthening by distraction osteogenesis: A report on 5 limbs in 3 cases.	J Med Invest. 62(3-4):219-222,2015
134	Suzue N, Matsuura T, Iwame T, Higashino K, Sakai T, Hamada D, Goto T, Takata Y, Nishisho T, Goda Y, Tsutsui T, Tonogai I, Miyagi R, Abe M, Morimoto M, Mineta K, Kimura T, Nitta A, Higuchi T, Hama S, C Jha S, Takahashi R, Fukuta S, Sairyō K.	整形外科	State-of-the-art ultrasonographic findings in lower extremity sports injuries.	J Med Invest. 62(3-4):109-113,2015
135	Jha SC, Higashino K, Sakai T, Takata Y, Abe M, Nagamachi A, Fukuta S, Sairyō K.	整形外科	Percutaneous Endoscopic Discectomy via Transforaminal Route for Discal Cyst.	Case Rep Orthop. Epub 2015 Aug 19.
136	Fukuta S, Tsutsui T, Matsuura T, Suzue N, Hamada D, Goto T, Sairyō K.	整形外科	Detached Anterior Horn of the Medial Meniscus Mimicking a Parameniscal Cyst.	Case Rep Orthop. Epub 2015 Oct 15.
137	Hamada D, Matsuura T, Sugiura K, Higuchi T, Suzue N, Goto T, Tsutsui T, Wada K, Fukuta S, Sairyō K.	整形外科	An Unusual Cause of Posterior Elbow Impingement: Detachment of a Hypertrophied Posterior Fat Pad.	Case Rep Orthop. Epub 2015 Nov 3.
138	Matsudate Y., Tetsutani M., Fukui N., Hirose K., Murao K., Kubo Y.	皮膚科	Case of nevoid basal cell carcinoma syndrome with multiple cutaneous keratocysts	J. Dermatol., 42·10, 1015-1016, 2015
139	Matsudate Y., Miyaoka Y., Urano Y.	皮膚科	Two cases of eosinophilic pustular folliculitis associated with pregnancy	J. Dermatol., 43·2, 218-219, 2016
140	Kubo, Y., Toshitatsu, N., Kimura, I., Chiba, M., Sakakibara, K	皮膚科	Interventional Evaluation of Monoammonium Glycyrrhizinate-Glycine/DL-Methionine Combination Tablets in Mild Alopecia Areata.	J. Clin. Exp. Dermatol. Res., 7·1, 322, 2016
141	Kazuhide Mineda, Jingwei Feng, Hisako Ishimine, Hitomi Takada, Kentaro Doi, Shinichiro Kuno, Kahori Kinoshita, Koji Kanayama, Harunosuke Kato, Takanobu Mashiko, Ichiro Hashimoto, Hideki Nakanishi, Akira Kurisaki, Kotaro Yoshimura	形成外科	Therapeutic Potential of Human Adipose-Derived Stem/Stromal Cell Microspheroids Prepared by Three-Dimensional Culture in non-Cross-Linked Hyaluronic Acid Gel	Stem Cells Translational Medicine 4:1-12 : 2015.10
142	Nakajima N, Nagahiro S, Satomi J, Tada Y, Nakajima K, Sogabe S, Hanaoka M, Matsubara S, Uno M, Satoh K	脳神経外科	Prevention of retrograde blood flow into large or giant internal carotid artery aneurysms by endovascular coil embolization with high-flow bypass: Surgical technique and long-term results	World Neurosurgery;83(6):1127-34,2015

143	Tada Y, Yagi K, Uno M, Matsushita N, Kanematsu Y, Kuwayama K, Shimada K, Nishi K, Hirasawa M, Satomi J, Kitzato KT, Kageji T, Matsumura E, Nagahiro S	脳神経外科	Improvement of plasma biomarkers after switching stroke patients from other angiotensin II type I receptor blockers to olmesartan	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases;24(7):1487-92, 2015
144	Yagi K, Irie S, Inagaki T, Ishii Y, Saito O, Lee T, Nakagawa H, Saito K, Nagahiro S	脳神経外科	Intraoperative arachnoid plasty has possibility to prevent chronic subdural hematomas after surgery for unruptured cerebral aneurysms	Neurol Med Chir;55(6):493-7,2015
145	Satomi J, Ghalibeh AA, Moriguchi H, Nagahiro S	脳神経外科	Predictability of the future development of aggressive behavior of cranial dural arteriovenous fistulas based on decision tree analysis	J Neurosurg;123(1):86-90,,2015
146	Mizobuchi Y, Shouno K, Nakajima K, Nagahiro S	脳神経外科	Trigeminal neuralgia caused by fibrous bands: case illustration	J Neurosurg;124(1):186-7,2015
147	Kageji T, Sogabe S, Mizobuchi Y, Nakajima K, Nagahiro S, Nakagawa Y	脳神経外科	Radiation-induced meningiomas after BNCT in patients with malignant glioma	Applied Radiation and Isotopes;106:256-9,2015
148	Yagi K, Lidington D, Wan H, Fares JC, Meissner A, Sumiyoshi M, Ai J, Folz WD, Nedospasov SA, Offermanns S, Nagahiro S, Macdonald RL, Bolz SS	脳神経外科	Therapeutically targeting tumor necrosis factor- α /sphingosine-1-phosphate signaling corrects myogenic reactivity in subarachnoid hemorrhage	Stroke;46:2260-2270,2015
149	Mizobuchi Y, Kageji T, Yamaguchi T, Nagahiro S	脳神経外科	Craniotomy for cerebellar hemangioblastoma excision in a patient with von Hippel-Lindau disease complicated by uncontrolled hypertension due to pheochromocytoma	International Journal of Surgery Case Reports;17:96-9,2015
150	N Nakajima, S Nagahiro, J Satomi, Y Tada, K Nakajima, S Sogabe, M Hinmoka, S Matsubara, M Uno, K Satoh	脳神経外科	Prevention of Retrograde Blood Flow Into Large or Giant Internal Carotid Artery Aneurysms by Endovascular Coil Embolization with High-Flow Bypass: Surgical Technique and Long-Term Results	World Neurosurgery ;83(6):1127-34,2015
151	Nami Kakuta, Shinji Kawahito, Naofumi Mita, Tomohiro Soga, Toshiko Kutayama, Kohei Fukuta, Hiroaki Kawano, Fumihiko Tade, Yasuo M. Tsutsumi, Katsuya Tanaka, Kazumi Takeishi, Hiroshi Kitahata.	麻酔-疼痛治療医学分野	Role of transesophageal echocardiography during biventricular pacemaker implantation in children.	Clinical Pediatric Anesthesia 21:182-185, 2015
152	Eisuke Hamaguchi, Katsuya Tanaka, Rie Tsutsumi, Yoko Sakai, Kohei Fukuta, Asuka Kasai, Yasuo M. Tsutsumi.	麻酔科	Exendin-4, glucagon-like peptide-1 receptor agonist, enhances isoflurane-induced preconditioning against myocardial infarction via caveolin-3 expression.	European Review for Medical and Pharmacological Sciences 19(7):1285-90, 2015
153	Nami Kakuta, Katsuyoshi Kume, Eisuke Hamaguchi, Rie Tsutsumi, Naofumi Mita, Katsuya Tanaka, Yasuo M. Tsutsumi.	麻酔科	The effects of intravenous fosoprepitant and ondansetron in the prevention of postoperative nausea and vomiting in patients who underwent lower limb surgery: a prospective randomized double-blind study.	Journal of Anesthesia 29(6):836-41, 2015
154	Michiko Kinoshita, Yasuo M. Tsutsumi, Kohei Fukuta, Asuka Kasai, Katsuyu Tanaka.	麻酔科	Isoflurane-induced postconditioning via mitochondrial calcium-activated potassium channels.	Journal of Medical Investigation 63(1-2):80-4, 2015
155	Tomohiro Soga, Katsuyoshi Kume, Nami Kakuta, Eisuke Hamaguchi, Rie Tsutsumi, Ryosuke Kawanishi, Kohei Fukuda, Katsuya Tanaka, Yasuo M. Tsutsumi.	地域医療人材育成分野	Fosoprepitant versus ondansetron for the prevention of postoperative nausea and vomiting in patients who undergo gynecologic abdominal surgery with patient-controlled epidural analgesia: a prospective, randomized, double-blind study.	Journal of Anesthesia 29(5):696-701, 2015

156	Umehara H, Numata S, Kinoshita M, Watanabe S, Nakaaki S, Sumitani S, Ohmori T.	精神神経科	No association between BDNF Val66Met polymorphism and treatment response in obsessive-compulsive disorder in the Japanese population.	Neuropsychiatr Dis Treat 11;12:611-615,2016
157	Numata S, Kinoshita M, Tajima A, Nishi A, Imoto J, Ohmori T.	精神神経科	Evaluation of an association between plasma total homocysteine and schizophrenia by a Mendelian randomization analysis.	BMC Med Genet 26;16:54,2015
158	Inoshita M, Numata S, Tajima A, Kinoshita M, Umehara H, Yamamori H, Hashimoto R, Imoto I, Ohmori T.	精神神経科	Sex differences of leukocytes DNA methylation adjusted for estimated cellular proportions.	Biol Sex Differ 25;6:11,2015
159	Umehara H, Numata S, Tajima A, Kinoshita M, Nakaaki S, Imoto I, Sumitani S, Ohmori T.	精神神経科	No association between the COMT Val158Met polymorphism and the long-term clinical response in obsessive-compulsive disorder in the Japanese population.	Hum Psychopharmacol 30(5):372-6,2015
160	Watanabe S, Iga J, Numata S, Umehara H, Nishi A, Kinoshita M, Inoshita M, Ohmori T.	精神神経科	Polymorphism in the promoter of the gene for the serotonin transporter affects the age of onset of major depressive disorder in the Japanese population.	J Affect Disord 1;183:156-8,2015
161	Watanabe S, Iga J, Ishii K, Numata S, Shimodera S, Fujita H, Ohmori T.	精神神経科	Biological tests for major depressive disorder that involve leukocyte gene expression assays.	J Psychiatr Res 66-67:1-6,2015
162	Numata S, Ishii K, Tajima A, Iga J, Kinoshita M, Watanabe S, Umehara H, Fuchikami M, Okada S, Boku S, Hishimoto A, Shimodera S, Imoto I, Morinobu S, Ohmori T.	精神神経科	Blood diagnostic biomarkers for major depressive disorder using multiplex DNA methylation profiles: discovery and validation.	Epigenetics 10(2):135-41,2015
163	Kameoka N, Iga J, Tamaru M, Tomioka T, Kubo H, Watanabe S, Sumitani S, Tomotake M, Ohmori T.	精神神経科	Risk factors for refeeding hypophosphatemia in Japanese inpatients with anorexia nervosa.	Int J Eat Disord 49(4):402-406,2016
164	Nakazawa T, Hashimoto R, Sakoori K, Sugaya Y, Tanimura A, Hashimoto Y, Ohi K, Yamamori H, Yasuda Y, Umeda-Yano S, Kiyama Y, Konno K, Inoue T, Yokoyama K, Inoue T, Numata S, Ohnuma T, Iwata N, Ozaki N, Hashimoto H, Watanabe M, Manabe T, Yamamoto T, Takeda M, Kano M.	精神神経科	Emerging roles of ARHGAP33 in intracellular trafficking of TrkB and pathophysiology of neuropsychiatric disorders.	Nat Commun 3;7:10594,2016
165	Mori Y, Yoshino Y, Ochi S, Yamazaki K, Kawabe K, Abe M, Kitano T, Ozaki Y, Yoshida T, Numata S, Mori T, Iga J, Kuroda N, Ohmori T, Ueno S.	精神神経科	TREM2 mRNA Expression in Leukocytes Is Increased in Alzheimer's Disease and Schizophrenia.	PLoS One 2;10(9):e0136835,2015
166	Aki A, Tomotake M.	精神神経科	Changes of levels of depression and quality of life after short-term cognitive behavioral educational program for adolescent students in health class.	Journal of Medical Investigation 62(3-4):204-208,2015
167	Takeda T, Tomotake M, Ueoka Y, Tanaka T, Tomioka T, Kaneda Y, Ohmori T.	精神神経科	Relationship between cognitive function and employment in Japanese schizophrenia patients.	Open Journal of Psychiatry 6(1):65-70,2016
168	Ito H, Miyagawa M, Ozawa K, Tanioka T, Yasuhara Y, Kataoka M, King B, Tomotake M, Locsin R.	精神神経科	The Development of the Japanese Psychiatric Nursing Assessment Classification System (PsyNACSC).	Open Journal of Psychiatry 6(1):20-33,2016

169	Chiba S, Tomotake M, Aono M, Toshimitsu H, Ohmori T.	精神神経科	Clinical correlates associated with basic ability of social life in schizophrenia inpatients.	Open Journal of Psychiatry 6(1):71-75,2016
170	Zhao Y, Yasuhara Y, Tanioka T, Sakamaki S, Tomotake M, King B, Locsin R, Iwata N.	精神神経科	The effect of a psycho-educational program on psychiatric symptoms, drug attitude and treatment satisfaction of patients with schizophrenia.	Open Journal of Psychiatry 5(3):229-237,2015
171	Jamba A, Kondo S, Urushihara M, Nagai T, Kim-Kaneyama JR, Miyazaki A, Kagami S.	小児科	Hydrogen peroxide-inducible clone-5 regulates mesangial cell proliferation in proliferative glomerulonephritis in mice.	PLoS One. 10(4):e0122773, 2015
172	Suzue M, Urushihara M, Nakagawa R, Saijo T, Kagami S.	小児科	Urinary angiotensinogen level is increased in preterm neonates.	Clin Exp Nephrol. 19(2):293-7, 2015
173	Urushihara M, Nagai T, Kinoshita Y, Nishiyama S, Suga K, Ozaki N, Jamba A, Kondo S, Kobori H, Kagami S.	小児科	Changes in urinary angiotensinogen posttreatment in pediatric IgA nephropathy patients.	Pediatr Nephrol. 30(6):975-82. 2015
174	Inoue N, Watanabe H, Okamura K, Kondo S, Kagami S.	小児科	Are the equations for the creatinine-based estimated glomerular filtration rate applicable to the evaluation of renal function in Japanese children and adult patients receiving chemotherapy?	Clin Exp Nephrol. 19(2):298-308. 2015
175	Okada N, Watanabe H, Kagami S, Ishizawa K.	小児科	Ifosfamide and etoposide chemotherapy may interact with warfarin, enhancing the warfarin induced anticoagulant response.	Int J Clin Pharmacol Ther. 54(1):58-61. 2016
176	Mori K, Toda Y, Ito H, Mori T, Mori K, Goji A, Hashimoto H, Tani H, Miyazaki M, Harada M, Kagami S.	小児科	Neuroimaging in autism spectrum disorders: 1H-MRS and NIRS study.	J Med Invest. 62(1-2), 29-36, 2015
177	Hayabuchi Y, Ono A, Kagami S.	小児科	Pulmonary annular motion velocity assessed using Doppler tissue imaging - Novel echocardiographic evaluation of right ventricular outflow tract function-	Circulation Journal 2016, 80: 168-176
178	Tricuspid L and L' waves	小児科	Tricuspid L and L' waves	International Journal of Cardiology 2016, 211: 64-65
179	Hayabuchi Y, Sakata M, Kagami S.	小児科	Right ventricular myocardial deformation patterns in children with congenital heart disease associated with right ventricular pressure overload.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging 2015, Aug;16(8):890-899
180	Hayabuchi Y, Sakata M, Kagami S.	小児科	Bronchogenic cyst compressing the pulmonary artery and the left atrium.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging 2015, Jul;16(7):746
181	Hayabuchi Y, Sakata M, Kagami S.	小児科	Aortic forward flow in aortic atresia via ventriculo-coronary arterial connections.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging 2015, Aug;16(8) 847

小計 13件

182	Hayabuchi Y, Sakata M, Kagami S.	小児科	Optical coherence tomography can visualize the pulmonary artery in Williams-Beuren syndrome	Eur Heart J Cardiovasc Imaging 2015, Sep;16(9) 967
183	Hayabuchi Y, Sakata M, Kagami S.	小児科	Reply: To PMID 24814570.	Echocardiography. 2015, Oct;32(10) 1603-1604
184	Mayumi sugimoto, Norio Kamemura, Mizuho Nagao, Makoto Irahara, Shoji Kagami, Takao Fujisawa, Hiroshi Kido	小児科	Differential response in allergen-specific IgE, IgGs, and IgA levels for predicting outcome of oral immunotherapy	Pediatric Allergy and Immunology. 27(3):276-82, 2016
185	Matsuzaki T, Iwasa T, Tungelagsuvd A, Munkhzaya M, Kawami T, Yamasaki M, Murakami M, Kato T, Kuwahara A, Yasui T, Irahara M.	産婦人科	The responses of hypothalamic NPY and OBRb mRNA expression to food deprivation develop during the neonatal-prepubertal period and exhibit gender differences in rats.	Int J Dev Neurosci. 2015 Apr;41:63-67.
186	Matsuzaki T, Iwasa T, Munkhzaya M, Tungelagsuvd A, Kawami T, Murakami M, Yamasaki M, Yamamoto Y, Kato T, Kuwahara A, Yasui T, Irahara M.	産婦人科	Developmental changes in hypothalamic oxytocin and oxytocin receptor mRNA expression and their sensitivity to fasting in male and female rats.	Int J Dev Neurosci. 2015 Apr;41:105-109.
187	Iwasa T, Matsuzaki T, Munkhzaya M, Tungelagsuvd A, Yamasaki M, Kuwahara A, Yasui T, Irahara M.	産婦人科	The effects of prenatal undernutrition and postnatal high-fat diet on hypothalamic Kiss1 mRNA and serum leptin levels.	Int J Dev Neurosci. 2015 May;42:76-79.
188	Iwasa T, Matsuzaki T, Matsui S, Tungelagsuvd A, Munkhzaya M, Kawami T, Yamasaki M, Murakami M, Kato T, Kuwahara A, Yasui T, Irahara M.	産婦人科	The effects of ovariectomy and LPS-induced endotoxemia on resistin levels in female rats.	Cytokine. 2015 Dec;76(2):558-60.
189	Iwasa T, Matsuzaki T, Tungelagsuvd A, Munkhzaya M, Kuwahara A, Yasui T, Irahara M.	産婦人科	LH and testosterone production are more sensitive to the suppressive effects of food deprivation in prenatally undernourished male rats.	Int J Dev Neurosci. 2015 Jun;43:66-69.
190	Iwasa T, Matsuzaki T, Tungelagsuvd A, Munkhzaya M, Kuwahara A, Yasui T, Irahara M.	産婦人科	Prenatal undernutrition increases the febrile response to lipopolysaccharides in adulthood in male rats.	Int J Dev Neurosci. 2015 Aug;44:1-5.
191	Iwasa T, Matsuzaki T, Tungelagsuvd A, Munkhzaya M, Kuwahara A, Yasui T, Irahara M.	産婦人科	Effects of LPS injection on the hypothalamic and testicular mRNA expression levels of reproductive factors in male rats.	Neuro Endocrinol Lett. 2015;36(3):193-195.
192	Iwasa T, Matsuzaki T, Munkhzaya M, Tungelagsuvd A, Kuwahara A, Yasui T, Irahara M.	産婦人科	Developmental changes in the hypothalamic mRNA levels of prepro-orexin and orexin receptors and their sensitivity to fasting in male and female rats.	Int J Dev Neurosci. 2015 Nov;46:51-54.
193	Mayumi Takeuchi	放射線医学分野	Imaging the Female Pelvis with FOCUS DWI and MR Spectros	SIGNA Pulse of MR, Vol.18 p56-59, 2015
194	Abe T, Mizobuchi Y, Sako W, Irahara S, Otomi Y, Obama Y, Nakajima K, Khoshbat D, Majigsuren M, Kagoji T, Nagahiro S, Harada M.	放射線医学分野	Clinical Significance of Discrepancy between Arterial Spin Labeling Images and Contrast-enhanced Images in the Diagnosis of Brain Tumors.	Magnetic Resonance in Medical Sciences, Vol.14, No 4, p313-319, 2015

195	Mejigsuren M, Abe T, Kageji T, Matsuzaki K, Takeuchi M, Iwamoto S, Otomi Y, Uyama N, Nagahiro S, Harada M	放射線医学分野	Comparison of Brain Tumor Contrast-enhancement on T1-CUBE and 3D-SPGR Images.	Magnetic Resonance in Medical Sciences, Vol.15, No 1, p34-40, 2015
196	Takeuchi I, Matsuzaki K, Harada M.	放射線医学分野	Carcinoma of the uterus: MRI findings including diffusion-weighted imaging and MR spectroscopy.	Acta Radiol, 2016 Jan 18. [Epub ahead of print]
197	Seiji Iwamoto, Shoichiro Takao, and Masafumi Harada	放射線医学分野	Visualization of Lumbar Artery Variations by Contrast-Enhanced Multi-detector Row Computed Tomography	The Journal of Medical Investigation, Vol63, (No1,2), p45-48, 2016
198	Takeuchi M, Matsuzaki K, Bando Y, Nishimura M, Yoneda A, Harada M	放射線医学分野	A case of polypoid endometriosis with malignant transformation.	Abdominal Radiology, Mar 10. [Epub ahead of print], 2016
199	Tane N, Okuda N, Imanaka H, Nishimura M.	ER-災害医療診療部 救急集中治療医学	Neurally adjusted ventilatory assist improves patient-ventilator synchrony in a patient with tetanus and, unstable diaphragmatic electrical activity.	Respir Care Apr;60(4):e76-9, 2015
200	Chikata Y, Unai K, Izawa M, Okuda N, Oto J, Nishimura M	救急集中治療医学	Inspiratory Tube Condensation During High-Flow Nasal Cannula Therapy: A Bench Study	Respir Care. 2016 Mar;61(3):300-5
201	Yasui S, Shirai Y, Tanimura M, Matsuura S, Saito Y, Miyata K, Ishikawa E, Miki C, Hamada Y.	栄養部	Prevalence of protein-energy wasting (PEW) and evaluation of diagnostic criteria in Japanese maintenance hemodialysis patients.	Asia Pac J Clin Nutr. 2016;25(2):292-9.
202	Hamada Y.	栄養部	Objective Data Assessment (ODA) Methods as Nutritional Assessment Tools.	J Med Invest. 2016;62(3-4):119-22.
203	Tsutsumi R, Goda M, Fujimoto C, Kanno K, Nobe M, Kitamura Y, Abe K, Kawai M, Matsumoto H, Sakai T, Takeda N.	栄養部	Effects of chemotherapy on gene expression of lingual taste receptors in patients with head and neck cancer.	Laryngoscope. 126(3):E103-9, 2015
204	Maeda K, Katashima R, Ishizawa K, Yanagawa H.	臨床試験管理センター	Japanese Physicians' Views on Drug Post-Marketing Surveillance	J Clin Med Res. 2015 Dec;7(12):956-60.
205	Yanagawa H, Katashima R, Takeda N.	臨床試験管理センター	Research ethics committees in Japan: A perspective from thirty years of experience at Tokushima University.	J Med Invest. 2015;62(3-4):177-83.
206	Shikama Y, Kudo Y, Ishimaru N, Funaki M.	糖尿病対策センター 口腔分子病理学	Possible Involvement of Palmitate in Pathogenesis of Periodontitis.	J Cell Physiol. 2015 Dec;230(12):2981-9.
207	Kido J, Bando Y, Bando M, Kajura Y, Hiroshima Y, Inagaki Y, Murata H, Ikuta T, Kido R, Naruishi K, Funaki M, Nagata T.	糖尿病対策センター 歯周歯内治療学類解剖学	YKL-40 level in gingival crevicular fluid from patients with periodontitis and type 2 diabetes.	Oral Dis. 2015 Jul;21(5):667-73.

小計 13件

208	Kambe N, Kawahito S, Mita N, Takaishi K, Katayama T, Sakai Y, Soga T, Kawano H, Matsuhisa M, Shimada M, Kitagawa T, Kitahata H.	糖尿病臨床・研究開発センター、麻酔科	Impact of newly developed, next-generation artificial endocrine pancreas.	J Med Invest.62(1-2):41-4. 2015
209	Kondo T, Endo I, Aihara KI, Onishi Y, Dong B, Ohguro Y, Kurahashi K, Yoshida S, Fujinaka Y, Kuroda A, Matsuhisa M, Fukumoto S, Matsumoto T, Abe M	糖尿病臨床・研究開発センター、血液・内分泌代謝内化学	Serum carboxy-terminal telopeptide of type I collagen levels are associated with carotid atherosclerosis in patients with cardiovascular risk factors.	Endocr J. 25;63(4):397-404. 2016
210	Yoshitaka Hosokawa, Ikuko Hosokawa, Setoru Shindo, Kazumi Ozaki, Takashi Matsuo	第一保存科	IL-4 Modulates CCL11 and CCL20 Productions from IL-1beta-Stimulated Human Periodontal Ligament Cells	Cellular Physiology and Biochemistry 2016;38:153-159
211	Hosokawa Y, Hosokawa I, Shindo S, Ozaki K, Matsuo T.	第一保存科	Calcitriol Suppressed Inflammatory Reactions in IL-1beta-Stimulated Human Periodontal Ligament Cells.	Inflammation. 2015 Dec;38(6):2252-8.
212	Sekita Y, Murakami K, Yumoto H, Amoh T, Ogino S, Mizuguchi H, Fukui H, Matsuo T, Miyake Y, Kashiwada Y	第一保存科	Anti-bacterial and Anti-inflammatory Effects of Ethanol Extract from Houttuynia cordata Poulitice	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, 80(6): 1205-1212, 2016
213	Kido J, Bando Y, Bando M, Kajiura Y, Hiroshima Y, Inagaki Y, Murata H, Ikuta T, Kido R, Naruishi K, Funaki M, Nagata T.	第二保存科	YKL-40 level in gingival crevicular fluid from patients with periodontitis and type 2 diabetes.	Oral Dis, 21(5), 667-673, 2015.
214	Naruishi K, Kunita A, Nagata T, Takashiba S, Adachi S.	第二保存科	Cut-off values of Functional Independence Measure scores for discharge destination.	Geriatr Gerontol Int, 15(5), 670-671, 2015.
215	Murata H, Hattori T, Maeda H, Takashiba S, Takigawa M, Kido J, Nagata T.	第二保存科	Identification of transactivation-responsive DNA-binding protein 43 (TARDBP43; TDP-43) as a novel factor for TNF-alpha expression upon lipopolysaccharide stimulation in human monocytes.	J Periodontal Res, 50(4), 452-460, 2015.
216	Nakajima Y, Inagaki Y, Kido J, Nagata T.	第二保存科	Advanced glycation end products increase expression of S100A8 and A9 via RAGE-MAPK in rat dental pulp cells.	Oral Dis, 21(3), 328-334, 2015.
217	Ikuta T, Inagaki Y, Tanaka K, Saito T, Nakajima Y, Bando M, Kido J, Nagata T.	第二保存科	Gene polymorphism of beta-defensin-1 is associated with susceptibility to periodontitis in Japanese.	Odontology 103: 66-74, 2015.
218	Shinohara H, Teramachi J, Okamura H, Yang D, Nagata T, Haneji T.	第二保存科	Double stranded RNA-dependent protein kinase is necessary for TNF-alpha-induced osteoclast formation in vitro and in vivo.	J Cell Biochem 116: 1957-1967, 2015.
219	Kuwamura Y, Sumikawa M, Tanioka T, Nagata T, Salamoto E, Murata H, Atsuhisa M, Aihara K, Hinode D, Uemura H, Ito H, Yasuhara Y, Loxsin R.	第二保存科	Development of the diabetes oral health assessment tool © for nurses.	Health 7: 1710-1720, 2015.
220	Takeharu Goto, Atsuko Nakamich, Megumi Watanabe, Kan Nagao, Miwa Matsuyama, Testuo Ichikawa	第一補綴科	Influence of food volume per mouthful on chewing and bolus properties	Physiol Behav. 2015 Mar 15;141:58-62.

221	Yuki Iwawaki, Noriko Mizusawa, Takeo Iwata, Nobuaki Higaki, Takaharu Goto, Megumi Watanabe, Yoritoki Tomotake, Tetsuo Ichikawa, Katsuhiko Yoshimoto	第一補綴科	MIR-494-3p induced by compressive force inhibits cell proliferation in MC3T3-E1 cells	Journal of Bioscience and Bioengineering 120(4): 456-462, 2015
222	Tsuyoshi Honda, Keiko Fujimoto, Tekuro Baba, Ken Nagao, Akira Takahashi, Tetsuo Ichikawa	総合歯科診療部	Swallowing sound waveform and its clinical significance: Evaluation using ultrasonography	Journal of Oral Health and Biosciences 28(1): 21-27 2015.
223	Yegi k, Lowe AA, Ayas NT, Fleetham JA, Almeida FR	口腔顎顔面補綴学分野	Swallowing and breathing patterns during sleep in patients with obstructive sleep apnea. Sleep Breath 19(1):377-384 2015. (Epub ahead of print 2014 Jul 24.)	Sleep Breath. 2015 Mar;19(1):377-84.
224	Takashi Matsuda, Takaharu Goto, Kazutomo Yagi, Toshiya Kashiwabara, Tetsuo Ichikawa	口腔顎顔面補綴学分野	Part-Digitizing System of Impression and Interocclusal Record for Complete Denture Fabrication	J Prosthodont. 2015 Nov 30. doi: 10.1111/jopr.12375. [Epub ahead of print]
225	Takashi Matsuda, Takaharu Goto, Kosuke Kurahashi, Toshiya Kashiwabara, Megumi Watanabe, Yoritoki Tomotake, Ken Nagao, Tetsuo Ichikawa.	口腔顎顔面補綴学分野	Digital assessment of preliminary impression accuracy for edentulous jaws: Comparisons of 3-dimensional surfaces between study and working casts	J Prosthodont Res. 2016 Jan 25. pii: S1883-1958(15)00114-0. [Epub ahead of print]
226	Ishida Y, Fujimoto K, Higaki N, Goto T, Ichikawa T.	口腔顎顔面補綴学分野	End points and assessments in esthetic dental treatment.	J Prosthodont Res. 2015 Oct;59(4):229-35.
227	Takeuchi H, Omoto K, Okura K, Tajima T, Suzuki Y, Hosoki M, Koori M, Shigemoto S, Ueda M, Nishigawa K, Rodis OM, Matsuka Y	第二補綴科	Effects of Team-Based Learning on Fixed Prosthodontic Education in a Japanese School of Dentistry	Journal of Dental Education 79(4):417-423 2015
228	Omoto K, Maruhama K, Terayama R, Yamamoto Y, Matsushita O, Sugimoto T, Oguma K, Matsuka Y	第二補綴科	Cross-Excitation in Peripheral Sensory Ganglia Associated with Pain Transmission	Toxins (Basel). 4;7(8):2906-2917 2015
229	Katsuhiro Omoto, Shuji Shigemoto, Yoshitaka Suzuki, Mayumi Nukamura, Kazuo Okura, Keisuke Nishigawa, Nimi Goto, Omar MM Rodis, Yoshizo Matsuka	第二補綴科	A preliminary investigation of reproducibility of EMG signals during daytime masticatory muscle activity using a portable EMG logging device	Journal of Electromyography and Kinesiology 25(4) p603-611 2015
230	Shigemoto S, Shigeta Y, Nejima J, Ogawa T, Matsuka Y, Clark GT	第二補綴科	Diagnosis and treatment for obstructive sleep apnea: Fundamental and clinical knowledge in obstructive sleep apnea	Journal of Prosthodontic Research 59(3) p161-171 2015
231	Keisuke Nishigawa, Yoshihiko Suzuki, Yoshizo Matsuka	第二補綴科	Masticatory performance alters stress relief effect of gum chewing	Journal of Prosthodontic Research 59(4) p262-267 2015
232	Iwasa A, Arakaki R, Honma N, Yamada A, Kondo T, Kurosawa E, Tsunemitsu T, Kudo Y, Tanaka E, Yoshimura N, Harada N, Hayashi Y, Ishimaru N	矯正歯科	Aromatase controls the development of autoimmunity through adipose tissue-associated M1-macrophages.	American Journal of Pathology 185(1): 151-161, 2015
233	Hiisa M, Teramachi J, Oda A, Amachi R, Harada T, Nakamura S, Miki H, Fujii S, Kagawa K, Watanabe K, Endo I, Kuroda Y, Tsuji D, Nakao M, Tanaka E, Hamada K, Sano S, Itoh K, Matsumoto T, Abe M	矯正歯科	Pim-2 kinase is an important target of treatment for tumor progression and bone loss in myeloma.	Leukemia 29(1): 207-217, 2015

小計 13件

234	Kawai N, Hirasaka K, Maeda T, Haruna M, Shiota C, Ochi A, Abe T, Kohno S, Ohno A, Teshima-Kondo S, Mori H, Tanaka E, Nikawa T	矯正歯科	Prevention of skeletal muscle atrophy in vitro using anti-ubiquitination oligopeptide carried by atelocollagen.	BBA Molecular Cell Research 1853(5):873-880, 2015
235	Tanaka E, Kuroda S, Horiuchi S, Tabata A, El-Bialy T	矯正歯科	Low-intensity pulsed ultrasound in dentofacial tissue engineering in dentistry.	Annals of Biomedical Engineering 43(4): 871-886, 2015
236	Shiota C, Abe T, Kawai N, Ohno A, Teshima-Kondo S, Mori H, Terao J, Tanaka E, Nikawa T	矯正歯科	Flavones inhibit LPS-induced atrogen-1/MARFb expression in mouse C2C12 skeletal myotubes.	Journal of Nutritional Science and Vitaminology 61(2): 188-194, 2015
237	Ganzorig K, Kuroda S, Maeda Y, Mansjur K, Sato M, Nagata K, Tanaka E	矯正歯科	Low-intensity pulsed ultrasound enhances bone formation around miniscrew implants.	Archives of Oral Biology 60(6):902-910, 2015
238	Kim N-H, Yoshimaru T, Chen Y-A, Matsuo T, Komatsu M, Honda J, Miyoshi Y, Tanaka E, Sasa M, Mizuguchi K, Katagiri T	矯正歯科	BIG3 inhibits estrogen-dependent nuclear translocation of PHB2 via multiple Karyopherin-alpha proteins in breast cancer cells.	PLoS One 10(6):e0127707, 2015
239	Hichijo N, Tanaka E*, Kawai N, van Euijven LJ, Langenbach GEJ	矯正歯科	Effects of decreased occlusal loading on the mandibular bone characteristics.	PLoS One 10(6):e0129290, 2015
240	Maeda Y, Kuroda S, Ganzorig K, Wazen R, Nanci A, Tanaka E	矯正歯科	Histomorphometric analysis of overloading on palatal tooth movement into the maxillary sinus.	American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics 148(3): 423-430, 2015
241	Mori H, Izawa T, Tanaka E	矯正歯科	Smad3 deficiency leads to mandibular condyle degradation via the Sphingosine 1-phosphate (S1P) / S1P3 signaling axis.	American Journal of Pathology 185(10): 2742-2756, 2015
242	Sato M, Kuroda S, Mansjur KQ, Ganzorig K, Nagata K, Horiuchi S, Inubushi T, Yamamura Y, Azuma M, Tanaka E	矯正歯科	Low-intensity pulsed ultrasound rescues insufficient salivary secretion in autoimmune sialadenitis.	Arthritis Research & Therapy 17:278, 2015
243	Orthodontic Waves 75(1): 18-22, 2016	矯正歯科	Clinical application of a 3-dimensional morphometric apparatus for diagnosis and treatment of a Class III patient with facial asymmetry: A pilot study.	Orthodontic Waves 75(1): 18-22, 2016
244	Yuki Akazawa, Tomokazu Hasegawa, Yoshimura Yoshitaka, Chosa Naoyuki, Asakawa Takeyoshi, Kimiko Ueda Yamaguchi, Sugimoto Asuna, Takamasa Kitamura, Hiroshi Nakagawa, Ishisaki Akira and Tsutomu Iwamoto	小児歯科学分野	Recruitment of mesenchymal stem cells by stromal cell-derived factor 1 in pulp cells from deciduous teeth	International Journal of Molecular Medicine, Vol.36, pp.442-448, 2015
245	N. Takamaru, H. Nagai, G. Ohe, T. Tamatani, K. Sumida, S. Kitamura, Y. Miyamoto	口腔外科	Measurement of the zygomatic bone and pilot hole technique for safer insertion of zygomatic implants	Int. J. Oral Maxillofac. Surg 45: 104-109 2016;
246	Akira Takahashi, Chieko Sugawara, Takaharu Kudoh, Go Ohe, Natsumi Takamaru, Tetsuya Tamatani, Hirokazu Nagai, Youji Miyamoto	口腔外科	Prevalence and imaging characteristics of palatine tonsilloliths evaluated on 2244 pairs of panoramic radiographs and CT images	Clin Oral Invest: DOI 10.1007/s00784-016-1752-0 2016

247	Momota Y, Tomioka S, Otsuka R, Shiohuri D, Takano H, Azuma M	口腔内科、歯科 麻酔科	Well-managed postural orthostatic tachycardia syndrome during dental therapy and analysis of heart rate variability: A case report.	Journal of Dental and Medical Sciences 14(5): 23-26, 2015
248	Momota Y, Takano H, Kani K, Matsumoto F, Aota K, Yamanoi T, Kondo C, Takase N, Miyamoto Y, Tomioka S, Azuma M	口腔内科、歯科 麻酔科	A case series of burning mouth syndrome treated with stellate ganglion near-infrared irradiation: Assessment of health-related quality of life based on the Japanese version of the MOS 36-item short-form health survey version 2.	Journal of Dental and Medical Sciences 14(6): 39-43, 2015
249	Tomioka S, Enamoto N, Momota Y	歯科麻酔科、口腔 内科	Hyperventilation syndrome after general anesthesia	Journal of Anaesthesiology, Clinical Pharmacology 31(2):284-285,2015
250	Otsuka R, Harada N, Aoki S, Shirai K, Nishitsuji K, Nozaki A, Hatakeyama A, Shono M, Mizusawa N, Yoshimoto K, Nakaya Y, Kitahata H, Sakaue H	歯科麻酔科	C-terminal region of GADD34 regulates eIF2alpha dephosphorylation and cell proliferation in CHO-K1 cells	Cell Stress & Chaperones 21(1): 29-40, 2016
251	Yoshida Midori, Honda Eichi	歯科放射線科	Trends in Magnetic Resonance Imaging Research in Dentistry	Dental Health: Current research 2015, 1-2
(1)合計				251

小計 5件

(注)

1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Minami Y, Nakajima T, Ikutomi M, Morita T, Komuro I, Sata M, Sahara M	循環器内科	Angiogenic potential of early and late outgrowth endothelial progenitor cells is dependent on the time of emergence.	Int J Cardiol. 186: 305-314, 2015
2	Tanaka K, Sata M	循環器内科	Visualization of human coronary vasa vasorum in vivo.	Circ J. 79(6): 1211-1212, 2015
3	Ikutomi M, Sahara M, Nakajima T, Minami Y, Morita T, Hirata Y, Komuro I, Nakamura F, Sata M	循環器内科	Diverse contribution of bone marrow-derived late-outgrowth endothelial progenitor cells to vascular repair under pulmonary arterial hypertension and arterial neointimal formation.	J Moll Cell Cardiol. 86: 121-135, 2015
4	Tomiyama H, Kohro T, Higashi Y, Takase B, Suzuki T, Ishizu T, Ueda S, Yamazaki T, Furumoto T, Kario K, Inoue T, Koba S, Watanabe K, Takemoto Y, Hano T, Sata M, Ishibashi Y, Node K, Maemura K, Qhya Y, Furukawa T, Ito H, Ikeda H, Yamashina A	循環器内科	Reliability of measurement of endothelial function across multiple institutions and establishment of reference values in Japanese.	Atherosclerosis. 242(2):433-442, 2015
5	Hatano M, Yamada H, Fukuda K, Yoshioka K, Funouchi M, Kuwana M, Sata M, Taniguchi M, Nakanishi N, Saito T, Saji T, Sasayama S	循環器内科	Effects of the endothelin receptor antagonist, bosentan on hemodynamics and exercise capacity in Japanese patients with mildly symptomatic pulmonary arterial hypertension.	Heart Vessels. 30(6), 798-804, 2015
6	Kato Y, Yokoyama U, Yanai C, Ishige R, Kurotaki D, Umemura M, Fujita T, Kubota T, Okumura S, Sata M, Ishikawa Y	循環器内科	Epc1 deficiency attenuated vascular smooth muscle cell migration and neointimal formation.	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 35(12), 2617-2625, 2015
7	Higashi Y, Azuma N, Takeishi Y, Minamino T, Kihara Y, Node K, Sata M, Fukumoto Y, Origasa H, Matsuo H, Naritomi H, Fujita M, Shimizu W	循環器内科	Effect of a low-intensity pulsed ultrasound device, SX-1001, on clinical symptoms in buerger disease with limb ischemia.	Int Heart J. 56(6), 632-638, 2015
8	Momomura S, Seino Y, Kihara Y, Adachi H, Yasumura Y, Yokoyama H, Wada H, Ise T, Tanaka K; SAVIOR-C Investigators.	循環器内科	Adaptive servo-ventilation therapy for patients with chronic heart failure in a confirmatory, multicenter, randomized, controlled study.	Circ J. 79(5):981-990, 2015
9	Nakatani S, Akaishi M, Asanuma T, Hashimoto S, Izumi C, Iwanaga S, Kawai H, Dalmon M, Tolde H, Hayashida A, Yamada H	循環器内科	Guidelines from the Japanese Society of Echocardiography: Guidance for the management and maintenance of echocardiography equipment.	J Echocardiogr. 13(1):1-5, 2015
10	Bando M, Yamauchi H, Ogura T, Taniguchi H, Watanabe K, Azuma A, Homma S, Sugiyama Y; Japan Pirfenidone Clinical Study Group.	呼吸器・ 膠原病内科	Clinical Experience of the Long-term Use of Pirfenidone for Idiopathic Pulmonary Fibrosis.	Intern Med. 2016;55(5):443-8.
11	Inomata M, Nishioka Y, Azuma A.	呼吸器・ 膠原病内科	Nintedanib: evidence for its therapeutic potential in idiopathic pulmonary fibrosis.	Core Evid. 2015 Aug 27;10:89-98.
12	Fukushima K, Nakamura S, Inoue Y, Higashiyama Y, Ohmichi M, Ishida T, Yoshimura K, Sawai T, Takayanagi N, Nakahama C, Kakugawa T, Izumikawa K, Aoki N, Nishioka Y, Kosaka O, Kohno S.	呼吸器・ 膠原病内科	Utility of a Sputum Antigen Detection Test in Pneumococcal Pneumonia and Lower Respiratory Infectious Disease in Adults.	Intern Med. 2015;54(22):2843-50.

13	Taguchi Y, Ebina M, Hashimoto S, Ogura T, Azuma A, Taniguchi H, Kondoh Y, Suga M, Takahashi H, Nakata K, Sugiyama Y, Kudoh S, Nukiwa T; Pirfenidone Clinical Study Group in Japan.	呼吸器・ 膠原病内科	Efficacy of pirfenidone and disease severity of idiopathic pulmonary fibrosis: Extended analysis of phase III trial in Japan.	Respir Investig. 2015 Nov;53(6):279-87.
14	Sakurada T, Kakiuchi S, Tajima S, Horinouchi Y, Konaka K, Okada N, Nishisako H, Nakamura T, Teraoka K, Kawazoe K, Yanagawa H, Nishioka Y, Ishizawa K.	呼吸器・ 膠原病内科	Pemetrexed-Induced Rash May Be Prevented by Supplementary Corticosteroids.	Biol Pharm Bull. 2015;38(11):1752-6.
15	Kato Y, Kunita A, Abe S, Ogasawara S, Fujii Y, Oki H, Fukeyama M, Nishioka Y, Kuneko MK.	呼吸器・ 膠原病内科	The chimeric antibody chLpMab-7 targeting human podoplanin suppresses pulmonary metastasis via ADCC and CDC rather than via its neutralizing activity.	Oncotarget. 2015 Nov 3;6(34):36003-18.
16	Nagai K, Kishi J, Morizumi S, Minokuchi J, Bando Y, Nishioka Y, Doi T.	呼吸器・ 膠原病内科	Henoch-Schönlein purpura nephritis occurring postpartum in a patient with anti-PL-7 anti-synthetase syndrome.	Mod Rheumatol. 2015 May 28:1-4.
17	Tanaka M, Koike R, Sakai R, Saito K, Hirata S, Nagasawa H, Kameda H, Hara M, Kawaguchi Y, Tohma S, Takasaki Y, Dohi M, Nishioka Y, Yasuda S, Miyazaki Y, Kaneko Y, Nanki T, Watanabe K, Yamazaki H, Miyasaka N, Harigai M.	呼吸器・ 膠原病内科	Pulmonary infections following immunosuppressive treatments during hospitalization worsen the short-term vital prognosis for patients with connective tissue disease-associated interstitial pneumonia.	Mod Rheumatol. 2015 Jul;25(4):609-14.
18	Sakurada T, Kakiuchi S, Tajima S, Horinouchi Y, Okada N, Nishisako H, Nakamura T, Teraoka K, Kawazoe K, Yanagawa H, Nishioka Y, Minakuchi K, Ishizawa K.	呼吸器・ 膠原病内科	Characteristics of and risk factors for interstitial lung disease induced by chemotherapy for lung cancer.	Ann Pharmacother. 2015 Apr;49(4):398-404.
19	Yamazaki H, Sakai R, Koike R, Miyazaki Y, Tanaka M, Nanki T, Watanabe K, Yasuda S, Kunita T, Kaneko Y, Tanaka Y, Nishioka Y, Takasaki Y, Nagasaka K, Nagasawa H, Tohma S, Dohi M, Sugihara T, Sugiyama H, Kawaguchi Y, Inase N, Ochi S, Hagiwara H, Kohsaka H, Miyasaka N, Harigai M; PREVENT Study Group.	呼吸器・ 膠原病内科	Assessment of risks of pulmonary infection during 12 months following immunosuppressive treatment for active connective tissue diseases: a large-scale prospective cohort study.	J Rheumatol. 2015 Apr;42(4):614-22.
20	Ohnuma H, Sato Y, Hirakawa M, Okagawa Y, Osuga T, Hayashi T, Sato T, Miyanishi K, Kobune M, Takimoto R, Sagawa T, Hori M, Someya M, Nakata K, Sakata K, Takayama T, Kato J.	呼吸器・ 膠原病内科	A Phase 1/2 Study of Definitive Chemoradiation Therapy Using Docetaxel, Nedaplatin, and 5-Fluorouracil (DNF-R) for Esophageal Cancer.	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2015; 93(2): 382-390
21	Ohnuma H, Sato Y, Hirakawa M, Okagawa Y, Osuga T, Hayashi T, Sato T, Miyanishi K, Kobune M, Takimoto R, Sagawa T, Hori M, Someya M, Nakata K, Sakata K, Takayama T, Kato J.	消化器内科	A Phase 1/2 Study of Definitive Chemoradiation Therapy Using Docetaxel, Nedaplatin, and 5-Fluorouracil (DNF-R) for Esophageal Cancer.	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2015; 93(2): 382-390
22	Zaanan A, Okamoto K, Kawakami H, Khazaie K, Huang S, Sinicrope FA.	消化器内科	The Mutant KRAS Gene Up-regulates BCL-XL Protein via STAT3 to Confer Apoptosis Resistance That Is Reversed by BIM Protein Induction and BCL-XL Antagonism.	J Biol Chem. 2015 ; 290(39):23838-23849
23	Kubo T, Kawano Y, Himuro N, Sugita S, Sato Y, Ishikawa K, Takada K, Murase K, Miyanishi K, Sato T, Takimoto R, Kobune M, Nobuoka T, Hirata K, Takayama T, Mori M, Hasegawa T, Kato J.	消化器内科	BAK is a predictive and prognostic biomarker for the therapeutic effect of docetaxel treatment in patients with advanced gastric cancer.	Gastric Cancer. 2016 Jul;19(3):827-838
24	Kishi K, Fujisawa A, Horikita M, Nakai Y, Ooshimo K, Kishi F, Kimura M, Lin CC, Takayama T.	消化器内科	Unusual endoscopic findings of gastric neuroendocrine tumor.	J Med Invest. 2015; 62(3-4): 251-257
25	Kishi K, Fujisawa A, Horikita M, Nakai Y, Ooshimo K, Kishi F, Kimura M, Lin CC, Takayama T.	消化器内科	Unusual endoscopic findings of gastric neuroendocrine tumor.	J Med Invest. 2015; 62(3-4): 251-257

小計 13件

26	Ohmoto T, Yoshitani N, Nishitsuji K, Takeyama T, Yanagisawa Y, Takeya M, Sakashita N.	消化器内科	CD44-expressing undifferentiated carcinoma with rhabdoid features of the pancreas: molecular analysis of aggressive invasion and metastasis.	Pathol Int. 2015; 65(5):264-270
27	Matsubara T, Araki M, Abe H, Ueda O, Iishaga K, Mima A, Goto C, Tominaga T, Kinoshita M, Kishi S, Nagai K, Jehara N, Fukushima N, Kita T, Arai H, Doi T.	腎臓内科	Bone Morphogenetic Protein 4 and Smad1 Mediate Extracellular Matrix Production in the Development of Diabetic Nephropathy.	Diabetes. 64(8):2978-90, 2015
28	Hirano T, Murakami T, Ono H, Sakurai A, Tominaga T, Takahashi T, Nagai K, Doi T, Abe H	腎臓内科	A Novel Interaction between FLICE-Associated Huge Protein (FLASH) and E2A Regulates Cell Proliferation and Cellular Senescence via Tumor Necrosis Factor (TNF)-Alpha-p21WAF1/CIP1 Axis.	PLoS One. 10(7):e0133205, 2015
29	Chen JK, Nagai K, Chen J, Plieth D, Hino M, Xu J, Sha F, Kizler TA, Quarles CC, Threadgill DW, Nelson EG, Harris RC.	検査部	Phosphatidylinositol 3-kinase signaling determines kidney size.	J Clin Invest. 125(6), 2429-44, 2015
30	Tsuchida K, Nagai K, Minakuchi J, Kawashima S.	検査部	Vascular access for long-term hemodialysis/hemodiafiltration patients in Japan.	Contrib Nephrol. 185,132-7, 2015
31	Ueda Y, Tsuchida K, Okada D, Muromiya Y, Suenaga T, Yokota N, Kawahara K, Nagai K, Kanayama HO, Minakuchi J.	検査部	Evaluation of sterilization using the MEH200® (cotton pack)-in vascular access puncture.	J Vasc Access. 16 Suppl 10, S70-3, 2015
32	Tsuchida K, Nagai K, Yokota N, Okada D, Muromiya Y, Suenaga T, Ueda Y, Kawahara K, Kanayama H, Minakuchi J	検査部	Simple surgical method for a native arteriovenous fistula of chronic hemodialysis patients and the patency rate	J Vasc Access. 16 Suppl 10, S13-7, 2015
33	Yokota N, Nagai K, Okada D, Muromiya Y, Suenaga T, Ueda Y, Kawahara K, Kanayama HO, Minakuchi J, Tsuchida K.	検査部	Vascular access for long-term hemodialysis/hemodiafiltration patients	J Vasc Access. 16 Suppl 10, S18-21, 2015
34	Muromiya Y, Nagai K, Yokota N, Okada D, Suenaga T, Ueda Y, Kawahara K, Kanayama H, Minakuchi J, Tsuchida K.	検査部	Factors associated with pain during vascular access intervention therapy.	J Vasc Access. 16 Suppl 10, S43-5, 2015
35	Morizane R, Q Albert Lam, S Benjamin Freedman, Kishi S, Todd M Valerius, V Joseph Bonventre	検査部	Nephron organoids derived from human pluripotent stem cells model kidney development and injury.	Nature Biotechnology, 33(11), 1193-1200, 2015.
36	Yagi S, Aihara K, Fukuda D, Takashima A, Bando M, Hara T, Nishimoto S, Ise T, Kusunose K, Yamaguchi K, Tobiume T, Iwase T, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Shimabukuro M, Akaike M, Sata M.	血液・内分泌代謝内科	Reduced ratio of eicosapentaenoic acid and docosahexaenoic acid to arachidonic acid is associated with early onset of acute coronary syndrome	Nutr J 14(1):111 2015年
37	Temma J, Matsuhsa M, Horie T, Kuroda A, Mori H, Tamaki M, Endo I, Aihara K, Abe M, Matsumoto T	血液・内分泌代謝内科	Non-invasive Measurement of Skin Autofluorescence as a Beneficial Surrogate Marker for Atherosclerosis in Patients with Type 2 Diabetes	J Med Invest 62(3,4):126-129 2015年
38	Yagi S, Aihara K, Akaike M, Fukuda D, Salim HM, Ishida M, Matsuura T, Ise T, Yamaguchi K, Iwase T, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Shimabukuro M, Matsumoto T, Sata M	血液・内分泌代謝内科	Predictive Factors for Efficacy of Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitors in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus	Diabetes Metab J 39(4):342-347 2015年

39	Ikedo Y, Hamano H, Satoh A, Horinouchi Y, Izawa-Ishizawa Y, Kihira Y, Ishizawa K, Aihara K, Tsuchiya K, Tamaki T	血液・内分泌代謝内科	Bilirubin exerts pro-angiogenic property through Akt-eNOS-dependent pathway	Hypertens Res 38(11):733-740 2015年
40	Takashima A, Mitsugi M, Wada T, Hotchi J, Aihara K, Hara T, Ishida M, Fukuda D, Ise T, Yamaguchi K, Tobiume T, Iwase T, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Shimabukuro M, Akaike M, Sata M	血液・内分泌代謝内科	Effect of combination tablets containing amlodipine 10 mg and irbesartan 100 mg on blood pressure and cardiovascular risk factors in patients with hypertension	Ther Clin Risk Manag 11: 83-88 2015年
41	Ikedo Y, Aihara K, Fukuda D, Takashima A, Hara T, Hotchi J, Ise T, Yamaguchi K, Tobiume T, Iwase T, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Shimabukuro M, Akaike M, Sata M	血液・内分泌代謝内科	Effects of docosahexaenoic Acid on the endothelial function in patients with coronary artery disease	J Atheroscler Thromb 22(5):447-454 2015年
42	Hanson DJ, Nakamura S, Amachi R, Hiasa M, Oda A, Tsuji D, Itoh K, Harada T, Horikawa K, Teramachi J, Miki H, Matsumoto T, Abe M	血液・内分泌代謝内科	Effective impairment of myeloma cells and their progenitors by blockade of monocarboxylate transportation	Oncotarget 6(32):33568-33566 2015年
43	Dong B, Endo I, Ohnishi Y, Kondo T, Hasegawa T, Amizuka N, Kiyonari H, Shioi G, Abe M, Fukumoto S, Matsumoto T	血液・内分泌代謝内科	Calcilytic ameliorates abnormalities of mutant calcium-sensing receptor (CaSR) knock-in mice mimicking autosomal dominant hypocalcemia (ADH)	J Bone Miner Res 30(11):1980-1993 2015年
44	Watanabe T, Mitsuhashi M, Segawa M, Ri M, Suzuki K, Abe M, Ohnishi K, Nakagawa Y, Nakamura S, Chosa M, Iida S, Kizaki M	血液・内分泌代謝内科	Lipopolysaccharide-Induced CXCL10 mRNA Level and Six Stimulant-mRNA Combinations in Whole Blood: Novel Biomarkers for Bortezomib Responses Obtained from a Prospective Multicenter Trial for Patients with Multiple Myeloma	PLoS One 10(6):e0128662 2015年
45	Miyake M, Nomura A, Ogura A, Takehana K, Kitahara Y, Takahara K, Tsugawa K, Miyamoto C, Miura N, Sato R, Kurahashi K, Harding HP, Oyadomari M, Ron D, Oyadomari S.	血液・内分泌代謝内科	Skeletal muscle-specific eukaryotic translation initiation factor 2 α phosphorylation controls amino acid metabolism and fibroblast growth factor 21-mediated non-cell-autonomous energy metabolism.	FASEB J. 30(2): 798-812 2015年
46	Endo I, Fukumoto S, Ozono K, Namba N, Inoue D, Okazaki R, Yamauchi M, Sugimoto T, Minagawa M, Michigami T, Nagai M, Matsumoto T	血液・内分泌代謝内科	Nationwide survey of fibroblast growth factor 23 (FGF23)-related hypophosphatemic diseases in Japan: prevalence, biochemical data and treatment	Endocr J 62(9):811-816 2015年
47	Shimazaki C, Fuchida S, Suzuki K, Ishida T, Imai H, Sawamura M, Takumatsu H, Abe M, Miyamoto T, Hata H, Yamada M, Ando Y	血液・内分泌代謝内科	Phase 1 study of bortezomib in combination with melphalan and dexamethasone in Japanese patients with relapsed AL amyloidosis	Int J Hematol 103(1):79-85 2016年
48	Ozaki S, Hata H, Abe M, Saitoh T, Hanamura I, Yano H, Sunami K, Kosugi H, Sawamura M, Nakazato T, Masunari T, Mori M, Takagi T, Murakami H, Shimizu K	血液・内分泌代謝内科	Reduced frequency treatment with bortezomib plus dexamethasone for elderly patients with relapsed and/or refractory multiple myeloma: a phase 2 study of the Japanese Myeloma Study Group (MSG-0902)	Ann Hematol 95(6):921-929 2016年
49	Serum carboxy-terminal telopeptide of type I collagen levels are associated with carotid atherosclerosis in patients with cardiovascular risk factors	血液・内分泌代謝内科	Kondo T, Endo I, Aihara KI, Onishi Y, Dong B, Ohguro Y, Kurahashi K, Yoshida S, Fujinaka Y, Kuroda A, Matsuhisa M, Fukumoto S, Matsumoto T, Abe M	Endocr J 63(4):397-404 2016年
50	Okada N, Fushitani S, Azumi M, Nakamura S, Nakamura T, Teraoka K, Watanabe H, Abe M, Kawazoe K, Ishizawa K	血液・内分泌代謝内科	Clinical evaluation of pharmacist interventions in patients treated with anti-methicillin-resistant Staphylococcus aureus agents in a hematological ward	Biol Pharm Bull 39(2):295-300 2016年
51	Nakamura S, Miki H, Oda A, Amachi R, Teramachi J, Sogabe K, Fujino H, Maruhashi T, Fujii S, Kagawa K, Abe M	血液・内分泌代謝内科	Susceptibility to bendamustine considerably varies among myeloma cells, but is enhanced in acidic conditions	International Journal of Myeloma 6(1): 7-11 2016年

52	Yamashita M, Fujii Y, Ozaki K, Urano Y, Iwasa M, Nakamura S, Fujii S, Abe M, Sato Y, Yoshino T	血液・内分泌代謝内科	Human immunodeficiency virus-positive secondary syphilis mimicking cutaneous T-cell lymphoma	Diagn Pathol 10(1):185 2015年
53	Shigeakiyo T, Sekimoto E, Shibata H, Ozaki S, Okumura T, Fujinaga H, Shibata H, Aihara K, Akaike M	血液・内分泌代謝内科	Factor VII Tokushima: the first case of factor VII Cys22Gly with the development of myocardial infarction in the proband receiving recombinant factor VIIa replacement therapy.	Blood Coagul Fibrinolysis 26(8):956-8 2015年
54	Yoshida S, Ikeda Y, Aihara K.	血液・内分泌代謝内科	Roles of the androgen - androgen receptor system in vascular angiogenesis	J Atheroscler Thromb 23(3):257-65 2016年
55	Kondo T, Endo I, Ooguro Y, Morimoto K, Kurahashi K, Yoshida S, Kuroda A, Aihara K, Matsuhisa M, Abe M, Fukumoto S	血液・内分泌代謝内科	Suppression of the Hypothalamic-Pituitary-Adrenal Axis by Maximum Androgen Blockade in a Patient with Prostate Cancer	Internal Med 2016年
56	Torii Y, Goto Y, Nakahira S, Kozaki S, Kaji R, Ginnaga A	臨床神経科学	Comparison of Systemic Toxicity between Botulinum Toxin Subtypes A1 and A2 in Mice and Rats	Basic Clin Pharmacol Toxicol. 2015 Jun;116(6):524-8
57	Watanabe H, Atsuta N, Nakamura R, Hirakawa A, Watanabe H, Ito M, Senda J, Katsuno M, Izumi Y, Morita M, Tomiyama H, Taniguchi A, Aiba J, Abe K, Mizoguchi K, Oda M, Kano O, Okamoto K, Kuwabara S, Hasegawa K, Imai T, Aoid M, Tsuji S, Nakano I, Kaji R, Sobue G	臨床神経科学	Factors affecting longitudinal functional decline and survival in amyotrophic lateral sclerosis patients	Amyotroph Lateral Scler Frontotemporal Degener. 2015 Jun;16(3-4):230-6
58	Vo A, Sako W, Niethammer M, Carbon M, Bressman SB, Ulug AM, Eidelberg D	臨床神経科学	Thalamocortical Connectivity Correlates with Phenotypic Variability in Dystonia	Cereb Cortex. 2015 Sep;25(9):3086-94
59	Saji N, Kawarai T, Miyamoto R, Sato T, Morino H, Orlicchio A, Oki R, Kimura K, Kaji R	臨床神経科学	Exome sequencing identifies a novel intronic mutation in ENG that causes recurrence of pulmonary arteriovenous malformations	J Neurol Sci. 2015 May 15;352(1-2):29-33
60	Mitsui J, Matsukawa T, Sasaki H, Yabe I, Matsushima M, Dürr A, Brice A, Takashima H, Kikuchi A, Aoki M, Ishiura H, Yasuda T, Date H, Ahsan B, Iwata A, Goto J, Ichikawa Y, Nakahara Y, Momose Y, Takahashi Y, Hara K, Kakita A, Yamada M, Takahashi H, Onodera O, Nishizawa M, Watanabe H, Ito M, Sobue G, Ishikawa K, Mizusawa H, Kanai K, Hattori T, Kuwabara S, Arai K, Koyano S, Kuroiwa Y, Hasegawa K, Yuasa T, Yasui K, Nakashima K, Ito H, Izumi Y, Kaji R, Kato T, Kusunoki S, Osaki Y, Horiuchi M, Kondo T, Murayama S, Hattori N, Yamamoto M, Murata M, Satake W, Toda T, Filla A, Klockgether T, Wullner U, Nicholson G, Gilman S, Tanner CM, Kukull WA, Stern MB, Lee VM, Trojanowski JQ, Masliah E, Low PA, Sandroni P, Ozelius LJ, Foroud T, Tsuji S	臨床神経科学	Variants associated with Gaucher disease in multiple system atrophy	Ann Clin Transl Neurol. 2015 Apr;2(4):417-26
61	Ikeda K, Iwasaki Y, Kaji R	臨床神経科学	Neuroprotective effect of ultra-high dose methylcobalamin in wobbler mouse model of amyotrophic lateral sclerosis	J Neurol Sci. 2015 Jul 15;354(1-2):70-4
62	Abe T, Mizobuchi Y, Sako W, Irehara S, Otomi Y, Obama Y, Nakajima K, Kheshbat D, Majigsuren M, Kegeji T, Nagahiro S, Harada M	臨床神経科学	Clinical Significance of Discrepancy between Arterial Spin Labeling Images and Contrast-enhanced Images in the Diagnosis of Brain Tumors	Magn Reson Med Sci. 2015;14(4):313-9

63	Tam SF, Au JT, Sako W, Alfonso AE, Sugiyama G	臨床神経科学	How sick are dialysis patients undergoing cholecystectomy? Analysis of 92,672 patients from the American College of Surgeons National Surgical Quality Improvement Program database	Am J Surg. 2015 Nov;210(5):864-70
64	Nekamura R, Sone J, Atsuta N, Tohna G, Watanabe H, Yokoi D, Nakatochi M, Watanabe H, Ito M, Senda J, Katsuno M, Tanaka F, Li Y, Izumi Y, Morita M, Taniguchi A, Kano O, Oda M, Kuwabara S, Abe K, Aiba I, Okamoto K, Mizoguchi K, Hasegawa K, Aoki M, Hattori N, Tsuji S, Nakashima K, Kaji R, Sobue G; Japanese Consortium for Amyotrophic Lateral Sclerosis Research (JaCALS)	臨床神経科学	Next-generation sequencing of 28 ALS-related genes in a Japanese ALS cohort	Neurobiol Aging. 2016 Mar;39:219.e1-8
65	Watanabe H, Atsuta N, Hirakawa A, Nakamura R, Nakatochi M, Ishigaki S, Iida A, Ikegawa S, Kubo M, Yokoi D, Watanabe H, Ito M, Katsuno M, Izumi Y, Morita M, Kanai K, Taniguchi A, Aiba I, Abe K, Mizoguchi K, Oda M, Kano O, Okamoto K, Kuwabara S, Hasegawa K, Imai T, Kawata A, Aoki M, Tsuji S, Nakashima K, Kaji R, Sobue G	臨床神経科学	A rapid functional decline type of amyotrophic lateral sclerosis is linked to low expression of TTN	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2016 Aug;87(8):851-8
66	Kambe N, Kawahito S, Mita N, Takaihi K, Katayama T, Sakai Y, Soga T, Kawano H, Matsuhisa M, Shimada M, Kitagawa T, Kitahata H.	心臓血管外科	Impact of newly developed, next-generation artificial endocrine pancreas.	J Med Invest. 2015;62(1-2):41-44
67	Motoki T, Kurobe H, Hirata Y, Nakayama T, Kinoshita H, Rocco KA, Sogabe H, Hori T, Sata M, Kitagawa T.	心臓血管外科	PPAR-gamma agonist attenuates inflammation in aortic aneurysm patients.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2015 Oct;63(10):565-571
68	Kawatani Y, Nakamura Y, Hayashi Y, Taneichi T, Ito Y, Kurobe H, Suda Y, Hori T.	心臓血管外科	A Case Report on the Successful Treatment of Streptococcus pneumoniae-Induced Infectious Abdominal Aortic Aneurysm Initially Presenting with Meningitis.	Case Rep Surg. 2015;2015:825069
69	Kawatani Y, Hayashi Y, Ito Y, Kurobe H, Nakamura Y, Suda Y, Hori T.	心臓血管外科	Treatment with Aortic Stent Graft Placement for Stanford B-Type Aortic Dissection in a Patient with an Aberrant Right Subclavian Artery.	Case Rep Vasc Med. 2015;2015:746354
70	Kawatani Y., Nakamura Y, Hayashi Y, Taneichi T, Ito Y, Kurobe H, Suda Y, Hori T.	心臓血管外科	Development of Delirium in the Intensive Care Unit in Patients after Endovascular Aortic Repair: A Retrospective Evaluation of the Prevalence and Risk Factors.	Crit Care Res Pract. 2015;2015:405817
71	Tara S, Kurobe H, de Dios Ruiz Rosado J, Best CA, Shoji T, Mahler N, Yi T, Lee YU, Sugihara T, Hibino N, Partida-Sanchez S, Breuer CK, Shinoka T.	心臓血管外科	Clostrazol, Not Aspirin, Prevents Stenosis of Bioresorbable Vascular Grafts in a Venous Model.	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2015 Sep;35(9):2003-2010.
72	Yohei Kawatani, Yujiro Hayashi, Yujiro Ito, Hirotsugu Kurobe, Yoshitsugu Nakamura, Yuji Suda, and Takaki Hori	心臓血管外科	A Case of Ruptured Aortic Arch Aneurysm Successfully Treated by Thoracic Endovascular Aneurysm Repair with Chimney Graft	Case Reports in Surgery. 2015;2015:780147
73	Duncan DR, Chen PY, Patterson JT, Lee YU, Hibino N, Cleary M, Naito Y, Yi T, Gilliland T, Kurobe H, Church SN, Shinoka T, Fahmy TM, Simons M, Breuer CK.	心臓血管外科	TGF-beta receptor 1 inhibition blocks the formation of stenosis in tissue-engineered vascular grafts.	J Am Coll Cardiol. 2015 Feb 10;65(5):512-514
74	Yokota N, Nagai K, Okada D, Muromiya Y, Suenaga T, Ueda Y, Kawahara K, Kenayama HO, Minakuchi J, Tsuchida K.	泌尿器科	Vascular access for long-term hemodialysis/hemodiafiltration patients.	The Journal of Vascular Access,16(10),18-21,2015

小計 12件

75	Muromiya Y, Nagai K, Yokota N, Okada D, Suenaga T, Ueda Y, Kawahara K, Kanayama H, Minakuchi J, Tsuchida K1.	泌尿器科	Factors associated with pain during vascular access intervention therapy	The Journal of Vascular Access, 16(10), 43-45, 2015
76	Nagai K, Tsuchida K, Sasada M, Yokota N, Nishiteni M, Kanayama HO, Minakuchi J	泌尿器科	Reduction or discontinuation of antibiotic prophylaxis in vascular access surgery, tendon sheath incision and PD catheter placement.	The Journal of Vascular Access, 16(10), 66-69, 2015
77	Tsuchida K, Nagai K, Yokota N, Okada D, Muromiya Y, Suenaga T, Ueda Y, Kawahara K, Kanayama HO, Minakuchi J.	泌尿器科	Simple surgical method for a native arteriovenous fistula of chronic hemodialysis patients and the patency rate	The Journal of Vascular Access, 16(10), 13-17, 2015
78	Ueda Y, Tsuchida K, Okada D, Muromiya Y, Suenaga T, Yokota N, Kawahara K, Nagai K, Kanayama HO, Minakuchi J	泌尿器科	Evaluation of sterilization using the MEH200® (cotton pack) in vascular access puncture	The Journal of Vascular Access, 16(10), 70-73, 2015
79	Akira Yokomizo, Yusuke Kanimoto, Takehiko Okamura, Seiichiro Ozono, Hirofumi Koga, Masatsugu Iwamura, Hiroshi Tanaka, Satoru Takahashi, Tomoyasu Tsushima, Hiro-omi Kanayama, Hideyuki Akaza,	泌尿器科	Randomized Controlled Study of the Efficacy, Safety and Quality of Life with Low Dose bacillus Calmette-Guérin Instillation Therapy for Nonmuscle Invasive Bladder Cancer	The Journal of Urology, 195(1), 41-46, 2015
80	Yoshida K, Yokomizo A, Matsuda T, Hamasaki T, Kondo Y, Yamaguchi K, Kanayama HO, Wakumoto Y, Horie S, Naito S	泌尿器科	The Advantage of a Ureteroscopic Navigation System with Magnetic Tracking in Comparison with Simulated Fluoroscopy in a Phantom Study	Journal of Endourology, 29(9), 1059-1064, 2015
81	Nishina J, Moriwagi T, Shimada M, Higashiyama J, Sakai Y, Masuishi T, Ozeki M, Amagai K, Negoro Y, Indo S, Denda T, Sato M, Yamamoto Y, Nakajima G, Mizuta M, Takahashi I, Hiroshima Y, Ishida H, Maeba T, Hyodo I.	消化器外科	Uracil-Tegafur and Oral Leucovorin Combined With Bevacizumab in Elderly Patients (Aged ≥ 75 Years) With Metastatic Colorectal Cancer: A Multicenter, Phase II Trial (Joint Study of Bevacizumab, Oral Leucovorin, and Uracil-Tegafur in Elderly Patients [J-BLUE] Study).	Clin Colorectal Cancer. 2015; Dec 17.
82	Umeshita K, Inomata Y, Furukawa H, Kasahara M, Kawasaki S, Kobayashi E, Kokudo N, Sakisaka S, Shimada M, Tanaka E, Uemoto S; Japanese Liver Transplantation Society.	消化器外科	Liver transplantation in Japan -Registry by the Japanese Liver Transplantation Society.	Hepato Res. 2016; Feb 17
83	Toriyama K, Suzuki T, Inoue T, Eguchi H, Hoshi S, Inoue Y, Aizawa H, Miyoshi K, Ohkubo M, Hiwatashi E, Tachibana H, Ohashi Y	眼科	Development of an immunochromatographic assay kit using fluorescent silica nanoparticles for rapid diagnosis of acanthamoeba keratitis.	J Clin Microbiol 53:273-277, 2015
84	Kinoshita T, Imaizumi H, Miyamoto H, Okushiba U, Hayashi Y, Katome T, Mitamura Y	眼科	Changes in metamorphopsia in daily life after successful epiretinal membrane surgery and correlation with M-CHARTS score.	Clin Ophthalmol 9: 225-233, 2015
85	Eguchi H, Toibana T, Hotta F, Miyamoto T, Mitamura Y, Yaguchi T	眼科	Severe fungal sclerokeratitis caused by <i>Meterhizium ansopliae</i> : A case report and literature review.	Mycoses (IF=1.805) 58:88-92, 2015
86	Guo X, Namekata K, Kimura A, Noro T, Azuchi Y, Semba K, Harada C, Yoshida H, Mitamura Y, Harada T:	眼科	Brimonidine suppresses loss of retinal neurons and visual function in a murine model of optic neuritis.	Neurosci Lett (IF=2.055) 592: 27-31, 2015
87	Nakamura Y, Mitamura Y, Hagiwara A, Kumagai K, Miura G, Sugawara T, Egawa M, Yamamoto S	眼科	Relationship between retinal microstructures and visual acuity after cataract surgery in patients with retinitis pigmentosa.	Br J Ophthalmol 99:508-511, 2015

小計 13件

88	Farouk MM, Naito T, Shinomiya K, Eguchi H, Sayed KM, Negasawa T, Katome T, Mitamura Y	眼科	Optical coherence tomography reveals new insights into the accommodation mechanism.	J Ophthalmol 2014;2014:510459.
89	Hotta F, Eguchi H, Imai S, Miyamoto T, Mitamura-Aizawa S, Mitamura Y	眼科	Scanning electron microscopy findings with energy dispersive X-ray investigations of cosmetically tinted contact lenses.	Eye Contact Lens (IF=1.466) 41:291-296,2015.
90	M. Hitler, G. Sato, S. Moreau, V. Patron	耳鼻咽喉科	Jugular bulb abnormalities in patients with Menière's disease using high-resolution computed tomography	Eur Arch otorhinolaryngol 272: 2083-2084, 2015
91	H. Yanagawa, R. Katashima, N. Takeda	耳鼻咽喉科	Research ethics committees in Japan: A perspective from thirty years of experience at Tokushima University	J Med.Invest. 62: 114-118, 2015.
92	Imai T, Matsuda K, Takeda N, Uno A, Kitahara T, Horii A, Nishike S, Inohara H.	耳鼻咽喉科	Light cupula: the pathophysiological basis of persistent geotropic positional nystagmus	BMJ Open 13 5: e006607, 2015
93	H. Mizuguchi, Y. Nariel, S. Kato, T. Nakano, T. Kanayama, Y. Kashiwada, H. Nemoto, K. Kawazoe, Y. Takahashi, Y. Kitamura, N. Takeda, H. Fukui	耳鼻咽喉科	Meacklaim is a novel anti-allergic compound that suppresses transcriptional upregulation of the histamine H1 receptor and interleukin-4 genes	Pharmacol Res Perspect. 3: e00166, 2015
94	Y. Nariel, H. Mizuguchi, T. Ogasawara, H. Nagai, Y. Sasaki, Y. Okamoto, Y. Yoshimura, Y. Kitamura, H. Nemoto, N. Takeda, H. Fukui	耳鼻咽喉科	Disruption of Heat Shock Protein 90 (Hsp90)-Protein Kinase C δ (PKC δ) interaction by (-)-Meacklaim Suppresses Histamine H1 Receptor Gene Transcription in HeLa Cells	Journal of Biological Chemistry. 290: 27393-2740, 2015
95	Kanematsu Y, Matsuura T, Kashiwaguchi S, Iwase T, Suzue N, Iwama T, Sairyo K.	整形外科	Radiographic follow-up study of Little League's shoulder.	Skeletal Radiol. 44(1):73-76,2015 Jan
96	Takahashi M, Yasui N, Enishi T, Sato N, Mizobuchi T, Homma Y, Sairyo K.	整形外科	Diverse muscle architecture adaptations in a rabbit tibial lengthening model.	Muscles Ligaments Tendons J. 4(4):433-437,2015 Feb 5. eCollection 2014 Oct-Dec.
97	Hamada Y, Sairyo K, Hibino N, Kobayashi A, Sato R.	整形外科	Effect of preservation of corticoperiosteal attachment on bone healing at osteotomy sites after ulna-shortening osteotomy.	Hand (N Y)10(1):105- 110,2015 Mar
98	Tamaki Y, Seki T, Miyagi R, Nakagawa T, Shimokawa T, Sairyo K, Chikawa T.	整形外科	Intradural lumbar disc herniation after percutaneous endoscopic lumbar discectomy: case report.	J Neurosurg Spine. 23(3):336- 339,2015 Sep
99	Hamada Y, Sairyo K, Hibino N, Kobayashi A.	整形外科	Correction of Severe Contracture of Intrinsic Plus Hand with a Modified Ilizarov Mini-Fixator: Correction with an Ilizarov Mini-Fixator for Severe Hand Contracture.	J Hand Microsurg. 7(1):161-165,2015 Jun
100	Hamada Y, Kobayashi A, Sairyo K, Sato R, Hibino N.	整形外科	Correction of a Hyperextension Deformity at the Metacarpophalangeal Joint by Arthroplasty for Osteoarthritis of the Thumb Carpometacarpal Joint Followed by External Fixator: A Case Series: Modified Ilizarov Method for Correction of a Collapsed Thumb Deformity Due to Carpometacarpal Osteoarthritis	J Hand Microsurg. 7(1):67-72,2015 Jun

小計 13件

101	Kimura T, Nishisho T, Sakai T, Miyagi R, Takeo S, Iwamoto S, Higashino K, Takata Y, Goda Y, Toki S, Sairyo K.	整形外科	Tenosynovial Giant Cell Tumor, Diffuse Type/Pigmented Villonodular Synovitis in a Pars Defect: A Case Report.	Spine (Phila Pa 1976). 2015 40(12):E735-E739,2015 Jun 15
102	Hibino N, Hamada Y, Toki S, Yoshioka S, Yamano M, Sairyo K.	整形外科	Irreducible Palmar Dislocation of the Distal Interphalangeal Joint Due to Closed Degloving of the Distal Phalanx of the Little Finger.	Hand Surg. 20(2):304-306,2015 Jun
103	Hibino N, Wada K, Sairyo K.	整形外科	Collateral ligament repair augmented by an A2 pulley flap for chronic ligament rupture of the finger metacarpophalangeal joint.	J Hand Surg Eur Vol.0; 2015 Jul 3. [Epub ahead of print]
104	Hema S, Hamada D, Goto T, Tsutsui T, Tonogai I, Suzue N, Matsuura T, Sairyo K.	整形外科	Revision total knee arthroplasty for unexplained pain after unicompartmental knee arthroplasty: a case report.	J Med Invest. 62(3-4):261-263,2015
105	Omichi Y, Tonogai I, Kaji S, Sangawa T, Sairyo K.	整形外科	Meralgia paresthetica caused by entrapment of the lateral femoral subcutaneous nerve at the fascia lata of the thigh: a case report and literature review.	J Med Invest. 62(3-4):248-50,2015
106	Sugiura K, Suzue N, Matsuura T, Hamada D, Goto T, Takata Y, Sairyo K.	整形外科	Ganglion cyst arising from the infrapatellar fat pad in a child.	J Med Invest. 62(3-4):245-247,2015
107	Kanematsu Y, Matsuura T, Kashiwaguchi S, Iwase T, Suzue N, Iwame T, Fukuta S, Hamada D, Goto T, Sairyo K.	整形外科	Epidemiology of shoulder injuries in young baseball players and grading of radiologic findings of Little Leaguer's shoulder.	J Med Invest. 62(3-4):123-125,2015
108	Hamada Y, Sairyo K, Sato R.	整形外科	An adjustable device to keep the thumb in opposition and prevent adduction contracture after surgery or injury.	J Hand Surg Eur Vol.40(4):416-417, 2015 May
109	Henmi T, Terai T, Hibino N, Yoshioka S, Kondo K, Goda Y, Tezuka F, MD, Sairyo K.	整形外科	Percutaneous endoscopic lumbar discectomy utilizing ventral epiduroscopic observation technique and foraminoplasty for-transligamentous extruded nucleus pulposus: technical note.	J Neurosurg Spine. 2015 Oct 13:1-6. [Epub ahead of print]
110	Takasago T, Goto T, Tsutsui T, Kondo K, Hamada D, Tonogai I, Wada K, Sairyo K.	整形外科	A Huge Capital Drop with Compression of Femoral Vessels Associated with Hip Osteoarthritis.	Case Rep Orthop. Epub 2015 Oct 4.
111	Yukata K, Nakai S, Goto T, Ikeda Y, Shimaoka Y, Yamanaka I, Sairyo K, Hamawaki J.	整形外科	Cystic lesion around the hip joint.	World J Orthop.6(9):688-704,ecollection 2015 Oct 18
112	Hida T., Murao K., Oshima M., Ishigami T., Kubo Y.	皮膚科	A case of pyoderma gangrenosum associated with anterior neerotizing scleritis in a patient with ulcerative colitis.	Int. J. Dermatol., 54:7, e269-270, 2015
113	Kitamura, Y., Mizuguchi, H., Okamoto, K., Kitayama, M., Fujii, T., Fujioka, A., Matsushita, T., Mukai, T., Kubo, Y., Kubo, N., Fukui, H., Takeda, N.	皮膚科	Irradiation with narrowband-ultraviolet B suppresses phorbol ester-induced up-regulation of H1 receptor mRNA in HeLa cells.	Acra. Otolaryngol., 136:4, 409-414, 2016

114	Shimpei Miyamoto, Shuji Kayano, Masahide Fujiki, Kenichi Kamizono, Yutaka Fukunaga, Minoru Sakuraba	形成外科	Flow-Through Divided Latissimus Dorsi Musculocutaneous Flap for Large Extremity Defects	Annals of Plastic Surgery 74(2) : 199-203 : 2015.2
115	Shimpei Miyamoto, Yutaka Fukunaga, Masahide Fujiki, Fumihiko Nakatani, Yoshikazu Tanzawa, Minoru Sakuraba	形成外科	Accompanying artery of sciatic nerve as recipient vessel for free-flap transfer: A computed tomographic angiography study and case reports	Microsurgery 35(4), 284-289:2015.5
116	Yoko Nakamura, A.Ammar Ghaibeh, Yoko Setoguchi, Kazuo Mitani, Yoshiro Abe, Ichiro Hashimoto, Hiroki Moriguchi	形成外科	On-Admission Pressure Ulcer Prediction Using the Nursing Needs Score	JMIR MEDICAL INFORMATICS vol.3 iss.1 e8 p1-8:2015
117	Hara K, Kageji T, Mizobuchi Y, Kitazato KT, Okazaki T, Fujihara T, Nakajima K, Mure H, Kuwayama K, Hara T, Nagahiro S	脳神経外科学	Blocking of the interaction between Wnt proteins and their coreceptors contributes to the anti-tumor effects of adenovirus-mediated DKK3 in glioblastoma	Cancer Letters : 356(2 Pt B):496-505,2015
118	Shimada K, Furukawa H, Wada K, Wei Y, Tada Y, Kuwabara A, Shikata F, Kenematsu Y, Lawton MT, Kitazato KT, Nagahiro S, Hashimoto T	脳神経外科学	Angiotensin-(1-7) protects against the development of aneurysmal subarachnoid hemorrhage in mice	Journal of Cerebral Blood Flow and Metabolism ;35(7):1163-8. 2015
119	Shimada K, Furukawa H, Wada K, Korai M, Wei Y, Tada Y, Kuwabara A, Shikata F, Kitazato KT, Nagahiro S, Lawton MT, Hashimoto T	脳神経外科学	Protective role of peroxisome proliferator-activated receptor- γ in the development of intracranial aneurysm rupture	Stroke;46(6):1664-72,2015
120	Sumiyoshi M, Kitazato KT, Yagi K, Miyamoto T, Kurashiki Y, Matsushita N, Kinouchi T, Kuwayama K, Satomi J, Nagahiro S	脳神経外科学	The accumulation of brain water-free sodium is associated with ischemic damage independent of the blood pressure in female rats	Brain Research;1616:37-44,2015
121	Manabu Sumiyoshi, Junichiro Satomi, Keiko T., Kitazato, Kenji Yagi, Yoshitaka, Kurashiki, Masaaki Korai, Takeshi Miyamoto, Kazuyuki Kuwayama, Shinji Nagahiro	脳神経外科学	PPAR γ -dependent- and -independent inhibition of the HMGB1/TLR9 Pathway by EPA attenuates ischemic brain damage in ovariectomized rats	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases;24(6):1187-95,2015
122	Hiroaki Kawano, Naohiro Oshita, Kimiko Katome, Takako Kadota, Michiko Kinoshita, Yayoi Matsuoaka, Yasuo M. Tsutsumi, Shinji Kawahito, Katsuya Tanaka, Shuzo Oshita.	麻酔科	Effects of a novel method of anesthesia combining propofol and volatile anesthesia on the incidence of postoperative nausea and vomiting in patients undergoing laparoscopic gynecological surgery.	Braz J Anesthesiology Jan-Feb;66(1):12-8,2016
123	Nakazawa I, Hashimoto R, Sakoori K, Sugaya Y, Tanimura A, Hashimoto-dani Y, Ohi K, Yamamori H, Yasuda Y, Umeda-Yano S, Kiyama Y, Konno K, Inoue T, Yokoyama K, Inoue T, Numata S, Ohnuma T, Iwata N, Ozaki N, Hashimoto H, Watanabe M, Manabe T, Yamamoto T, Takeda M, Kano M.	精神神経科	Emerging roles of ARHGAP33 in intracellular trafficking of TrkB and pathophysiology of neuropsychiatric disorders.	Nat Commun 3;7:10594,2016
124	Mori Y, Yoshino Y, Ochi S, Yamazaki K, Kawabe K, Abe M, Kitano T, Ozaki Y, Yoshida T, Numata S, Mori T, Iga J, Kuroda N, Ohmori T, Ueno S.	精神神経科	TREM2 mRNA Expression in Leukocytes is Increased in Alzheimer's Disease and Schizophrenia.	PLoS One 2;10(9):e0136835,2015
125	Chiba S, Tomotake M, Aono M, Toshimitsu H, Ohmori T.	精神神経科	Clinical correlates associated with basic ability of social life in schizophrenia inpatients.	Open Journal of Psychiatry 6(1):71-75,2016
126	Saijo Y, Furumoto H, Yoshida K, Nishimura M, Irahara M.	産婦人科	Clinical Significance of Vascular Endothelial Growth Factor Expression and Microvessel Density in Invasive Cervical Cancer.	J Med Invest. 2015;62(3-4):154-160.

127	Tani A, Yamamoto S, Maegawa M, Kunimi K, Matsui S, Keyama K, Kato T, Uemura H, Kuwahara A, Matsuzaki T, Yasui T, Kamada M, Soeki T, Sata M, Irahara M.	産婦人科	Arterial stiffness is increased in young women with endometriosis.	J Obstet Gynaecol. 2015;35(7):711-715
128	Munkhzyaya M, Matsuzaki T, Iwasa T, Tungalagsuvd A, Kawami T, Kato T, Kuwahara A, Irahara M.	産婦人科	The suppressive effect of immune stress on LH secretion is absent in the early neonatal period in rats.	Int J Dev Neurosci. 2015 Nov;46:38-43.
129	Maeda K, Kajī T, Kasai K, Nakayama S, Morine M, Irahara M.	産婦人科	A case of pregnancy complicated with congenital dysprothrombinemia (prothrombin Tokushima).	Blood Coagul Fibrinolysis. 2015 Oct;26(7):827-829.
130	Kimura T, Nishisho T, Sakai T, Miyagi R, Takao S, Iwamoto S, Higashino K, Takata Y, Goda Y, Toki S, Sairyō K.	放射線医学分野	Tenosynovial Giant Cell Tumor, Diffuse Type/Pigmented Villonodular Synovitis in a Pars Defect: A Case Report.	Spine (Phila Pa 1976).15;40(12):E735-9,2015
131	Otani T, Otsuka H, Kondo K, Takizawa H, Nagata M, Kishida M, Miyoshi H	放射線医学分野	Utility of respiratory-gated small-animal PET/CT in the chronologic evaluation of an orthotopic lung cancer transplantation mouse model.	Radiol Phys Technol. 8(2):266-77,2015
132	Goji T1, Kimura T, Miyamoto H, Takehara M, Kagemoto K, Okada Y, Okazaki J, Takaoka Y, Miyamoto Y, Mitsui Y, Matsumoto S, Sueuchi T, Tanaka K, Fujino Y, Takaoka T, Kitamura S, Okamoto K, Kimura M, Sogabe M, Muguruma N, Okahisa T, Sato Y, Sagawa T, Fujikawa K, Sato Y, Ikushima H, Takayama T	放射線医学分野	A phase I/II study of fixed-dose-rate gemcitabine and S-1 with concurrent radiotherapy for locally advanced pancreatic cancer.	Cancer Chemother Pharmacol. 76(3):615-20,2015
133	Sako W, Murakami N, Miyazaki Y, Abe T, Harada M, Izumi Y, Kajī R	放射線医学分野	The effect of tremor onset on middle cerebellar peduncle of Parkinson's disease.	J Neurol Sci. Vol358, No.1-2, p172-177,2015
134	Yamamoto N, Satomi J, Yamamoto Y, Yamaguchi I, Furukawa T, Tada Z, Harada M, Izumi Y, Nagahiro S, Kajī R.	放射線医学分野	The susceptibility vessel sign containing two compositions on 3-tesla T2*-weighted image and single corticosubcortical infarct on diffusion-weighted image are associated with cardioembolic stroke	J Neurol Sci, Vol.359, No.1-2, p141-145,2015
135	Senzaki T, Fukumori T, Mori H, Kusuhashi Y, Komori M, Kogawa J, Fukawa T, Yamamoto Y, Yamaguchi K, Takahashi M, Kubo A, Kawanaka T, Furutani S, Ikushima H, Kanayama HO	放射線医学分野	Clinical Significance of Neoadjuvant Combined Androgen Blockade for More Than Six Months in Patients with Localized Prostate Cancer Treated with Prostate Brachytherapy	Urologia Internationalis;95(4):467-64,2015
136	Ishiyama H, Satoh T, Yorozu A, Saito S, Kataoka M, Hashine K, Nakamura R, Tanji S, Masui K, Okihara K, Ohashi T, Momma T, Aoki M, Miki K, Kato M, Morita M, Katayama N, Nasu Y, Kawanaka T, Fukumori T, Ito F, Shiroki R, Baba Y, Inadome A, Yoshioka Y, Takayama H, Hayakawa K	放射線医学分野	Multi-institutional retrospective analysis of learning curves on dosimetry and operation time before and after introduction of intraoperatively built custom-linked seeds in prostate brachytherapy	Journal of Radiation Research, Vol. 57, No. 1, pp. 68-74,2016
137	Tezuka F, Sakai T, Nishisho T, Takata Y1, Higashino K, Takao S, Harada M, Sairyō K	放射線医学分野	Variations in arterial supply to the lower lumbar spine.	European spine journal,2016 Feb 9. [Epub ahead of print],2016
138	Ogino H, Hanibuchi M, Takizawa H, Sakiyama S, Sumitomo H, Iwamoto S, Ikushima H, Nakajima K, Nagahiro S, Yamago T, Toyoda Y, Bando Y, Nishioka Y.	放射線医学分野	Primary Pulmonary Synovial Sarcoma Showing a Prolonged Survival with Multimodality Therapy.	Internal Medicine,55(4):381-7,2016
139	Nakaya K, Otsuka H, Kondo K, Otani T, Nagata M.	放射線医学分野	Tumor growth-inhibitory effect of an angiotensin-converting enzyme inhibitor (captopril) in a lung cancer xenograft model analyzed using 18F-FDG-PET/CT	Nucl Med Commun,37(2):139-46,2016

140	Yamano N, Ikeda Y, Sakama M, Izawa-Ishizawa Y, Kihira Y, Ishizawa K, Miyamoto L, Tomita S, Tsuchiya K, Tamaki T.	臨床薬剂学	Long-term high-fat diet changes iron distribution in body, increasing iron accumulation specifically in mouse spleen.	J Nutr Sci Vitaminol. 61, 20-27, 2015.
141	Horinouchi Y, Summers FA, Ehrenshaft M, Mason RP	臨床薬剂学	Free radical generation from an aniline derivative in HepG2 cells: A possible captodative effect	Free Radical Biology & Medicine, 78, 111-117, 2015.
142	Miyamoto L, Yagi Y, Aya Hatano, Kawazoe K, Ishizawa K, Minakuchi K, Tomita S, Tsuchiya K.	臨床薬剂学	Spontaneously hyperactive MEK-Erk pathway mediates paradoxical facilitation of cell proliferation in mild hypoxia.	Biochimica et Biophysica Acta (BBA) - General Subjects, 1850, 640-646, 2015.
143	Sakurada T, Kakiuchi S, Tajima S, Horinouchi Y, Okada N, Nishisako H, Nakamura T, Teraoka K, Kawazoe K, Yanagawa H, Nishioka Y, Minakuchi K, Ishizawa K.	臨床薬剂学	Characteristics and risk factors of interstitial lung disease induced by chemotherapy for lung cancer.	The Annals of Pharmacotherapy, 49, 398-404, 2015.
144	Kihira Y, Burentogtokh A, Itoh M, Izawa-Ishizawa Y, Ishizawa K, Ikeda Y, Tsuchiya K, Tamaki T.	臨床薬剂学	Hypoxia decreases glucagon-like peptide-1 secretion from GLUTag cell line.	Biol Pharm Bull, 38, 514-521, 2015.
145	Tajima S, Ikeda Y, Enomoto H, Imao M, Horinouchi Y, Izawa-Ishizawa Y, Kihira Y, Miyamoto L, Ishizawa K, Tsuchiya K, Tamaki T.	臨床薬剂学	Angiotensin II alters the expression of duodenal iron transporters, hepatic hepcidin, and body iron distribution in mice.	Eur J Nutr. 54, 709-719, 2015.
146	Tetrahedron Lett, 56, 817-819, 2015	臨床薬剂学	Algiolide A, secoiridoid glucoside from Mongolian medicinal plant Gentiana algida.	Tetrahedron Lett, 56, 817-819, 2015
147	Ikeda Y, Hinnano H, Satoh A, Horinouchi Y, Izawa-Ishizawa Y, Kihira Y, Ishizawa K, Aihara K, Tsuchiya K, Tamaki T.	臨床薬剂学	Bilirubin exerts pro-angiogenic property through Akt-eNOSdependent pathway.	Hypertension Research, 38:733-740, 2015
148	Konaka K, Moriyama K, Okada N, Nishisako H, Syono M, Kawazoe K, Ishizuwa K	臨床薬剂学	Ephedra protects vascular endothelium cells from vinorelbine-induced cytotoxicity by preserving endothelial nitric oxide synthase activity	Traditional & Kampo Medicine, 2, 74-80, 2015
149	Okada N, Watanabe H, Kagami S, Ishizawa K	臨床薬剂学	Ifosfamide and etoposide chemotherapy may interact with warfarin, enhancing the warfarin-induced anticoagulant response	International Journal of Clinical Pharmacology and Therapeutics, 54:58-61, 2016
150	Sakurada T, Kakiuchi S, Tajima S, Horinouchi Y, Konaka K, Okada N, Nishisako H, Nakamura T, Teraoka K, Kawazoe K, Yanagawa H, Nishioka Y, Ishizawa K.	臨床薬剂学	Pemetrexed-induced rash may be prevented by supplementary corticosteroids.	Biological and Pharmaceutical Bulletin, 38:1752-1756, 2015
151	Maeda K, Kutashima R, Ishizawa K, Yanagawa H.	臨床薬剂学	Japanese physicians' views on drug post-marketing surveillance.	J Clin Med Res 7:956-960, 2015
152	Okada N, Fushitani S, Azuma M, Nakamura S, Nakamura T, Teraoka K, Watanabe H, Abe M, Kawazoe K, Ishizawa K.	臨床薬剂学	Clinical evaluation of pharmacist interventions in patients treated with anti-methicillin-resistant Staphylococcus aureus agents in a hematological ward.	Biological and Pharmaceutical Bulletin, 39:295-300, 2016

153	Tangsucharit P, Takatori S, Zamami Y, Goda M, Pakdeechote P, Kawasaki H, Takayama F.	臨床薬理学	Muscarinic acetylcholine receptor M1 and M3 subtypes mediate acetylcholine-induced endothelium-independent vasodilatation in rat mesenteric arteries.	Journal of Pharmacological Sciences, 130, 24-32, 2016.
154	Hosokawa K, Nishimura M, Egi M, Vincent JL.	救急集中治療医学	Timing of tracheostomy in ICU patients: a systematic review of randomized controlled trials.	Crit Care, 19:424.2015
155	Onodera M, Okuda N, Izawa M, Nishimura M	救急集中治療医学	Delirium during noninvasive positive pressure ventilation: a prospective observational study.	J Pulm Respir Med 6:1.2016.
156	Su Z, Oto J, Wang J, Kimball WR, Chenelle CT, Kacmarek RM, King DR, Jiang Y, Duggan MJ	ER・災害医療診療部	Validation of Respiratory Inductance Plethysmography for Measuring Tidal Volume in Swine	Comp Med. 2015 Jun;65(3):225-31
157	Fujiwara M, Miyoshi M, Sakai S, Nishiokada A, Aoyama-Ishikawa M, Maeshige N, Usami Y, Hamada Y, Takahashi M, Usami M.	栄養部	Lard-based high-fat diet increases secretory leukocyte protease inhibitor expression and attenuates the inflammatory response of acute lung injury in endotoxemic rats.	Clin Nutr. 2015 Oct;34(5):997-1009.
158	Nishiokada A, Miyoshi M, Fujiwara M, Aoyama-Ishikawa M, Maeshige N, Takahashi M, Hamada Y, Usami Y, Honda M, Arita M, Usami M.	栄養部	Changes of hepatic lipid mediators associated with intake of high-fat diet for 12 weeks in endotoxemic rats using LC-ESI-MS/MS.	Clin Nutr. 2015 Aug;34(4):685-93.
159	Nishimoto S, Fukuda D, Higashikuni Y, Tanaka K, Hirata Y, Murata C, Kim-Kaneyama JR, Sato F, Bando M, Yagi S, Soeki T, Hayashi T, Imoto I, Sakaue H, Shimabukuro M, Sata M.	栄養部	Obesity-induced DNA released from adipocytes stimulates chronic adipose tissue inflammation and insulin resistance.	Sci Adv. 2(3):e1501332, 2016
160	Yang ZH, Inoue S, Taniguchi Y, Miyahara H, Iwasaki Y, Takeo J, Sakaue H, Nakaya Y.	栄養部	Long-term dietary supplementation with saury oil attenuates metabolic abnormalities in mice fed a high-fat diet: combined beneficial effect of omega-3 fatty acids and long-chain monounsaturated fatty acids.	Lipids Health Dis. 14:155, 2015
161	Miyatake Y, Shiuchi T, Ueta T, Taniguchi Y, Futami A, Sato F, Kitamura T, Tsutsumi R, Harada N, Nakaya Y, Sakaue H.	栄養部	Intracerebroventricular injection of adiponectin regulates locomotor activity in rats.	Med Invest. 62(3-4):199-203, 2015
162	Nishi T, Shuto E, Ogawa M, Ohya M, Nakanishi M, Masuda M, Katsumoto M, Yamanaka-Okumura H, Sakai T, Takeda E, Sakaue H, Taketani Y.	栄養部	Excessive dietary phosphorus intake impairs endothelial function in young healthy men: a time- and dose-dependent study.	J Med Invest. 62(3-4):167-72, 2015
163	Otsuka R, Harada N, Aoki S, Shirai K, Nishitsuji K, Nozaki A, Hatakeyama A, Shono M, Mizusawa N, Yoshimoto K, Nakaya Y, Kitahata H, Sakaue H.	栄養部	C-terminal region of GADD34 regulates eIF2 α dephosphorylation and cell proliferation in CHO-K1 cells.	Cell Stress Chaperones. 21(1):29-40, 2016
164	Mayu Sebe, Rie Tsutsumi Sotaro Yamaguchi, Yousuke T. Horikawa, Nagakatsu Harada, Takuro Oyama, Nami-Kakuta, Katsuya Tanaka, Yesuo M. Tsutsumi, Yutaka Nakaya and Hiroshi Sakaue	栄養部	The synergistic effects of omega-3 fatty acids against 5-fluorouracil-induced mucosal impairment in mice	BMC Nutrition 2:17, 2016
165	Soga T, Kume K, Kakuta N, Hamaguchi E, Tsutsumi R, Kawanishi R, Fukuta K, Tanaka K, Tsutsumi YM.	栄養部	Fosaprepitant versus ondansetron for the prevention of postoperative nausea and vomiting in patients who undergo gynecologic abdominal surgery with patient-controlled epidural analgesia: a prospective, randomized, double-blind study.	J. Anesth.29(5):696-701, 2015

166	Kakuta N, Kume K, Hamaguchi E, Tsutsumi R, Mita N, Tanaka K, Tsutsumi YM.	栄養部	The effects of intravenous fosaprepitant and ondansetron in the prevention of postoperative nausea and vomiting in patients who underwent lower limb surgery: a prospective, randomized, double-blind study.	J Anesth. 29(6):836-41, 2015
167	Suresh PS, Venkatesh T, Tsutsumi R.	栄養部	In silico analysis of polymorphisms in microRNAs that target genes affecting aerobic glycolysis.	Ann Transl Med. 4(4):69, 2015
168	Suresh PS, Venkatesh T, Tsutsumi R.	栄養部	Mining of single nucleotide polymorphisms in the 3' untranslated region of liver cancer-implicated miR-122 target genes.	Ann Transl Med. 4(5):102, 2015
169	Venkatesh T, Suresh PS, Tsutsumi R.	栄養部	Non-coding RNAs: Functions and applications in endocrine-related cancer.	Mol Cell Endocrinol. 15;416:88-96, 2015
170	Venkatesh T, Suresh PS, Tsutsumi R.	栄養部	tRFs: miRNAs in disguise.	Gene. 579(2):133-8, 2016
171	Kawai N, Hirasaka K, Maeda T, Haruna M, Shiota C, Ochi A, Abe T, Kohno S, Ohno A, Teshima-Kondo S, Mori H, Tanaka E, Nikawa T	栄養部	Prevention of skeletal muscle atrophy in vitro using anti-ubiquitination oligopeptide carried by atelocollagen.	Biochim Biophys Acta. 2015 May; 1853(5):873-80
172	Nakao R, Yamamoto S, Horikawa K, Yasumoto Y, Nikawa T, Mukai C, Oishi K	栄養部	Atypical expression of circadian clock genes in denervated mouse skeletal muscle.	Chronobiol Int. 2015 May;32(4):486-96
173	Oarada M, Takahashi-Nakaguchi A, Abe T, Nikawa T, Miki T, Gonoi T	栄養部	Refeeding with glucose rather than fructose elicits greater hepatic inflammatory gene expression in mice.	Nutrition. 2015 May;31(5):757-65
174	Gwag T, Park K, Park J, Lee JH, Nikawa T, Choi J	栄養部	Celastrol overcomes HSP72 gene silencing-mediated muscle atrophy and induces myofiber preservation.	J Physiol Pharmacol. 2015 Apr;66(2):273-83
175	Shiota C, Abe T, Kawai N, Ohno A, Teshima-Kondo S, Mori H, Terao J, Tanaka E, Nikawa T	栄養部	Flavones inhibit LPS-induced Atrogin-1/MAFbx expression in mouse C2C12 skeletal myotubes.	J Nutr Sci Vitaminol (Tokyo). 2015;61(2):188-94
176	Nowinski SM, Solomonson A, Rundhaug JE, Rho O, Cho J, Lago CU, Riley CL, Lee S, Kohno S, Dao CK, Nikawa T, Bratton SB, Wright CW, Fischer SM, DiGiovanni J, Mills EM.	栄養部	Mitochondrial uncoupling links lipid catabolism to Akt inhibition and resistance to tumorigenesis.	Nat Commun. 2015 Aug 27;6:8137
177	Hashimoto R, Sakai A, Murayama M, Ochi A, Abe T, Hirasaka K, Ohno A, Teshima-Kondo S, Yanagawa H, Yasui N, Inatsugi M, Doi D, Takeda M, Mukai R, Terao J, Nikawa T	栄養部	Effects of dietary soy protein on skeletal muscle volume and strength in humans with various physical activities.	J Med Invest. 2015;62(3-4):177-83
178	Tomida C, Aibara K, Yamagishi N, Yano C, Nagano H, Abe T, Ohno A, Hirasaka K, Nikawa T, Teshima-Kondo S	栄養部	The malignant progression effects of regorafenib in human colon cancer cells.	J Med Invest. 2015;62(3-4):195-8

小計 13件

179	Ohno A, Ochi A, Maita N, Uejii T, Bando A, Nakao R, Hiraseka K, Abe T, Teshima-Kondo S, Nemoto H, Okumura Y, Higashibata A, Yano S, Tochio H, Nikawa T	栄養部	Structural analysis of the TKB domain of ubiquitin ligase Cbl-b complexed with its small inhibitory peptide, Cbln.	Arch Biochem Biophys. 2016 Mar 15; 594:1-7
180	Hirasaka K, Mills EM, Haruna M, Bando A, Ikeda C, Abe T, Kohno S, Nowinski SM, Lego CU, Akagi K, Tochio H, Ohno A, Teshima-Kondo S, Okumura Y, Nikawa T	栄養部	UCP3 is associated with Hax-1 in mitochondria in the presence of calcium ion.	Biochem Biophys Res Commun. 2016 Mar 25;472(1):108-13
181	Abe T, Hirasaka K, Kohno S, Tomida C, Haruna M, Uchida T, Ohno A, Oarada M, Teshima-Kondo S, Okumura Y, Choi I, Aoyama T, Terao J, Nikawa T	栄養部	Capric Acid Up-Regulates UCP3 Expression without PDK4 Induction in Mouse C2C12 Myotubes.	J Nutr Sci Vitaminol (Tokyo). 2016; 62(1):32-9
182	Mukai R, Matsui N, Fujikura Y, Matsumoto N, Hou DX, Kanzaki N, Shibata H, Horikawa M, Iwasa K, Hirasaka K, Nikawa T, Terao J	栄養部	Preventive effect of dietary quercetin on disuse muscle atrophy by targeting mitochondria in denervated mice.	J Nutr Biochem. 2016 May; 31:67-76
183	Ngoc Quang Phan, Takashi Uebanso, Takaaki Shimohata, Mutsumi Nakahashi, Kazuaki Mawatari and Akira Takahashi.	栄養部	DNA-binding protein HU coordinate pathogenicity in <i>Vibrio parahaemolyticus</i> .	Journal of Bacteriology, 2015 Sep 15;197(18):2958-64
184	Su Z, Lian G, Mawatari K, Tang P, He S, Shimohata T, Wu Y, Yin W, Takahashi A.	栄養部	Identification and Purification of the CPD Photolyase in <i>Vibrio parahaemolyticus</i> RIMD2210633.	Photochem Photobiol. 2015 Sep-Oct;91(5):1165-72.
185	Toshitsuka Ikehara, Mutsumi Nakahashi, Su Zehong, Masatake Akutagawa, Koichiro Tsuchiya, Mitsuo Kitamura, Akira Takahashi & Yohsuke Kinouchi	栄養部	Effects of UV-A LED light irradiation on growth of cultured RAW 264.7 cells	Toxicological & Environmental Chemistry, Vol. 97, No. 2, pp. 243-255, Published online: 12 May
186	Yanfai Hou, Mutsumi Nakahashi, Kazuaki Mawatari, Takaaki Shimohata, Takashi Uebanso, Yumi Harada, Akari Tsunedomi, Takahiro Emoto, Masatake Akutagawa, Yohsuke Kinouchi, Akira Takahashi	栄養部	Combined treatment of UVA irradiation and antibiotics induces greater bactericidal effects on <i>Vibrio parahaemolyticus</i> .	J Med Invest. 2016 FEB; 63(1-2): 63-7.
187	Shigekiyo T, Sekimoto E, Shibata H, Ozaki S, Okumura T, Fujinaga H, Shibata H, Aihara K, Akaike M.	キャリア形成支援センター	Factor VII Tokushima: the first case of factor VII Cys22Gly with the development of myocardial infarction in the proband receiving recombinant factor VIIa replacement therapy.	Blood Coagul Fibrinolysis 25(8):956-958, 2015
188	J Tenma, M Matsuhisa, T Horie, A Kuroda, H Mori, M Tamaki, I Endo, Ken-ichi A, M Abe, T Matsumoto.	糖尿病臨床・研究開発センター	Non-invasive Measurement of Skin Autofluorescence as a Beneficial Surrogate Marker for Atherosclerosis in Patients with Type 2 Diabetes.	J Med Invest.62(3-4):126-9. 2015
189	Osawa S, Kawamori D, Katakami N, Takahara M, Sakamoto F, Katsura T, Yasuda T, Kaneto H, Matsuhisa M, Matsuoka TA, Shimomura I.	糖尿病臨床・研究開発センター	Significant elevation of serum dipeptidyl peptidase-4 activity in young-adult type 1 diabetes.	Diabetes Res Clin Pract.113:135-42. 2016
190	Iida H, Ogihara T, Min MK, Hara A, Kim YG, Fujimaki K, Tamaki M, Fujitani Y, Kim H, Watada H.	糖尿病臨床・研究開発センター	Expression mechanism of tryptophan hydroxylase 1 in mouse islets during pregnancy.	J Mol Endocrinol. 55(1):41-53. 2015
191	Miyagawa T, Fujita T, Yumoto H, Yoshimoto T, Kajiya M, Ouhara K, Matsuda S, Shiba H, Matsuo T, Kurihara H.	第一保存科	Azithromycin recovers reductions in barrier function in human gingival epithelial cells stimulated with tumor necrosis factor- α .	Archives of Oral Biology, 2016 Feb;62:64-9.

192	Park SH, Ye L, Love RM, Farges JC, Yumoto H.	第一保存科	Inflammation of the Dental Pulp	Mediators of Inflammation. 2015;2015:980196.
193	Javkhan P, Xu G, Chen G, Hiroshima Y, Yoshimura H, Nagata T, Hosoi K.	第二保存科	Expression and LPS-Induced elevation of Nod2 and calprotectin in the submandibular salivary glands of wild-type and TLR4-knockout male mice.	J Res Practice Dentistry, Article ID 290259, 16 page, 2015
194	Anderud J, Abrahamsson P, Jimbo R, Isaksson S, Adolfsson E, Mulinström J, Naito Y, Wennerberg A.	口腔インプラントセンター	Guided bone augmentation using ceramic space-maintaining devices: the impact of chemistry.	Clin Cosmet Investig Dent. 2015 Mar 12;7:45-53.
195	Jimbo R, Naito Y, Galli S, Berner S, Dard M, Wennerberg A.	口腔インプラントセンター	Biomechanical and Histomorphometrical Evaluation of TiZr Alloy Implants: An in vivo Study in the Rabbit. Clin Implant Dent Relat Res. 2015 Oct;17 Suppl 2:e670-8. doi: 10.1111/cid.12305. Epub 2015 Apr 16.	Clin Implant Dent Relat Res. 2015 Oct;17 Suppl 2:e670-8.
196	H Chen, Kazutomo Yagi, FR Almeida, BT Pliska and AA Lowe	口腔顎顔面補綴学分野	A pilot study on the dentoalveolar and skeletal effects of two functional appliances in class 2, division 1 growing children, H Chen, Kazutomo Yagi, FR Almeida, BT Pliska and AA Lowe :	Int J Orthod Milwaukee. 2015 Summer;26(2):15-20.
197	Prananingrum W, Naito Y, Galli S, Bae J, Sekine K, Hamada K, Tomotake Y, Wennerberg A, Jimbo R, Ichikawa T.	口腔顎顔面補綴学分野	Bone ingrowth of various porous titanium scaffolds produced by a moldless and space holder technique: an in vivo study in rabbits.	Biomed Mater. 2016 Feb 2;11(1):015012.
198	Jiyoung Bae, Yumika Ida, Kazumitsu Sekine, Fumiaki Kawano and Kenichi Hamada	総合歯科	Effects of high-energy ball-milling on injectability and strength of beta-tricalcium-phosphate cement	Journal of the Mechanical Behavior of Biomedical Materials 47, 77-86, 2015
199	Abe N, Kuroda S, Furutani M, Tanaka E	矯正歯科	Clinical assessment of new simulation software in orthognathic surgery.	International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery 44(1): 90-96, 2015
200	Asakawa-Tanne Y, Su S, Kunimutsu R, Hirose N, Mitsuoyoshi T, Okamoto Y, Tanaka E, Tanne K, Tanimoto K	矯正歯科	Effects of enzymatic degradation after loading in temporomandibular joint.	Journal of Dental Research 94(2): 337-343, 2015
201	Mellott AJ, Devarajan K, Shinogle HE, Moore DS, Talata Z, Laurence JS, Forrest ML, Noji S, Tanaka E, Staecker H, Detamore MS	矯正歯科	Non-viral reprogramming of human Wharton's jelly cells reveals differences between Atoh1 homologues.	Tissue Engineering Part A, 21(11-12): 1795-1809, 2015
202	Kan Saito, Emiko Fukumoto, Aya Yamada, Kenji Yuusa, Keigo Yoshizaki, Tsutomu Iwamoto, Masahiro Saito, Takashi Nakamura and Satoshi Fukumoto	小児歯科学分野	Interaction between fibronectin and I integrin is essential for tooth development	PLoS ONE, Vol.10, No.4, p.e0121667, 2015.
203	Liu Jia, Saito Kan, Mariya Yuriko, Nakamura Takashi, Yumuda Aya, Fukumoto Emiko, Ishikawa Momoko, Tsutomu Iwamoto, Miyazaki Kanako, Yoshizaki Keigo, Ge Lihong and Fukumoto Satoshi	小児歯科学分野	Mutant GDF5 enhances ameloblast differentiation via accelerated BMP2-induced Smad1/5/8 phosphorylation.	Scientific Reports, Vol.6, p.23670, 2016
204	Kawano T, Eguchi S, Iwata H, Tamura T, Kumagai N, Yokoyama M	歯科麻酔	Impact of preoperative environmental enrichment on prevention of development of cognitive impairment following abdominal surgery in a rat model.	Anesthesiology 123(1): 160-170, 2015

205	Nunthayanon K, Honda E, Shimazaki K, Ohmori H, Inoue-Arai MS, Kurabayashi T, Ono .T	歯科放射線	Use of an advanced 3-T MRI movie to investigate articulation.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol 119(6), 684-694, 2015
206	Nunthayanon K, Honda E, Shimazaki K, Ohmori H, Inoue-Arai MS, Kurabayashi T, Ono .T	歯科放射線	Differences in Velopharyngeal Structure during Speech among Asians Revealed by 3-Tesla Magnetic Resonance Imaging Movie Mode	BioMed Research International Article ID 126264, 8 pages, 2015. doi:10.1155/2015/126264
207	Kulthida Nunthayanon, Eiichi Honda, Hiroko Ohmori, Maristela Seyuri Inoue-Araie, Kazuo Shimazaki, Tohru Kurabayashi, Takashi Ono	歯科放射線	A pilot study on characterization of articulatory movements during fricative /s/ sound in an anterior open bite subject: a tooth-visualized 3-T MRI movie evaluation	J World Feder Orthod 4: 71-77, 2015 doi:10.1016/j.ejwf.2015.03.001
208	Toshihiro IMAMURA, Zusei KANNO, Haruki IMAI, Tomoko SUGIYAMA, Takahiro WADA, Midori YOSHIDA, Minoru SAKAMA, Takashi ONO, Eiichi HONDA and Motohiro UO	歯科放射線	Infiltration of trace metal ions in the oral mucosa of a rat analyzed using SR-XRF, XAFS, and ICP-MS	Dent Mater J. 34(6):814-21. doi: 10.4012/dmj.2015-036

小計 4件

(2)合計

208

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 1. 委員会規則（組織，申請手続き，審議，有害事象，実施状況報告，終了報告など会議等委員会運営に必要な事項），2. 臨床研究実施に係る標準業務について，3. 臨床研究に関連する重篤な有害事象対応について，4. 研究者主導臨床研究におけるモニタリング又は監査の受入れについて	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 利益相反管理規程（管理の概要，手続き及び方法，勧告及び監査）	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 2 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 4 回
・ 研修の主な内容 臨床試験管理センターが主催する臨床試験研修セミナー（臨床研究実施の基準と現状，日本における倫理指針と倫理性担保，倫理委員会申請手続き，CRC活動と臨床研究支援，研究倫理，先進医療）	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

希望する診療領域に応じて卒後3～6年を目処に基本領域の専門医を取得した後、高度先進医療・先端医療を担うべくサブスペシャリティ領域の専門医取得を目指す。また、本人の希望により、並行して社会人大学院に在籍して医学博士号の取得や、臨床技術研鑽及び研究のための他施設（国内外）での研修も可能である。

2 研修の実績

研修医の人数	217人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
梶 龍児	内科	教授	37年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
佐田政隆	内科	教授	28年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
西岡安彦	内科	教授	28年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
高山哲治	内科	教授	30年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
土井俊夫	内科	教授	38年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
安倍正博	内科	准教授	32年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
佐田政隆	循環器内科	教授	28年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
梶 龍児	神経内科	教授	37年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
高山哲治	消化器内科	教授	30年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
土井俊夫	腎臓内科	教授	38年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
遠藤逸朗	内分泌・代謝内科	講師	24年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
安倍正博	血液内科	准教授	32年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
西岡安彦	呼吸器・膠原病内科	教授	28年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
北川哲也	外科	教授	36年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
丹黒 章	外科	教授	35年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
島田光生	外科	教授	32年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
島田光生	消化器・移植外科	教授	32年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
先山正二	呼吸器外科	准教授	30年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
丹黒 章	食道・乳腺甲状腺外科	教授	35年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
石橋広樹	小児外科	病院教授	27年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
北川哲也	心臓血管外科	教授	36年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
金山博臣	泌尿器科	教授	34年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
西良浩一	整形外科	教授	28年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
永廣信治	脳神経外科	教授	40年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
久保宜明	皮膚科	教授	28年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
三田村佳典	眼科	教授	29年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
武田憲昭	耳鼻咽喉科	教授	35年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
原田雅史	放射線科	教授	30年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
苛原 稔	産婦人科	教授	37年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
大森哲郎	精神科	教授	35年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
香美祥二	小児科	教授	36年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者
田中克哉	麻酔科	教授	26年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 責任者

橋本一郎	形成外科	教授	28年	診療科長・ブローチ責任者
西村匡司	救急科	教授	35年	診療部長・ブローチ責任者
加藤真介	リハビリテーション科	教授	32年	
上原久典	病理診断科	教授	26年	診療部長・ブローチ責任者

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

1) 院内認定コース（院内）

・研修の主な内容

看護部では、特定の専門領域において、3年以上の実務経験のある医療者を対象とした質の高い医療人を育成するために、院内認定コースを開講しており、平成27年度においては9コース開講した。規定の出席・試験・レポート評価が合格基準を満たしていれば、修了証及びバッジが授与される。取得後は専門性を生かした質の高いケアを他職種とともにチームで患者に実践している。

・研修の期間・実施回数 H27年度：6月～3月・261回

・研修の参加人数 平成27年度：30人

2) 院内認定コース：フォローアップ研修

・研修の主な内容

院内認定取得者のためのフォローアップ研修を年に1回以上実施している。

・研修の期間・実施回数 H27年度：9月～2月・22回

・研修の参加人数 H27年度：78人

3) 医療技術職部門キャリア形成支援研修会

・研修の主な内容

医療技術職員を対象に、講師は各医療技術職からだけでなく医師、薬剤師、看護師、栄養士など多職種から迎え、各医療技術職員の日頃の業務に役立ち、キャリアアップにつながる研修を実施している。

・研修の期間・実施回数 H27年度：4月～3月・12回

・研修の参加人数 H27年度：延べ229人

4) 栄養セミナー

・研修の主な内容

栄養管理に必要な、栄養評価、経腸栄養、点滴などについて学ぶ。本セミナーに全回出席し、さらに病棟実習および症例報告の提出（3例）を行った場合は、NST加算のためのメンバー要件である「栄養管理に関わる所定の研修を修了した者」として修了証書が発行される。

・研修の期間・実施回数 H27年度：6月～11月・12回

・研修の参加人数 H27年度：延べ224人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

1) 役割拡大実践能力取得コース

・研修の主な内容

医師が行う患者への説明は、限られた時間で、患者個々の理解度に合わせて行うことが出来ないため、医師に代わって、患者の身近にいる看護師が、患者の意思決定を支援することを

目指し、治療検査等を含めた補足説明を担うために求められる能力を強化するプログラムを開発し、患者の意思決定を支援する看護師の育成を実施している。

- ・研修の期間・実施回数 H27年度：6月～3月・18回
- ・研修の参加人数 H27年度：2人

2) 教育担当者研修

- ・主な研修の内容
新人及び若手看護師への教育指導を効果的・効率的に実施するため、教育担当者育成プログラムを開発し、徳島大学医学部保健学科と連携して教育担当者の育成を実施している。
- ・研修の期間・実施回数 H27年度：4月～3月・30回
- ・研修の参加人数 H27年度：4人

3) 退院支援看護師育成研修

- ・主な研修の内容
入院時から、退院後の地域での暮らしを見据えた退院支援ができ、きめ細やかな継続ケアの実現を図ることのできる看護師の育成を実施している。
- ・研修の期間・実施回数 H27年度：6月～3月・25回
- ・研修の参加人数 H27年度：5人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

1) 院内認定コース（外部公開）

- ・主な研修の内容
院内認定コース9コースの研修コースプログラム及びコースの一部の講義を地域に公開することで、地域の室の高い医療の推進に貢献している。
- ・研修の期間・実施回数 (コース全体) H27年度：6月～3月・120回
(講義のみ) H27年度：6月～3月・1067時間
- ・研修の参加人数 (コース全体) H27年度：8人
(講義のみ) H27年度：延べ583人

(注)1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注)2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	① 計画	② 現状
管理責任者氏名	病院長 永廣 信治	
管理担当者氏名	総務課長 久保 公四郎 経理調達課長 井内 伸 医事企画課長 安崎 郁子 医療支援課長 槌谷 和也 薬剤部長 石澤 啓介 看護部長 高開 登茂子 診療支援部長 清水 裕次 病院情報センター長 島田 光生 手術部長 島田 光生 放射線部長 原田 雅史 ME管理センター長 北川 哲也	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科(部)
		処方せん	病院情報システム
		手術記録	病院情報システム
		看護記録	病院情報システム
		検査所見記録	病院情報システム
		エックス線写真	病院情報システム
		紹介状	病院情報システム
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	病院情報システム
		文書ファイルまたは電子媒体で保管	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事企画課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課 経理調達課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事企画課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事企画課 薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課		
文書ファイルで保管			

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療支援課	文書ファイルで保管
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療支援課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療支援課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	ME管理センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME管理センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME管理センター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME管理センター	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療支援課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療支援課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療支援課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事企画課
		医療安全管理部門の設置状況	医療支援課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療支援課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療支援課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療支援課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療支援課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療支援課
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課 医療支援課		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	<input checked="" type="radio"/> 2. 現状	
閲覧責任者氏名	事務部長 大城 雅彦		
閲覧担当者氏名	総務課長 久保 公四郎		
閲覧の求めに応じる場所	総務課		
閲覧の手続の概要			
閲覧請求を申請する者は、事前に担当部署に申請を行う。			

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>徳島大学病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療(最先端医療を含む)を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。</p> <p>特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ol style="list-style-type: none">1 用語の定義2 安全管理に関する基本的考え方3 医療に係る安全管理のための取組に関する基本的事項4 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針5 医療上の事故等の報告に関する基本方針6 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針7 患者等からの相談への対応に関する基本方針8 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針9 その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有・無）</p> <p>・ 開催状況：年 14 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>リスクマネジメント委員会（毎月1回、臨時2回）</p> <ol style="list-style-type: none">1 医療上の事故等防止のための安全管理の方策に関すること。2 医療上の事故等発生時の対応に関すること。3 医薬品の安全使用に関すること。4 医療機器の安全使用に関すること。5 その他医療上の事故等に関すること。	

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成27年度</p> <p>第1回安全管理研修会「医薬品の安全使用における薬剤部の役割」 「医療安全に向けた持参薬の取り扱い」</p> <p>第2回安全管理研修会「航空業界における安全管理の取り組み」</p> <p>第3回安全管理研修会「放射線検査における安全管理」</p> <p>第4回安全管理研修会「医療事故調査制度について」</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>事故報告等の報告に関しては、「徳島大学病院インシデント等発生時の報告に関する取扱要項」を定め、「インシデント報告システム」により報告される。報告されたインシデントは、リスクマネージャーからの報告や安全管理部リスクマネジメント部門員による現場確認及び当事者等の事情聴取により確認され、安全管理部リスクマネジメント部門会議（分析）において、インシデント報告書に基づき改善策を検討する。次に、リスクマネジメント部門会議（分析）での改善策をリスクマネジメント部門会議（全体）で検討する。さらに、これらの改善策をリスクマネジメント委員会で審議した上、リスクマネージャー連絡会でフィードバックする。</p> <p>次のステップとして、実施された改善策のうち、実施状況を把握する必要があると認められるインシデントについては、リスクマネジメント部門会議（評価）で評価し、改善策を検討する。上記と同様に、リスクマネジメント部門会議（評価）での改善策をリスクマネジメント部門会議（全体）で検討する。次に、これらの実施された改善策をリスクマネジメント委員会で審議した上、リスクマネージャー連絡会で再度フィードバックする。さらに、実施状況を把握する必要があると認められるインシデントについては、リスクマネジメント部門会議（評価）からリスクマネージャー連絡会でのフィードバックを繰り返し行う。（PDCA手法を取り入れている。）</p> <p>分析方法については、インシデント報告された、報告事例（ひと月約250件程度）を職種の違う担当者が分担して1件、1件、内容を確認し、インシデントへの意見等を出し合う。その中で、インシデントが警鐘的な事例や、インシデントが他部署にわたる事例など、また、全国的に頻発している事例などを選び、2～3事例、SHELL分析にて毎月分析をしている。</p>	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>徳島大学病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療(最先端医療を含む)を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。</p> <p>特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ol style="list-style-type: none">1 用語の定義2 安全管理に関する基本的考え方3 医療に係る安全管理のための取組に関する基本的事項4 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針5 医療上の事故等の報告に関する基本方針6 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針7 患者等からの相談への対応に関する基本方針8 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針9 その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 16 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>感染対策委員会（毎月 1 回、臨時 4 回）</p> <ol style="list-style-type: none">1 院内感染の予防及び対策に関すること。2 院内感染防止の実施、監視及び指導に関すること。3 院内感染発生時の措置に関すること。4 職員の院内感染の教育に関すること。5 感染制御部の運営に関すること。6 その他院内感染に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回

・ 研修の主な内容：

平成27年度

・ 特別感染対策研修会 「中東呼吸器症候群＝MERSの現状」

第1回感染対策研修会 「標準予防策について」

第2回感染対策研修会 「医療スタッフが知っておきたい薬剤耐性菌と感染対策」

第3回感染対策研修会 「本院におけるインフルエンザ感染対策について」

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

- 1 毎週1回、ICTラウンドを計画的に実施、改善点を部署にフィードバックし、更にICNラウンドで確認している。
- 2 抗MRSA薬、カルバペネム系抗菌薬について、届出制を実施しているが、抗MRSAについてはTDMの実施状況と抗MRSAの適正使用について毎月検討している。
- 3 HIV/エイズ小委員会では、2ヶ月に1回委員会を開催し、院内のHIV症例の事例検討や検査結果の報告をしている。
- 4 職業感染対策として、全職員の抗体の有無を把握している。針刺し等事故対策としては、事故者からのヒアリングまたは面接をすべての事例で行い、改善策をフィードバックしている。
- 5 ICUでのBSIサーベイランス、消化器外科・小児対象の心臓血管外科でのSSIサーベイランスを実施している。
- 6 教育体制として、①感染対策研修会、②部署別出張研修、③研修医研修、④看護師研修（新人、2年目、専門）、⑤感染管理院内認定コースに分けて計画している。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>「医薬品の安全管理」 「処方時の注意点と薬剤業務」 「注意すべき薬剤について」 「インシデント事例から学ぶ医薬品の取り扱い」 「麻薬・毒薬の管理」 「注射・調剤におけるインシデント事例」 「医薬品情報の重要性について」</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>各種薬剤業務、病棟における医薬品管理が適正に行われているかを病棟間相互チェック等の際に調査し、不備な点を指摘し改善している。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1 全病棟に薬剤師を配置し、持参薬を含め、病棟における医薬品の管理体制を整備した。2 薬剤管理指導業務により得られた副作用情報を毎週薬局会で薬剤部に伝えている。3 医薬品適応外使用する場合の院内規定を設けるとともに、適応外使用に関する情報を収集し医薬品安全管理責任者への報告体制および診療科への指導体制を整備した。	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 41 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1 新しい医療機器の導入時の研修について 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月までに、新しい医療機器を導入する際に開催した研修会は、医療機器（臨床検査機器、放射線機器含む）21 機種に対し、計 25 回実施した。</p> <p>2 特定機能病院における医療機器研修について</p> <ul style="list-style-type: none">・平成 27 年度新採用者オリエンテーション（対象：医師、看護師）にて、医療機器の研修会として、輸液ポンプ・シリンジポンプについて実施した。研修内容は、正しい操作方法を身に付け、インシデントを予防するためのポイントを学ぶことを目的に実技研修も取り入れた。・平成 27 年度から各病棟（東病棟、西病棟）、外来などの各部署から個別依頼された医療機器の研修会は不定期（要望依頼時）に実施することにより、昨年度まで実施していた定期研修会より従事者の参加人数が増加している。平成 27 年度に実施した医療機器は、人工呼吸器（ネーザルハイフロー等含む）、除細動装置、血液透析装置等で、計 15 回開催した。 <p>医療機器の研修会については、臨床工学技士または医療機器製造販売メーカー担当者が医療機器の正しい操作方法、またはトラブルシューティングなどについて説明している。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容： 医療機器製造販売メーカーの指定期間（使用年数または使用時間）により、プリベンティブ</p>	

メンテナンスや機器のオーバー・ホールをメーカーへ依頼し、実施している。

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

医療機器の添付文書及び医薬品・医療機器総合機構（PMDA）の医療機器安全性情報サービスに登録し、情報を収集している。また、直接、医療機器製造販売メーカーから不具合情報や安全情報を得ている。収集した医療機器に関連した不具合情報や安全情報は、情報の性質や内容により異なるが、使用者（医療従事者）や内容が特定の部署に限定される場合には個別に必要な部署のみに周知し、多くのスタッフが知る必要がある場合には、安全管理部等を通じて院内周知している。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>平成 28 年 9 月に「徳島大学病院における医療に関する安全管理規則」の改正を行い、平成 28 年 10 月 1 日から医療安全管理責任者を配置し、医療安全管理担当の副病院長をもって充てた。</p> <p>また、同規則にて、医療安全管理責任者が安全管理部、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括することを定めた。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(7名)・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>「医薬品安全管理業務手順書」を改訂(平成 28 年 10 月 1 日施行)し、薬剤部内に医薬品の安全管理を担う医薬品安全管理担当者を定め、未承認等の医薬品の使用の情報等の収集及び指導等を行う体制を構築するとともに、緊急安全性情報・安全性速報等の医薬品情報を収集・整理し、医療スタッフへ提供及び周知状況を確認する体制を整える。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有)・無</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有)・無</p> <p>・規程の主な内容：</p> <p>平成 28 年 9 月に「徳島大学病院における医療に関する安全管理規則」の改正を行い、平成 28 年 10 月 1 日からインフォームドコンセント責任者を置き、インフォームドコンセントガイドラインの管理・周知徹底、適切な実施及び指導等の業務を行う規定を定める予定である。</p> <p>(インフォームドコンセントガイドラインの主な内容)</p> <ol style="list-style-type: none">1 目的2 対象	

<p>3 説明して同意を得る手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰が説明し、誰が立ち会うのか ・どこで行うのか ・記録と保管 ・説明と同意 ・説明の内容 ・セカンドオピニオンについて ・代理人が必要な場合の説明と同意 ・緊急時の対応 	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	(有)・無
<p>・活動の主な内容：</p> <p>平成28年9月に「徳島大学病院診療録管理規則」の改正を行い、平成28年10月1日から、診療録等の管理に関する責任者を配置し、医療支援センター長を充てた。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	(有)・無
<p>・所属職員：専従（2）名、専任（2）名、兼任（2）名</p> <p>うち医師：専従（ ）名、専任（2）名、兼任（2）名</p> <p>うち薬剤師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>本院では、医療安全管理部門（委員会）として「リスクマネジメント委員会」を設置し、上記職員を配置している。活動の主な内容は下記のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本院において発生した医療上の事故等の原因究明、調査、分析及び対策の検討並びに当該医療上の事故等の再発防止に関すること。 2 事故等に関する診療録及び看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び指導に関すること。 3 患者及び家族への説明等事故発生時の対応状況についての確認及び指導に関すること。 	

- 4 医療上の事故等の防止に関する教育及び研修の企画及び実施に関すること。
- 5 医療上の事故等の防止に関する情報の収集及び提供に関すること。
- 6 医療上の事故防止安全対策マニュアルの改訂に関すること。
- 7 インシデント報告の管理に関すること。
- 8 リスクマネジメント委員会で用いられる資料及び議事要録の作成及び保存、その他リスクマネジメント委員会の庶務に関すること。
- 9 医療安全に係る連絡調整に関すること。
- 10 医薬品の安全使用に係る連絡調整に関すること。
- 11 医療機器の安全使用に係る連絡調整に関すること。
- 12 その他医療上の事故防止及び医療の安全性の向上に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・規程の主な内容：
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

※ 医療倫理を含む高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門について検討中であり、平成29年3月までに設置する予定である。

また、部門の設置に並行して、規程整備を進め、平成29年3月までに作成する予定である。

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・規程の主な内容：
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 無)

※ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、医療倫理を含む使用の適否等を決定する部門について検討中であり、平成29年3月までに設置する予定である。

また、部門野設置に並行して、規程整備を進め、平成29年3月までに作成する予定である。

⑨ 監査委員会の設置状況

有 無

・監査委員会の開催状況：年 2 回 (予定)

・活動の主な内容：

次の事項を審議する。

- 1 病院の医療安全に係る業務執行の状況に対する監査に関すること。
- 2 安全管理状況及び改善状況に関すること。

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (有 無)

・委員名簿の公表の有無 (有 無)

・委員の選定理由の公表の有無 (有 無)

・公表の方法：検討中

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注) ※検討中

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 225 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 26 件

・医療安全管理委員会の活動の主な内容

本院では医療安全管理委員会として「リスクマネジメント委員会」を設置し、上記事項を取り扱う。活動の主な内容は、下記のとおりである。

- 1 本院において発生した医療上の事故等の原因究明，調査，分析及び対策の検討並びに当該医療上の事故等の再発防止に関すること。
- 2 事故等に関する診療録及び看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び指導に関すること。
- 3 患者及び家族への説明等事故発生時の対応状況についての確認及び指導に関すること。
- 4 医療上の事故等の防止に関する教育及び研修の企画及び実施に関すること。
- 5 医療上の事故等の防止に関する情報の収集及び提供に関すること。
- 6 医療上の事故防止安全対策マニュアルの改訂に関すること。
- 7 インシデント報告の管理に関すること。
- 8 リスクマネジメント委員会で用いられる資料及び議事要録の作成及び保存，その他リスクマネジメント委員会の庶務に関すること。
- 9 医療安全に係る連絡調整に関すること。
- 10 医薬品の安全使用に係る連絡調整に関すること。
- 11 医療機器の安全使用に係る連絡調整に関すること。
- 12 その他医療上の事故防止及び医療の安全性の向上に関すること。

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ） 無 ）
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ） 無 ）
- ・技術的助言の実施状況

※ 立入り，受入れの方法や内容については，厚生労働省から示されると説明を受けているが，現在のところまだ示されていない。今後，厚生労働省から示される立入り及び受入れの方法，内容を

参考に来年度から行う予定である。

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

院内の患者相談は全て患者支援センターを窓口としており、患者から分かりやすい場所に立地している。当該センターで受け付けた安全管理に係る相談は、その内容に応じて、医療安全管理部門など適切な専門の担当部署に振り分け、患者支援センターの相談員と協働して相談に対応する。また、患者相談の内容と対応状況は、患者支援センター内の会議（実務者会議）で報告され、当該センターが至急又は重大と判断する相談内容は、病院長に直接報告を行う。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有・無）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有・無）

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

現在行われている医療に係る安全管理及び医薬品等の安全使用のための研修において、必ず実施すべき研修項目を追加する。特に、平成29年4月からは、監査委員会からの意見表明に関する事項も追加する予定である。また、小テストやe-learningを活用したテスト等により、学習効果測定を実施する予定である。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

※ 国立大学附属病院長会議が実施する研修（今後検討予定）に来年度から参加させる予定である。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・評価を行った機関名，評価を受けた時期 ISO9001：一般社団法人日本能率協会審査登録センター，2014年12月9日～2017年12月17日 プライバシーマーク：一般財団法人医療情報システム開発センター，2016年5月17日～2018年5月16日 病院機能評価：公益財団法人日本医療機能評価機構，2012年5月28日～2017年5月27日 ISO15189：財団法人日本適合性認定協会，2015年12月17日～2019年7月31日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については，日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・国立大学附属病院評価指標を病院HPにて情報発信 国立大学附属病院評価指標は，全国の国立大学病院が，自主的・主体的に自院の機能の質向上を図ると共に，取り組み状況や成果を社会に開示し，理解と信頼を得ることを目的に，共通の指標として国立大学附属病院長会議が策定したものであり，この趣旨に則り評価指標の数値を公表している。 ・徳島大学病院フォーラム（春・秋）の開催 徳島大学病院フォーラムは，大学病院が果たす地域医療への貢献の一環として，地域の皆さまに最新の医療を知っていただくため市民公開講座として，春と秋の年2回開催している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無

有・無

・がん診療連携センター

都道府県がん診療連携拠点病院の指定をうけ、複数の診療科と県内3ヶ所の地域がん診療連携拠点病院および他の様々な医療機関と連携して、県内のがんの診断・治療の向上のみならず、がん医療の相談支援、情報提供、地域連携および均てん化を図る中心的な役割を果たしている。

本センターは、がん研究・研修部門、がん登録部門、がん診療連携・相談部門、がん診療企画部門、がん化学療法部門、がん緩和・こころのケア部門の6つの部門から構成されている。医師、看護師、薬剤師、技師、心理士、事務職員がそれぞれ高い志の下に連携し、最新の診断・治療機器や高度な治療技術を駆使した横断的な医療の実践のみならず、看護、研究、啓発、情報発信、人材育成まで含めた幅広い分野でがんと闘う組織を整備している。

・医科と歯科の連携

医科入院患者およびICU患者、手術・放射線・化学療法前患者に対して口腔管理センター・口腔内科が窓口となって口腔ケアを実施している。さらに特定の診療科（精神科神経科、心臓血管外科、消化器・移植外科）に特化した口腔ケア体制を構築している。

・耳鼻科と歯科の連携

摂食・嚥下リハビリテーションを必要とする入院患者に対して、リハビリテーション部医師、耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師、歯科医師、言語聴覚士が連携し、カンファレンスを継続して実施している。また、診断の際に必要となるVE（嚥下内視鏡検査）の診断について、耳鼻咽喉科・頭頸部外科と協力して実施している。

・形成外科と矯正歯科の連携

口蓋裂患者及び顎変形症患者のチーム診療を行うため、カンファレンスを定期的実施し、口蓋裂患者、顎変形症患者の、口腔外科及び矯正歯科と形成外科・美容外科間の診療ネットワークを構築している。

(様式第8)

徳大院総第50号
平成28年9月8日

厚生労働大臣 殿

徳島大学長 野地 澄 晴

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

平成28年9月に「徳島大学病院における医療に関する安全管理規則」の改正を行い、平成28年10月1日から、医療安全管理責任者を配置し、医療安全管理担当の副病院長をもって充てる予定である。

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

・「医薬品安全管理業務手順書」を改訂（平成28年10月1日施行）し、薬剤部内に医薬品の安全管理を担う医薬品安全管理担当者を定め、未承認等の医薬品の使用の情報等の収集及び指導等を行う体制を構築するとともに、緊急安全性情報・安全性速報等の医薬品情報を収集・整理し、医療スタッフへ提供及び周知状況を確認する体制を整える。

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

平成28年9月に「徳島大学病院における医療に関する安全管理規則」の改正を行い、平成28年10月1日からインフォームドコンセント責任者を配置し、安全管理部長をもって充てる予定である。

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

平成28年9月中に「徳島大学病院における医療に関する安全管理規則」の改正を行い、平成28年10月1日から施行予定である。

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

平成28年9月中に「徳島大学病院診療録管理規則」の改正を行い、平成28年10月1日から、診療録等の管理に関する責任者を配置し、医療支援センター長を充てる予定である。

6. 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

平成28年6月1日から、全死亡・死産事例については、インシデントレポートシステムにより安全管理部へ報告され、事例については、医事会計からのデータとマッチングを行い報告に漏れがないように行っている。事例内容を精査後、リスクマネジメント委員会を通じて管理者への報告を行っている。

全死亡例以外の場合についても、一定の水準以上については、安全管理部で内容を解析し、リスクマネジメント部門会議で審議された後、リスクマネジメント委員会を通じて管理者への報告を行っている。

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

平成28年9月中に「徳島大学病院における医療安全に係る情報提供に関する規則」を制定し、平成28年10月1日から施行予定である。

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業員の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

診療の状況の把握については、平成29年3月までに、リスクマネジメント委員会で定めた指標に基づき、診療内容についてのモニタリングを開始する予定である。
意識の向上の確認実施については、平成29年3月までに、医療安全に関する研修の受講状況を毎月のリスクマネジメント委員会で集計・検証し、受講率の低い部署には指導を開始する予定である。

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

医療倫理を含む高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門について検討中であり、平成29年3月までに設置する予定である。

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業員が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門の設置に並行して、規程整備を進め、平成29年3月までに作成する予定である。

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

未承認新規医薬品等の使用条件を定め、医療倫理を含む使用の適否等を決定する部門について検討中であり、平成29年3月までに設置する予定である。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置に並行して、規程整備を進め、平成29年3月までに作成する予定である。

13. 監査委員会を設置するための予定措置

平成28年9月中に、外部監査委員会の設置について規定した「徳島大学病院の医療安全に係る外部監査に関する規則」を制定し、平成28年10月1日から施行予定である。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助書を遂行するための予定措置

立入り、受入れの方法や内容については、厚生労働省から示されると説明を受けているが、現在のところまだ示されていない。

今後、厚生労働省から示される立入り及び受入れの方法、内容を参考に来年度から行う予定である。

15. 職員研修を実施するための予定措置

既の実施している特定機能病院の医療安全管理に関する研修について、平成29年4月からは監査委員会からの意見表明に関する事項も追加する予定である。

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

国立大学附属病院長会議が実施する研修（今後検討予定）に来年度から参加させる予定である。

17. 医療安全管理部門の人員体制

※安全管理部のみ

- ・所属職員：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（2）名
- うち医師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（2）名
- うち薬剤師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
- うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

医師については、現在選考中であり、平成28年10月1日に専任医師2名を採用する予定であり、平成32年4月までに専従医師1名を配置する予定である。

なお、薬剤師については、平成30年4月までに就業時間の8割以上を当該業務に従事する者を1名配置する予定である。

また、看護師については、既に専従の看護師を2名配置している。